

注目の  
私立中高  
一貫校  
2026<sup>年</sup>

# この 学校のここが スゴイ!

プレジデントファミリー特別企画  
プレジデントムック  
「中学受験大百科」特別付録

プレジデント  
Family



Special Interview

哲学者・青山学院大学地球社会共生学部教授

小川仁志  
さん

# 答えのない時代を より善く生きるための

# 哲学のススメ

いま、教育界でも、ビジネスの世界でも哲学が注目されている。わかりやすい言葉で哲学を説く小川仁志さんに、哲学的な思考の役立て方について伺った。

おがわ・ひとし  
1970年京都府生まれ。京都大学法学部卒業後、  
商社勤務、フリーター、公務員を経て、名古屋市  
立大学院博士後期課程修了。博士（人間文化）。  
徳山工業高等専門学校准教授、山口大学教授を  
経て4月より現職。著書多数。2022年から24年  
にEテレで放送された「ロッチと子羊」では、哲  
学を駆使してさまざまな人の悩みに答えて話題に。



## より善く生きるために 哲学の扉を開けよう

「哲学」と聞くと、難しそうでもちよっと敷居が高いと感じる。だが、哲学者・小川仁志さんは「悩み多き思春期の世代にこそ、哲学の扉を開けてほしい」と話す。そもそも哲学って何だろう。まずはそこから教えてもらおう。

### ●哲学とは自分の頭で考えること

哲学の定義はこれ、と定まっているわけではありませんが、「物事の本質を探求すること」というのが有名です。本質とは、確かにちゃんと存在しているけれど私たちが思い込みや先入観にとらわれているために、なかなかとらえにくいものです。子供に説明する場合は本質といってもわかりにくいので、「哲学は、常識を取り払って考えることだよ」と言ったりもします。別の言い方では、「自分の頭で考え、その考えを言葉にしていくなみ」というのもわかりやすいですね。

では、なぜいま哲学が注目されているのか。21世紀は「答えのない時代」と言われ、これまでの常識に従って行動しているだけでは人類は行き詰まってしまふ。SDGsで言われている課題などはその代表例でしょう。世界の諸課題を解決するには、新しい答えを生み出す必要があつて、そのためには自分の中の常識を超えて考えないといけない——。そのため、哲学が求められているのです。いまの中高生にとつては、学校の探究学習で馴染みのある考えだと思えます。

### ●身近な悩みに役に立つ

私が特に若い人に伝えたいのは、哲学は「ものを考える方法を教えてくれる便利な道具な

んだよ」ということ。別に世界の諸課題でなくとも、身近な問題にも哲学はとても役立ちますよ。中学生くらいになると悩みもだんだん複雑なものになってきますね。友達との付き合い方、先輩との接し方、親との関係、進路などに悩んだとき、哲学が道具として使えます。

友達とは、先輩とは、親とは「こういうものだ」という思い込み、すなわち「自分の中の常識」を取り払って見方を変えることで、それまでうまくいかなかったことにも、うまくいく糸口が見つかるかもしれません。

哲学は、科学のように現実を大きく変えるものではありませんが、気持ちを変えるのにすごく役立つんです。悩み多き若い世代にこそ、必要な道具だと知ってほしいと思います。

### ●悩んだから哲学者になった

中学生に限った話ではありませんよ。ソクラテスもプラトンも、カントもヘーゲルも、有名な哲学者たちは、みんな悩んで考えて、悩み抜いた末に哲学者になりました。

かく言う私も、大学を卒業して社会人になってから、人生を変えるくらい大きな悩みに襲われました。自分のやりたいことと、その当時の自分の力とのギャップに苦しみ、20代後半を引きこもりのように過ごしたのです。

そんなとき、何かにすがるかのごとく哲学の入門書を読みました。思い出すだけで辛い引きこもり時代ですが、おそらく順風満帆な人生だったなら、哲学者にはなっていなかったでしょう。悩んだおかげで哲学という学問に出合えたのです。悩んでよかったです。これもまた常識を超えて考え続けることで得られた境地です。

## 視点を变えて

### 物事の本質に迫ろう

小川さんは哲学思考の四つのステップを提唱している。①疑う(前提や常識を疑う)、②視点を变える(前提を別の角度からとらえ直し、視野を広げる)、③再構成する(①と②で得た情報や視点を基に、新たな考え方を組み立てる)、④概念化する(③で得たアイデアをざっくり一言で名付けて表現する)の四つだ。

### ●対話を楽しむ哲学カフェ

この四つのステップはビジネスパーソンにも役立つ、一人でもできる思考法です。固定観念を脱して独自のアイデアをつくるようなときに役立つわけです。でもいきなり一人でこの思考法をたどるのは難しいかもしれません。そんなときに試してほしいのが対話です。

私は長年いろいろな場所で哲学カフェの活動を続けています。哲学カフェは、市民が集まって「愛とは?」「幸せとは?」など一つのテーマについて対話するワークショップです。対話によって自分の考えや思い込みを確認することができるとし、ほかの人の意見を受け入れることで視点を变えることもできます。そうして思考を深めていくのです。主催者はファシリテーターとして対話が盛り上がるように交通整理をします。年齢が違っても参加者は対等です。哲学カフェは、四つのステップをたどることのできる有意義な思考の場です。

### ●視点を变えることが重要だ

四つのステップの中で、最も重要なのは、「②視点を变える」です。

「視点を变えれば、不可能が可能になる」。これは古代カルタゴの将軍、ハンニバルの言



葉です。あつと驚く戦術でローマ軍と戦い、勝ち続けた名将軍でした。私はこの言葉に合っただけから、何か問題にぶち当たったときに、この視点で問題と向き合うようになりました。「視点を変えれば絶対に解決できるはずだ」と。人は普段一つの見方しかしていませんが、視点を変えて別の見方をすることでではじめて、本質が見えてきます。それによって困難も解決できるのです。ぜひ取り入れてほしい思考です。

### ● 哲学的思考は探究学習と似ている

はじめに述べたように、哲学は、いま中学高校で力を入れている探究学習にも通じます。世界の課題を解決に導く新しい答えを見つめるためには、常識を超えて自分の頭で考え、物ごとの本質を追求する必要があるからです。哲学は探究学習だけでなく教科学習にも役立ちますよ。例えば歴史を学ぶときに、「なんで歴史を学ぶのかな。歴史の本質ってなんだろう」と考えるようになるのではないのでしょうか。そして、過去にあったことを基にし

て未来を考えるための科目なのかなと、歴史の勉強に新しい視点を持つようになるかもしれません。少なくとも「こんなに年号を覚えて何の役に立つんだ？」と思うようなことにはなりませんよね。

歴史に限らず理科でも算数でも、哲学的思考で、その教科の本質や学ぶ意味について考えるようになると思います。学校でも先生がこのような話をされていると思いますが、自分で考えないとなかなか腑に落ちません。主体的に自分で考えることがとても重要です。

自分で考えることができる！ このことは自信につながりますよ。人から言われて何かをやっても自信は生まれません。逆に、自分で考えて決めてやったことは、たとえ失敗したとしてもそれなりに納得感もあるし、自信につながります。

## 親と子で対等に

### 哲学対話をしてみよう

人がより善く生きようとするときに、哲学がとても重要だということがわかった。最後に小川さんに、親子の関係に哲学がどう役立つか聞いてみた。

#### ● 哲学対話を親子で楽しむコツ

先ほど哲学カフェの話をしました。哲学カフェに参加しなくても、対話はどこでもできます。家でぜひ親と子で対話をしてみてください。子供が学校で発見したこと、気付いたことについて話を聞いてみましょう。そういうとき親は、つい子供に「教えよう」としてしまいがちですが、それはしなくていい。対話は相手に何かを教えることでもディベートで

『教科書の名作で哲学するー考えるヒント』

教育出版 2200円

「スイミー」、「ごんぎつね」など教科書掲載の名作から、より深く柔軟に考えるためのヒントを提示する、小川仁志さんの最新刊。

相手は何歳だろうと、どんな立場であろうと、対話ではお互いが常に対等です。親は子供に教えたくなるし、思春期の子供は親に反抗するものなので、親子で対話するのはなかなか難しいですが、ぜひ、「個と個」の対等な関係で臨んでいただきたいのです。相手の話をよく聞く、全否定しない、難しい言葉を使わないことを意識して、ぜひやってみてほしいと思います。

私は、高校や高等専門学校、大学で哲学の授業を行い、社会人向けの講義もしています。が、中学生と語り合うたびに彼らの視点やエネルギーにハッとさせられます。大人も子供も「わからないこと」があるのは一緒。何かの問いをぶつけられたとき、その答えがわからなかったら一緒に考えればよい。答えのない問いについて考えるのは大人にとっても発見があつて面白いし、それが哲学思考の醍醐味でもあります。子供のほうが探究学習などで対話に慣れているので、子供から学ぶことも多いかもしれませんよ。

混迷と分断の時代に大人になっていく子供たち。自分の頭で考えられる力を哲学が授けてくれそうだ。

答えのない時代をより善く生きるための  
「哲学」のススメ

小川仁志さん 哲学者・青山学院大学地球社会共生学部教授

2

# SCIENCE

サイエンス

サイエンス対談

A1時代を生きる子供たちに  
「学ぶことは永遠に面白い」と伝えたい

8

中島さち子さん 株式会社SteAm代表取締役社長  
岡田育也さん コアネット教育総合研究所新教育推進室室長

## EAST

中高大連携の実験講座が特色  
体験で養う科学的・論理的な考察

共立女子中学高等学校 (東京都)

10

多彩なプログラムで興味を深め  
「好き」を理系進路につなげる

佼成学園女子中学高等学校 (東京都)

11

殻を破り、世界に飛び立つ  
「本当の実践力」を育成する伝統女子校

実践女子学園中学校高等学校 (東京都)

12

中高大連携プログラムが  
学びの質を深める「医科学進学コース」

淑徳与野中学・高等学校 (埼玉県)

13

キリスト教精神×理数系教育で  
社会に貢献できる人を育てる

女子聖学院中学校高等学校 (東京都)

14

宇宙飛行士を目指した教師と学ぶ  
「宇宙教育講座」を絶賛展開中!

穎明館中学高等学校 (東京都)

15

北里大学附属として

中高大が連携する教育がスタート

北里大学附属順天中学校・高等学校 (東京都)

16

## EAST

中高大10年間を見据えて  
学び続けるための土台を築く

法政大学第二中・高等学校 (神奈川県)

17

科学的アプローチサイクルを軸に  
「発想の自由人」を育てる

三田国際科学学園中学校・高等学校 (東京都)

18

授業から課外探究、部活まで  
科学的素養を高める活動が充実

常翔学園中学校・高等学校 (大阪府)

20

2025年度、共学部スタート  
男女が伸びる理数・探究教育へ

親和中学校・親和女子高等学校 (兵庫県)

21

# TANKKYU

探究

探究対談

探究で身に付く三つのスキルが  
「生きる力」をつくり出す

22

田中茂範さん PEN言語教育サービズ代表  
福本雅俊さん コアネット教育総合研究所横浜研究室室長

段階的に積み上げる探究学習が  
一人ひとりの成長を支える

佼成学園中学校・高等学校 (東京都)

24

「未来をつくる力」と「人間力」を磨く  
新たな探究プログラムを構築

東京都市大学付属中学校・高等学校 (東京都)

25

自分に合った学問領域を発見する  
探究学習「ニコルプロジェクト」

神田女学園中学校高等学校 (東京都)

26

探究や英語の学習に生かされる  
教育リソースの豊富さが特色

昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校 (東京都)

27

入念な種まきで事前準備  
12年次に集中して探究を実施

聖心女子学院初等科・中等科・高等科 (東京都)

28

## WEST

EAST

「西生田の森」を活用する  
体験・探究型の学びが伝統

日本女子大学附属中学校・高等学校 (神奈川県)

29

多様な人と世界との出会いを  
主体的な学びと挑戦につなげる

横浜女学院中学校高等学校 (神奈川県)

30

「Who I am」から始まる6年間  
学校そのものが、探究になる

吉祥寺湧水中学校・高等学校 (東京都)

31

「BEYOND」と「aゼミ」  
探究で社会と世界を見る目を鍛える

城西大学附属城西中学・高等学校 (東京都)

32

21世紀を生き抜くために必要な  
「0 to 1」マインドを育てる

成蹊中学・高等学校 (東京都)

33

「知耕実学」を軸に夢を創造し  
実現する6年間の骨太な教育

東京農業大学第一高等学校中等部 (東京都)

34

「B・S・T・E・M」や「教科×探究」など  
先進的教育を次々と展開

武南中学校・高等学校 (埼玉県)

35

生徒の創造性を刺激するGLP  
考えるプロセス重視の探究学習

山手学院中学校・高等学校 (神奈川県)

36

6年間の地道な積み重ねで  
学びの土台を築く「Rプログラム」

立正大学付属立正中学校・高等学校 (東京都)

37

経済界で活躍するリーダーを育成  
オールイングリッシュの探究学習

広島城北中・高等学校 (広島県)

38

「報徳探究GIFT」で  
一生ものの生きる術を磨く

報徳学園中学校・高等学校 (兵庫県)

39

大学付属校だからこそ実現する  
進むべき道を明確化する探究学習

武庫川大学附属女子中学校・女子高等学校 (兵庫県)

40

WEST

独自の探究学習とグローバル教育で  
未来をデザインする人材を育成

京都先端科学大学附属中学校高等学校 (京都府)

41

2027年度、中学校再開！  
最新の学びで生きる力を育む

神戸野田中学校・高等学校 (兵庫県)

42

学校改革で生徒の力を開放  
能動的な学びが加速する

三田学園中学校・高等学校 (兵庫県)

43

自ら成長を遂げ  
本道に進みたい道を選べる人へ

常翔啓光学園中学校・高等学校 (大阪府)

44

自分事として夢中になれるような  
未来を切り開く探究学習を目指す

同志社香里中学校・高等学校 (大阪府)

45

社会での活躍に不可欠な  
非認知能力を伸ばす探究の学び

龍谷大学付属平安高等学校・中学校 (京都府)

46

コラム 拡大する中学受験と学校選択の新基準

47

EAST

首都圏

物作りを通して培う  
豊かな創造性とチャレンジ精神

成城中学校・成城高等学校 (東京都)

49

「セルフリーダーシップ」を発揮し  
未来を切り開く「自分」を育てる

共立女子第二中学校高等学校 (東京都)

50

未来を自ら描いて学ぶ新コース  
「フューチャーデザインコース」が先進

和洋九段女子中学校高等学校 (東京都)

51

羽ばたけ、世界へ！  
生徒の未来をひらく神大附属の挑戦

神奈川大学附属中・高等学校 (神奈川県)

52

WEST

EAST

他者と共に成長できる環境が  
未来を切り開く力になる

**関東学院中学校高等学校** (神奈川県)

53

自立性を重んじる「心の教育」  
伝統と先進の融合に特色

**駒込中学校・高等学校** (東京都)

54

新しい価値の創出を目指し  
「3C」で広げる未来の可能性

**青稜中学校・高等学校** (東京都)

55

多様な個性が集まる恵まれた環境で  
強く羽ばたく力を付ける

**桐光学園小学校・中学校・高等学校** (神奈川県)

56

大規模付属校の強みを生かした  
中高大連携の学びが主体性を育む

**日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校** (神奈川県)

57

予測不能な時代を生き抜くマインドを  
オリジナルプログラムで育成

**文教大学付属中学校・高等学校** (東京都)

58

中学3年間で世界に通用する  
発信力の土台を築くスピーチ活動

**目白研心中学校高等学校** (東京都)

59

WEST 関西

WEST

伝統を守りながら挑戦を続け  
尊敬されるリーダーを育成する

**清風中学校・高等学校** (大阪府)

61

やりたいことに挑戦できる環境で  
自ら未来を開く原動力を醸成する

**大阪女学院中学校・高等学校** (大阪府)

62

「入学後の伸び」に着目した  
新たなコース制がスタート

**甲南女子中学校・高等学校** (兵庫県)

63

学ぶたびに自分の成長が見える学校へ  
新たなスタート!

**洛星ノートルダム女学院中学高等学校** (京都府)

64

WEST

多彩な行事を通じた経験値が  
生徒の主体性や表現力を高める

**開明中学校・高等学校** (大阪府)

65

英語で社会問題を学ぶ探究学習や  
海外での探究プログラムが発展

**関西大倉中学校・高等学校** (大阪府)

66

学習とクラブ活動での「探究」で  
未来をたくましく生きる力を育む

**京都橘中学校・高等学校** (京都府)

67

中学からの病院・医学部体験で  
医師に必要な生命倫理感を育む

**近畿大学附属高等学校・中学校** (大阪府)

68

新校舎が生徒の放課後活動の場に  
関東名門大学との交流もスタート

**滝川中学校・高等学校** (兵庫県)

69

“いいことどりで充実の学校生活を！”  
新しい「滝二」に期待が高まる

**滝川第二中学校・高等学校** (兵庫県)

70

オフキャンパスの多様な学びで  
未来を開く力を磨く

**羽衣学園中学校・高等学校** (大阪府)

71

自主性を尊重する環境の下  
人生に生きる力の確立を目指す

**桃山学院中学校高等学校** (大阪府)

72

生徒に2つ先の未来を見せる  
特色ある海外研修を開発・推進

**雲雀丘学園中学校・高等学校** (兵庫県)

74

受験・進学情報の  
プロフェッショナルの立場から、  
各校の特徴をまとめた  
一言コラム

コアネットの目

首都圏執筆 福本雅俊

コアネット教育総合研究所 横浜研究室室長。日本キャリアデザイン学会会員。日本教育心理学会会員。私立高校の教員を経て、2006年同研究所に入所、16年より現職。主体的な学びを実現する教育実践の支援を軸に、教育活動や学校経営をサポートしている。

関西執筆 藤澤憲人

コアネット教育総合研究所 神戸研究室主任研究員。前職のソーシャルベンチャーでのリーダー経験を生かし、現職ではマネジメント、広報、ICTなど幅広い分野でコンサルタントや研修講師として活躍。関西の私立学校で学んだ自身の経験を大切にし、関西私学の活性化に情熱を注いでいる。

## サイエンス 対談

# Aー時代を生きる子供たちに 「学ぶことは永遠に面白い」と伝えたい

数学研究者でありジャズピアニスト、STEAM教育を推進する会社の代表でもある中島さち子さん。  
激しく変化する社会を生きる子供たちに必要なSTEAM教育とは何か。  
コアネット教育総合研究所の岡田育也さんと語り合いました。



## 「知る」と「つくる」が循環する STEAM教育

**岡田** 中島さんは高校生のときに国際数学オリンピックで金メダルを獲得。東京大学に進み、理学部数学科を卒業されて

います。一方でジャズピアニストとして音楽活動を続け、同時に数学の研究者でもいらつしゃる。ご自分の中では、数学と音楽は離れているのか、同じ流れに沿っているのか、どうとらえていますか。

**中島** 「創造性」という点では数学も音楽も似ていて、ただ、過程が若干違うだけだと感じています。どんな音楽が評価されるかという点だけでも、一つの軸では語れません。学問としての数学も同じ。自分なりの問いを立てて、一生かけて取り組んでいくことに幸せを感じる人もいます。数学ではものの見方を少し変えると景色ががらりと変わるみたいなところがありますが、音楽もそういうものを見いだし、さらにその根源をたどると、すごく面白い別の顔が見えてくる。文化や社会そのものというか、結局「数学」「音楽」だけでは見えないものが関わり合っていることに気がきます。

**岡田** 従来型の学習だと、数学なら数学、音楽なら音楽と、教科ごとに学んで、先人がつくり出した型、数式や公式といっ

た理論を小中高校と学ぶわけです。でも、今おっしゃったように型の源流をたどっていくと、各教科の知識ではなく「ものの方」が混ざり合っていく。そこが面白いということですね。

その面白さは学ぶうえでの重要なカギでもあり、STEAM教育につながると思います。今は学校の先生方も固定的な学びから能動的な学び、教科横断的な学びへと教育内容をリデザインしていくとされています。そういった動きについては、どのように見えていますか。

**中島** 例えば少し前までのすし職人のように、まず技術習得に専念してから、オリジナリティや創造性に向かうほうが成功する場合もあるでしょう。学びにおいても、本当に好きになったら一回、訓練の時期をたどるのもいいと思います。けれど、まだ好きかどうかもわからないうちに、訓練を続けるのは苦痛になりますし、ものすごい量の「知」にアクセスできる今、一つの点を早期に見つけてそこにだけ集中していくのは難しい。今の時代に合わなくなっている気がします。

株式会社steAm代表取締役社長

**中島さち子**さん なかじま・さちこ

株式会社steAm代表取締役社長。ジャズピアニスト・数学研究者・STEAM教育者・メディアアーティスト。東京大学理学部数学科卒。高校2年のときに、国際数学オリンピックで金メダルを獲得。大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、内閣府STEM Girls Ambassadorなどを歴任。著書に「人生を変える「数学」そして「音楽」(講談社)などがある。

※アメリカのコンピュータ科学者、ジャネット・ウィング氏が提唱。複雑な課題を「分解・パターン化・抽象化・アルゴリズム化」することで、人間やコンピュータが解決可能な手順に落とし込む手法。

STEAM教育は「知る」と「つくる」が循環する学びだといわれていますが、最初の頃はいろいろな点を掘ってみて、失敗しながらも実際につくってみることが重要です。テストの範囲内でアウトプットしている限りは、学問の面白さとか芸術の面白さ、モノづくりの面白さはなかなかかわからないので。子供の頃、砂場でお城を作りたくて友達と協働し、加える水の量を相談したり、途中から城ではなくトンネルを掘ってみたくなくなったり、といったあの感覚です。

## 学びを深める試行錯誤と「人文知」の重要性

**岡田** お話を聞いていて、学校を選択するに当たっては、いろいろな体験ができ、多種多様なプログラムがあるところが望ましいのかなと感じました。試行錯誤しながら多様な選択ができる環境が、子供を成長させるために重要ですね。

**中島** そうですね。教育の場での考え方として、「コンピューティショナル・シンキング(計算論的思考)」<sup>※</sup>という言葉が出てきて、これは21世紀を生きるすべての人に必要な思考法だと世界的に広がりました。もう理系とか文系とか言っている場合ではなく、これだけ複雑な社会の中で、今、大事なものを抜き出して抽象化、モデル化していくことなどが一番大事であり、それは数学や歴史や政治においても共通するものだということです。

**岡田** コンピューティショナル・シンキングは、日本だとプログラミング的思考と

受け止めて、科目の中の「情報I」に入りました。

**中島** もう一つ、最近思うことは、「人文知」の重要性です。歴史だけ見ても、答えは一つではありません。目の前で起きていることでさえ、何が事実か、誰の言っていることが正しいのかわからないのに、何百年も前のことに正解はありません。物事の背景を多角的にとらえる視点が必要で、文系理系と分けることなく人文系の先生たちの専門性を生かす場がもっとあればと思っています。

## これからの子供たちの生成AIとの付き合い方

**岡田** 生成AIの活用が広がっている中、最近、学校の先生や保護者からよくいただくお悩みがあります。読書感想文などで一部の生徒は生成AIを使い、そこに自分の体験を足したり、文末を少し直したりするだけになっていると。AI時代の表現についてどのようにお考えでしょうか。

**中島** 生成AIを使った似たような文ばかりで、先生たちも評価に困るのかもしれないですね。でも、先生たちもまた、評価するときに生成AIを使うのかとも思うのですが(笑)。できるだけ早く提出しないではいけなからAIを使うというのは、もはやありえるのかもしれない。でも、そこには喜びみたいなものがありません。例えば音楽家は、自分よりもまく楽器が弾けるAIや、自分に似せて弾けるAIがあったとしても、自分が

弾くことはやめません。なぜなら、弾きたいから。楽しいからです。

なぜ学校が読書感想文を書かせるかというところ、やはり読んで感じて、下手でも書くという体験によって得られるものがあるからです。ただAIと協働して何かをつくることも一つの体験です。だから、AIに読書感想文を書かせるときに、「どうしても書きたくない」「読んでも何も感じなかった」ということであれば、AIにそう言ってみたらいいと思います。そうしたら、「先生にこう提言したら」とか「一つだけ印象に残っているものは何?」といったやりとりになるかもしれない。もちろんリアルな体験が少ない年齢での利用には制限をかけるなどが必要だと思えます。

**岡田** AIを活用する時代、ほかに学校や家庭ではどんなことを意識すればよいでしょうか。

**中島** AIには持てない身体性が人間にはあります。机の上でパソコンから得られる情報もすごいけれど、外に出て感じる風や香り、葉の感触などのほうが、圧倒的な情報量が含まれています。AIの時代だからこそ、自然に触れる体験がますます重要になってくると思います。

また、失敗したり、笑われたり、悔しいとか恥ずかしいといったことを、早いうちに現実のものとして体験することも重要です。目の前の結果に焦らず、「学ぶことは永遠に面白い」という根本を子供に伝えられたら、それでよいのではないのでしょうか。

コアネット教育総合研究所 新教育推進室室長

**岡田育也**さん おかだ・いくや

学校コンサルタントとして、多くの学校改革や教育改革のプロジェクトに従事。現在は特にICT導入・活用、DX化推進支援を担当。授業と校務のDX化による新たな学びと学校像をつくる支援を行っている。



from the School

景山 誠校長

「知の統合」が求められる時代。多様な知識を柔軟に使いこなせる力を6年間で育みます。

# 共立女子中学高等学校

## 中高大連携の実験講座が特色 体験で養う科学的・論理的な考察



Homepage



科学的な思考力を育むために、理科の時間は実験や観察を多く取り入れている。写真は、中2で行っている硫黄と鉄の混合物を加熱する実験の様子。局所換気システムが設置され、安全に実験を行うことができる。



上/運動部、文化部、課外講座など27の部活動がある。能楽部や太極拳部など、珍しい部活も人気だ。

右/東京電機大学との連携講座「段ボールチェアを作ろう」。構造工学、デザインなどを学び、グループごとに段ボール工作をスタート。さまざまなアイデアや形の椅子が完成した。



高校の総合探究の時間には、「共立リーダーシップ」を学ぶためにグループワークを実施。ゲーム的な要素も取り入れている。



### 連携講座でも発揮される 「共立リーダーシップ」

「誠実・勤勉・友愛」を校訓とし、「女性の自立と自活」を建学の精神とする共立女子中学高等学校。140年に及ぶ女子教育の伝統がある。「主体的に物事に取り組み生徒が増えた」と景山 誠校長は言う。

「1学年に300名以上の生徒がいまさら、手本になる先輩も多ければ、刺激し合う同期生も多様です。生徒の自主性や活発さは、その環境によるものだと思います」

また、同校は理科教育にも重点を置いてきた。なぜなら「現代は生活全般に科学が深く関わっている時代だから」と、自身も生物が専門の景山校長は説明する。

「例えば、カーナビは相対性理論を利用した補正技術がなければ、正確に作動しません。また、画像の生成AIの原理には流体力学の計算技術が使われています」

理科の授業では、基礎・基本を大切に、体験的に事象の原理を学べる実験に重きを置き、教科書に載っている実験はほぼ行っている。その学びは、科学的・論理的な考察力を養うことにもつながる。

併せて、日々の授業で学ぶ科学の知見が、どう暮らしに生かされているかを知るのも大切だと考えている。そのため中高大連携の理科教育にも積極的に取り組んでいる。

東邦大学理学部との連携講座が始まったのは2011年。「オーロラ

を作ろう！」や「バイオテクノロジー」「数式とアニメーションプログラミング」など、中学高校ではなかなか経験できない内容が多い。東京電機大学との連携講座も始まり、構造工学を体験する「段ボールチェアを作ろう」も好評だった。

このような連携講座に関わる大学教員から、同校の生徒は「チームづくりが上手だ」と評されるという。これには、同校の「共立リーダーシップ」が深く関係している。「関わる力」「動く力」「考える力」「解く力」を養う能力開発プログラムだ。

これを通して、生徒は他者と協働し課題を解決する経験を積む。他者を率いる1人のリーダーを育成するのではない。生徒が互いの個性を認め、「できること」「したいこと」を共有し、それぞれが必要とされる役割を果たす。その姿勢と行動力を身に付けることを目的としている。

「協働する力は、社会に出てからも自らの居場所と役割を見いだすために必要」と景山校長。それこそが今日のリーダーに求められる素養だ。

### School Data

〒101-8433  
東京都千代田区一ツ橋2-2-1  
☎03-3237-2744(代)  
<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/chukou/>

- 創立 1886年
- 交通 ● 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町」駅から徒歩3分
- 東京メトロ東西線「竹橋」駅から徒歩5分

### コアネットの目

自画像からCG制作、漫画表現まで本格派の美術の授業▶1学年320名以上の大規模校だが、専任教員も約100名と多く、教員一人当たりに対する生徒数は意外と多くない。多彩な教員陣による授業の中でも、特に美術はデッサンや油絵などの古典的技法と、コンピュータを用いたアート制作の両方が学べる本格的なカリキュラムとなっている。芸術系の進路希望者も毎年一定数いるそうだ。

# 佼成学園女子中学高等学校



from the School

二木宏明教頭兼教務部長

自分が好きな道、進みたい道を見つけられるよう、生徒の主体性を大切にしています。



Homepage

## 多彩なプログラムで興味を深め「好き」を理系進路につなげる



上/互いに意見を出し合いながらアイデアを磨き上げ、3月に行われる「プレゼンテーションDAY」につなげていく。  
左/高校留学コースでは1年間のニュージーランド留学を実施。提携校に通い研究活動も行う。



高大連携協定校の東京都市大学、東京工科大学から先生を招いて出張授業を行う「サイエンスDAY」。



上/高2特進コースの「探究ゼミナール」でVRを体験。興味関心に合わせた調査活動や論文作成を行う。  
右/探究に没頭できる多様な講座があり、中学生にもプレゼンの機会がたくさん用意されている。



三大行事のひとつスポーツフェスタ。先生も一緒にリレーや綱引きなどを楽しむ。

## 興味関心の土台をつくる 学校改革の取り組み

「平和社会の繁栄に貢献できる人材の育成」を教育理念に掲げる佼成学園女子中学高等学校。英語教育に定評があり、高校における留学コース、スーパーグローバル(SG)コースは内容、レベル共に突出していることで知られている。

一方、2020年から学校改革に着手し、チーム担任制の導入、中間試験の廃止などの先駆けとなってきた。生徒主体の校則の見直しなども進み、学校全体に明るくポジティブな空気が広がっているという。

「中間試験を廃止したことで生まれた余裕で、探究学習に力を注ぐことができています。通常の授業にもプレゼンテーションやグループワークを取り入れることができました」と二木宏明教頭。

改革による変化の一つに、理系進路を選択する生徒の増加がある。理数科目の単位を増やしたことや、数学の授業を習熟度別にして細やかに対応していることが背景にある。

中高6年間を通して、生徒が興味を持った分野を学校全体でサポートしてきたことも理系志望者の増加につながっている。例えば連携協定を結んでいる東京都市大学との高大連携プログラム「オープンミッション」は、中3から参加可能だ。たとえば内容を理解しきれなかったとしても、「面白そう!」という思いを尊重しているのだ。ロングホームルームな

どを利用した探究学習は中1からスタート。連携する大学の教員の協力を得て、放課後を利用した探究型の特別講座を設置している。

高校の探究活動は、異文化をテーマに課題研究する留学コース、SGコースに加え、探究ゼミナール(特進コース)と企業探究クエスト(進学コース)で実施。ゼミナールは、教員が総出で担当する手づくり感が特色だ。近年は「英語×AI×メディアで情報発信」「高大連携DXゼミナール」といった理系・文系融合型のゼミに多くの生徒が集まるという。

「高1までに土台となるスキルを身に付け、高2では自分のテーマを追究していきます。そこでの教員の役割は、各テーマを専門とする大学とつなげる。あとは生徒が自力で論考をまとめます」。最終的に3月の「プレゼンテーションDAY」で中1から高2が成果を発表する。

探究活動を進路選びのきっかけにする生徒も着実に増え、「英語の佼成」に「探究の佼成」の呼び名が加わっている。

### School Data

〒157-0064 東京都世田谷区給田2-1-1  
☎03-3300-2351  
https://www.girls.kosei.ac.jp/

- 創立 1954年
- 交通 ●京王線「千歳烏山」駅から徒歩約5分
- 小田急線「千歳船橋」駅から京王バスで約15分「南水無」下車すぐ
- 小田急線「成城学園前」駅から小田急バスで約20分「千歳烏山駅」下車、徒歩約5分

### コアネットの目

英語未経験から英検®1級へ、成長を支える佼成女子の教育▶英語教育の成果も同校の魅力のひとつとして挙げられる。英語未経験者でも安心して学べる体制が整い、中学で基礎から学び始めた生徒の多くが3年次に英検®2級へ到達。高校では1級取得者も少なくない。中には1級に3度合格し奨励賞を受けた生徒もいるという。中学グローバルコース開設を背景に、着実な積み重ねが高い到達点へとつながっている。



from the School

グローバル教育部  
ロバート・キンブル先生

自分で考えることを大切にしています。ぜひ一緒に新しいことに挑戦しましょう。

# 実践女子学園中学校高等学校

## 殻を破り、世界に飛び立つ 「本当の実践力」を育成する伝統女子校



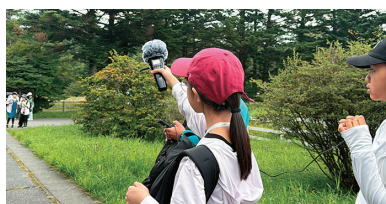
Homepage



左/「イングリッシュサイエンス・クリエイションキャンプ」(ESCC) 1日目。音叉を使って音の振動を体感。  
下/「こんなに離れていても聞こえる!」と、糸電話の実験にびっくり。



音楽制作アプリを使って、集めた音で作品をつくる。初めてのアプリでもたちどころに使いこなす生徒たち。



ESCC 2日目。清里高原の自然の中で音を集める。滝から落下する水の音、葉擦れの音、虫の羽音、遠くを走る車の音、自然界にはさまざまな音が潜んでいることに気付く。



キャンプ最終日は、グループごとに作品を発表。音だけで構成されたドラマ仕立ての作品や美しい音楽も。



英語×サイエンス×アート  
発見に満ちたプログラム

渋谷区にキャンパスを構え、創立127年目を迎えた伝統校。「女性が社会を変える、世界を変える」という建学の精神の下、女子教育を牽引してきた。時代に合わせて「本当の実践力」とは何かを問い続け、体験型のプログラムを数多く設定していることが大きな特色だ。

例えば、夏休みに中学生を対象に行われる「イングリッシュサイエンスキャンプ」は、最新の科学をアクティビティも交えて英語で学ぶユニークなプログラム。専任のネイティブ教員が毎年テーマを変えて企画・運営し、生徒の人気を集めている。担当するロバート・キンブル先生にお話をうかがった。

「2023年は箱根で火山について学び、24年は宇宙をテーマにJAXAの筑波宇宙センターなどを見学しました。そして25年は、『音の科学と創造』をテーマに実施。『創造』が加わって、『イングリッシュサイエンス・クリエイションキャンプ』に進化しました。『創造』つまりArtsの要素が入ったので、STEAM教育ともいえます」

3日間にわたって行われたキャンプの内容を紹介しよう。初日は学校で、音の周波数・振動・共鳴といった物理的な概念を英語で学び、糸電話の実験や自分が音の粒子となって体を動かすアクティビティを体験。さらに、特殊な録音機材や音楽制作

アプリの使い方のガイダンスを受けた。2日目は清里高原に移動して、自然の中で聞こえるさまざまな音の収録に挑戦。録音した音を使ってグループで作品を制作し、3日目は学校に戻って、作品発表を行った。

「私たちは普段、さまざまな音の中で暮らしていますが、遠くのノイズを拾わない特殊な機材を使うと、目の前の川のせせらぎなど特定の音だけを録音することができます。生徒たちは皆、そのこと自体に目を見開いて驚いていました。出来上がった作品は音のイメージが生きた、とても新鮮なものでした」と話すキンブル先生。学校の外に出て、教室では学べない体験をすることが成長のカギだとも強調した。

このプログラムは、未来を生きる子供たちに必要な実践力である「4C」=Critical thinking(批判的思考)、Communication(コミュニケーション)、Collaboration(協働)、Creativity(創造性)の獲得も意図してつけられている。

教育の理想を追求するネイティブ教員の存在が、同校の教育の推進力となっている。

### School Data

〒150-0011  
東京都渋谷区東1-1-11  
☎03-3409-1771  
https://hs.jissen.ac.jp/

- 創立 1899年
- 交通 ● JR・京王井の頭線・東急線・東京メトロ各線「渋谷」駅から徒歩約10分
- 東京メトロ千代田線ほか「表参道」駅から徒歩約12分

### コアネットの目

恵まれた立地とそれを生かした学びの数々▶渋谷という立地ながら緑豊かなキャンパスが特徴的な同校では、2028年4月の完成に向けて中高新校舎建設が進んでいる。新校舎への要望を生徒と建設会社の担当者が話し合うワークショップなど、生徒の意見を取り入れることで社会とのつながりを意識してもらい取り組みも行われた。新校舎建設も貴重な学びの体験だ。

# 淑徳与野中学・高等学校



from the School

理科 岡野実来先生

自分の好きなことを見つけ、伸び伸びと、いろいろな挑戦ができる学校です。

## 中高大連携プログラムが 学びの質を深める「医科学進学コース」



Homepage



お茶の水女子大学のサイエンス&エデュケーション研究所と実施する中高大連携プロジェクト。高度な理科実験講座を開講し、大学レベルの実験を行う。



右/東邦大学で理学系と医療系のキャンパスツアーを実施。写真は、液体窒素を使った6つの現象を体験する実験の様子。

左/魚の中からアニサキスを取り出す実験に取り組む生徒たち。こちらも東邦大学で行われた。



埼玉医科大学との連携で行われた、ドクターヘリを間近で見学するプロジェクト。メディカルスタッフから直接話を聞き、医療の最前線を五感で体験できる。(協力：エアロトヨタ株式会社)

### 「本物」の研究に触れる 中高大連携プログラム

明治時代に「女性の自立」を掲げた校祖・輪島聞声が提唱する淑徳教育(高い品性、豊かな感性、輝く知性を備えた女性の育成)を教育理念とする伝統校だ。難関国公立大学や医学部への合格者を輩出する、県内屈指の進学校としても知られ、2024年度には理系女子の専門的な学びを強化する「医進コース」を中学に新設。今春、第3期生を迎え入れ、コース名も「医科学進学コース」と改称した。「医療系だけでなく、理系一般の幅広い分野に興味のある女子を応援するコースです。ジェンダーギャップのない女子校で伸び伸びと、好きなことを好きなだけ追求できる環境を整えました」と話すのは、1期から持ち上がりで「医科学進学コース」の担任を務め、理科担当の岡野実来先生だ。

同コース最大の特徴は、中学生の段階から、専門的な大学の研究分野に触れることができる「中高大連携プログラム」である。お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所との連携による、理科実験講座(年8回)はその目玉。中1、中2では、ヒトゲノムなど海洋生物に手で触れて観察したり、まわりも研究者から発生の仕組みを学んだり、実物を見て・触れて・学ぶ。今年度の3年生は、夏にはじめての那須探究合宿(2泊3日)を実施する予定だ。「全員参加の合宿には、お茶の水

子大学の教授陣も参加されます。ワールドワークや寝食を共にする貴重な日々が、生徒にどんな成長をもたらすのか楽しみですよ」と岡野先生。医療関係機関との協力体制も見逃せない。2024年度に教育連携協定を結んだ埼玉医科大学とは、大学教授陣による出張講義のほか、生徒が同大学を訪問し、ERや医学生が扱う医療器具などを見学するツアーを実施した。また昨年度は、東邦大学薬学部等を訪ね、点滴調合などを体験したり、埼玉県診療放射線技師会の技術者を学校に招き、MRI画像から病巣を探す体験学習も行った。

中学生対象とは思えない専門領域に踏み込んだ取り組みだが、「進路選択に落とし込めるように、低学年のうちにも多くの体験をさせてあげたい。『医科学進学コース』の体験プログラムは、キャリア教育の一環でもあるんです」と説明する。淑徳与野の今後の発展に目が離せない。

#### School Data

〒338-0001  
埼玉県さいたま市中央区上落合5-19-18  
☎048-840-1035  
https://www.shukutoku.yono.saitama.jp/

- 創立 1892年
- 交通
  - JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心」駅から徒歩約7分
  - JR埼京線「北与野」駅から徒歩約7分
  - JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線・川越線・東北新幹線ほか「大宮」駅から徒歩約15分

#### コアネットの目

入学後のコース変更でも人気の「医科学進学コース」▶理系学部への進学者の割合も多く、理系志望者も多い同校。高2進学時まではコース変更が可能で入学時とは違うコースを選べるのも特徴的で、入学後に「医科学進学コース」への変更を希望する生徒も多いという。名前から「医」のイメージが先行するが、理系全般に強い興味がある受験生はぜひ学校を見てほしい。



from the School

進路指導部・数学科  
小島さなえ先生

楽しく高め合える環境があります。独自の理数系の学びを、将来への力にしてください。

# 女子聖学院中学校高等学校

## キリスト教精神×理数系教育で 社会に貢献できる人を育てる



Homepage



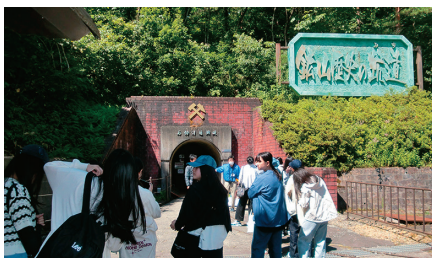
医学部に進んだ卒業生から、在学中のことや受験勉強について聞く医学部トークセッション。



上/トランプを使った中1数学の授業。黒を財産、赤を借金として正負の数の感覚を身に付ける。数学嫌いにならない工夫のひとつ。右/高3生が受験に向けて学び合う、放課後セミナーの様子。



高大連携の取り組みとして東邦大学看護学部でバイタルチェックを体験。看護学部に進む生徒も多い。



昨年度の「理科見学旅行」は宇宙・災害・生態系をテーマに東北へ。写真は秋田県鹿角市の石切沢通洞坑。



高校探究ゼミ「JSGコミュニティガーデン」の活動。コンポストを使い土づくりから行う。

共に学び高め合える仲間と  
未来の可能性を広げる

女子聖学院中学校高等学校は、創立121年を迎えたミッショョン系の完全中高一貫校。自主性を重んじ、他者と共に社会に貢献できる女性の育成を目指している。

「本校では長年、理系教育を重視してきました。理系的なものの見方や、物事を論理的に考える力は、課題への対応力につながります」と数学科で進路指導部の小島さなえ先生。その根底にあるのは、「他者のために何ができるか」というキリスト教的価値観だ。

中学数学では「嫌いにさせない」ことを第一に、一人ひとりに目を配る。理解が不十分な生徒は、放課後に学習室で丁寧なフォローし、励ましている。さらに、小テストの前などには生徒同士で教え合う時間をとるといふ。「中学生は特に、文章問題など互いに教え合うことで楽しく理解を深められると考えています」

小島先生自身も同校の卒業生。母校での経験が現在の仕事につながっていると振り返る。「頼まれて一緒に数学を勉強した同級生が、第一志望の大学に合格したときに本当に感謝されて、自分も人の役に立てたことがとてもうれしかった」

理科では実体験を重視。広報室長の天津佑万先生はこう語る。「なぜ」という心の動きを最も大事にしています。それによって興味関心を深め、科学的な視点で世界を見る力を養っ

てほしい」  
「なぜ」を見つけるために、中学3年間で実験授業を約60回実施。加えて園芸の特別授業も行っている。また、中2から高3が参加できる「理科見学旅行」では、事前学習を重ねた後、日本各地を訪ね、実体験を通して学びを深めていく。

これらの経験は高1・高2の「総合探究ゼミ」へとつながる。ゼミ形式でテーマに取り組み「問い」を深めるもので、数学コンテストの入賞を目指す「マスコンゼミ」や、「生き物観察ゼミ」など理数系のゼミが充実。さらには理工学系・看護学系の高大連携による学びに発展していく。

小島先生はこう語る。「私自身は、中学に入学した頃は何事にも自信がない生徒でしたが、運動会や合唱コンクールなどの学校行事で、一つのもののみならずつくる経験が自信につながりました。一人ひとりが自分の得意を發揮することで、輝ける瞬間が必ずある。それが女子聖学院の6年間です」

### School Data

〒114-8574  
東京都北区中里3-12-2  
☎03-3917-2277  
<https://www.joshiseigakuin.ed.jp/>

- 創立 1905年
- 交通
  - JR山手線「駒込」駅から徒歩約7分
  - 東京メトロ南北線「駒込」駅から徒歩約8分
  - JR京浜東北線「上中里」駅から徒歩約10分

**コアネットの目** 「ありのままの自分」が自信に変わる。女子聖学院で育む探究心と国際感覚 ▶ 「Be a Messenger」の目標の下、自己肯定感を育む教育を実践。4技能の基礎とプレゼンテーション力を大切にする英語教育や、学年を超えて対話する探究プログラムを通じ、多角的な視点を身に付ける。自らの問いを深め、他者と共生しながら主体的に生きる力を養い、「ありのままの自分」を肯定できる安心感の中で、世界へ羽ばたく翼を広げる。

# 穎明館中学高等学校



from the School

理科 麻生直希先生

理系・文系を問わず、本校の「宇宙教育講座」で一緒に、宇宙の最先端に触れてみませんか。



緑豊かな景観。東京ドーム3個分の広さがあり、天体ドーム、400mトラック付き人工芝グラウンドや球場、温水プールなどの施設も充実している。

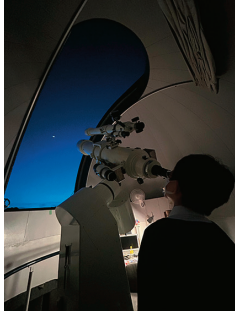


国際社会に羽ばたく真のリーダーを目指して、6年間のさまざまな学びを積み重ねる。

## 宇宙飛行士を目指した教師と学ぶ「宇宙教育講座」を絶賛展開中！



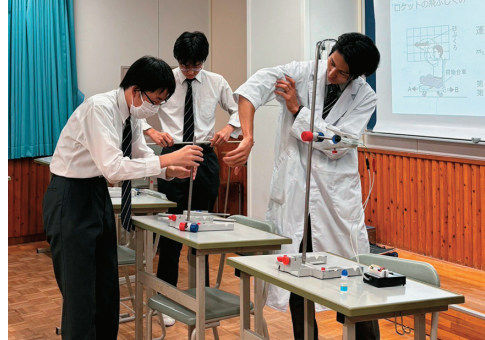
Homepage



左/天文部の活動場所は、校内にある天文ドーム。周囲に明かりが少ないため天体観測には絶好だ。下/高1全員が参加する「USA・カナダ体験学習」。ワシントン州のシアトルにあるワシントン大学の寮に滞在し、カナダではホームステイを体験する。



※プロジェクトに冠したEMKは、Experience(経験)、Morality(道徳)、Knowledge(知識)の頭文字を組み合わせたもの。穎明館のイニシャルにも掛けている。



麻生先生の指導の下、JAXA宇宙教育センター提携のコズミックカレッジ「宇宙教育講座」を実施。



東京大学を見学し、航空宇宙学の講義を聴講する。

### 宇宙飛行の原理を学び 衛星設計にもチャレンジ

「国際社会に羽ばたく真のリーダーの育成」を教育目標に掲げ、1985年に創立した穎明館中学高等学校。近年は、進学指導、学習支援、グローバル教育、ICT教育、探究学習を5本柱とする「EMK未来プロジェクト」を推進し、その成果は進学実績にも着実に表れてきている。

先駆的な教育も穎明館の特色だ。中高の希望者を対象に、2022年度からスタートした「宇宙教育講座」はその代表格。講師を務める理科の麻生直希先生は同校OBでもあり、地球惑星科学を専攻した東京大学大学院生時代、JAXA(宇宙航空研究開発機構)で月周回衛星「かぐや」のデータ解析に携わった経歴を持つ。5年前に「夢を再び」と、JAXAの宇宙飛行士募集にチャレンジした麻生先生。難関の第1次選抜まで進めたことをきっかけに、「自分の経験と宇宙についての学びを生徒に伝えたい」と一念発起。ロケットが飛び仕組みを学び、実際に「注射器ロケット」や「空力翼艇」を飛ばす講座を実施した。麻生先生はほかに、高1の探究学習の一環として、宇宙に関心を持つ生徒を集めたゼミも開いている。

「去年、ゼミの生徒を連れて、JAXA相模原キャンパスの施設見学に行きました。水星探査機「みお」プロジェクト研究員である村上 豪先生と面会したり、かつての僕と同じ

ように、東大大学院生としてJAXAで研究を行う、穎明館の卒業生から話を聞いたりし、皆、目を輝かせて大興奮でした。この体験を機に「将来、宇宙物理学を研究したい」と心に決め、大学受験に向けて猛勉強中の生徒もいます」と麻生先生。25年の春には、「宇宙教育講座」の受講生らが「衛星設計コンテスト」ジュニア部門に初挑戦した。

高3の男女ベアチームは、土星の衛星エンケラドゥス(表面は氷の世界だが、内部に海が存在すると考えられている)に人工衛星を送ってサンプルリターンするプロジェクトを考えた。また、高2の6人組は、月面で食料となりうる植物栽培をするというテーマで挑戦。レベルの高い大会だけに書類選考通過はかなわなかったが、今後はより多くの受講生を募り、学会に参加するなど、同校の宇宙教育の裾野を広げていきたいと、麻生先生は考えている。

宇宙飛行士を目指した先生と学ぶ宇宙教育。夢への挑戦が受け継がれ、教師もわくわく、生徒もわくわく。進学校の枠に取まらない、同校の真骨頂が具現化された教育といえよう。

#### School Data

〒193-0944  
東京都八王子市館町2600  
☎042-664-6000  
https://www.emk.ac.jp/

- 創立 1985年
- 交通
  - JR中央線・京王高尾線「高尾」駅から京王バスで約15分(直行便で約10分)
  - JR横浜線・相模線・京王相模原線「橋本」駅からスクールバスで約25分

#### コアネットの目

自然豊かな環境と充実した施設が支える6年間の成長▶緑豊かな環境と充実の施設が特徴的なキャンパスの同校。落ち着いた環境での学びが、確かな進学実績に結びついていると言えるだろう。こうした環境での中高一貫の6年を通した学びは進学実績だけでなく、自らの望む未来を見つめることにもつながっていく。成長に期待ができる同校に注目してほしい。



# 北里大学附属順天中学校・高等学校

## 北里大学附属として 中高大が連携する教育がスタート



Homepage

from the School

片倉 敦教育支援センター長

探究活動を通して、さまざまな社会課題に解決策を見いだす力を伸ばしていきましょう。



左/高校英語選抜類型、英語探究の授業。英語をツールに社会課題の解決に向けて探究を行う。

下/グローバルウィーク10周年を記念して、ノーベル生理学・医学賞を受賞した、大村 智北里大学特別荣誉教授の講演が行われた。



地道に実験を繰り返す理数探究の授業。「エコチル調査全国フォーラム」(主催・環境省)では最優秀賞をはじめ複数の賞を受賞した。



右/アジア生物教育学会2024の様子。高校理数探究系の生徒が英語でポスター発表を行った。

左/高等部1・2年全員が発表する探究報告会。互いの発表を聞き刺激を受ける。



### 探究から研究へ 学び続ける力を追求する

和算の研究者・福田理軒が開いた順天堂塾を始まりとし、190年を超える歴史を持つ順天中学校・高等学校が、今年4月1日、医療・生命科学系の総合大学、北里大学の系列校となった。先進的な探究教育で知られる順天が、いま、ますます注目を集めている。

「探究学習を一つの学習活動で終わらせず、大学以降の研究活動につながるものになりたい。探究から研究へをスローガンに掲げ、そのための仕組みづくりを進めています」と片倉敦教育支援センター長。博士課程修了の教員確保や外部研究者・研究機関との連携など、生徒が「本当にやりたいテーマ」を追究できる環境を整備。生徒たちの熱心な活動は、外部でも高い評価を受けている。

例えば、「日焼け止めの有害成分ベンゾフェノンを分解する微生物の探索」「理想のぬか漬けく酪酸菌を多く含むぬか漬けの開発」といったテーマで、APPW2025(日本解剖学会、日本生理学会、日本薬理学会が合同開催する学術大会)の「高校生ポスター発表」部門で最優秀賞、優秀賞を受賞。生徒たちは、それぞれ望む研究ができる大学・学部へ進学しているという。

同校の受賞歴を見ていて気付くのは、身近な課題を解決する、社会貢献性の高いテーマが選ばれていることだ。その背景には、中高を通して

行われる全人教育がある。「高齢者施設での交流、近隣団地の活性化活動への参加、海外でのボランティア活動などさまざまな経験が、生徒たちの新たな視点の獲得に役立っています」と片倉センター長。柔軟で敏感な中学時代から土台を築くことで、生徒たちはおのずと社会貢献を意識した研究に興味を持つようになる。これまで「英知をもって国際社会で活躍できる人間を育成する」だった教育目標を今年度から「活躍」を「貢献」に変更したという。

北里大学附属校としての、中高大連携教育も本格的に始まっている。理数探究系、英語探究系、総合探究系と系列分けしていた高校探究学習に、医療・生命分野に特化した北里探究系を導入。北里大への内部進学を見据えた活動が行われる。長期休み中の特別演習講座や、学校内外から講師を迎えて知見を共有するグローバルウィークにも北里大の研究者を迎え、ますます充実させる予定だ。社会性を重視し、学び続ける力を培う同校の教育こそ、いまの時代に必要なものといえるだろう。

#### School Data

〒114-0022  
東京都北区王子本町1-17-13  
☎03-3908-2966  
<https://www.junten.ed.jp/>

- 創立 1834年
- 交通
  - JR京浜東北線、東京メトロ南北線「王子」駅から徒歩約3分
  - 東京さくらトラム(都電荒川線)「王子駅前」駅から徒歩約3分

**コアネットの目** 北里大学附属順天中学校・高等学校へ改称、その取り組みに注目が集まる ▶ 探究活動・研究活動にも人間関係を築く力や交渉力が必要だとして、そのために学外リソースも積極的に活用。生成AI時代だからこそ、社会性と人間性を兼ね備えた力の育成を重視している。北里大学とも連携しつつ、確実に実績を上げている同校の研究のレベルの高さには目を見張るものがある。

# 法政大学第二中・高等学校



from the School

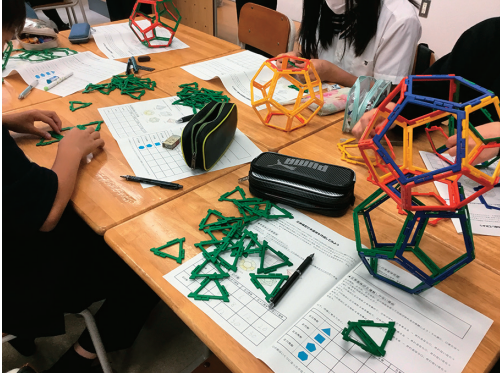
入試広報主任 飯野 都先生

6年間、じっくりと時間をかけて、自分の好きなこと、将来やりたいことを見つけていきましょう。

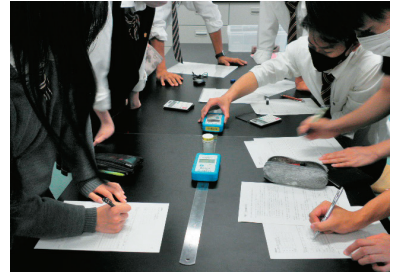


Homepage

## 中高大10年間を見据えて 学び続けるための土台を築く



上／中学の数学と英語は一部の授業でクラスを二分割し、細やかな指導で学びの土台となる基礎学力をつくる。  
左／中1数学の授業で、立体模型を作りながら多面体の性質を学習。



高3「科学と人間生活」の実験の様子。身近な物質から放出される放射線を測定し、その性質や生活との関わりを学ぶ。



理科主任で物理部顧問の上山勉先生。「課題を発見する目を持ち、体系的に学ぶことが大切だ」と語る。

中3の研修旅行は4泊5日で広島へ。班別の探究活動と平和学習を組み合わせた充実した内容だ。



物理部は「缶サット甲子園」で6度優勝。2023年にスペイン、グラナダで開催された世界大会にて。



### 理系教育の重視で 思考力と探究力を伸ばす

生徒のほとんどが法政大学に進学する付属校として、法政大学が掲げる理念、「自由を生き抜く実践知」を共有する。

「本校の学びの特長は、大学進学後に役立つ力を、中学時代から着実に積み上げていけることです」と入試広報主任の飯野 都先生。

なかでも重視しているのが理系教育だ。「理系的な問題解決力や論理的思考力は、理系・文系を問わずとても大切です。中学から理系への興味を育てたい。法政大学は文系学部の影響が強いかもしれませんが、理系学部も充実しています。理系が好きな生徒も中高大と10年間を通して思いきり学ぶことができます」

数学では、中1から「図形」と「計算」とに分けて授業を行い、スタートでつまづかない工夫をしている。「両者を並行して学ぶことで、理解度を上げるのが狙いです」

理科では体験を通じて興味・関心を深めることを重視。中学では教員2名のチームティーチングで毎週実験を実施している。

「タイムパフォーマンスが求められる今の時代は、すぐに答えを求めがちですが、答えに至るまでの試行錯誤を大切にほしい」と語るのは理科主任の上山 勉先生。自然科学を学ぶ姿勢を中学でしっかりと身に付けた生徒は、高校に入ってから理科の成績が伸びるといふ。

#### School Data

〒211-0031 神奈川県川崎市中原区木月大町6-1

☎044-711-4321(代)

<https://www.hosei2.ed.jp/>

●創立 1939年

- 交通 ●JR南武線「武蔵小杉」駅西口から徒歩約12分
- JR横須賀線(総武快速線・湘南新宿ライン・相鉄線直通)「武蔵小杉」駅横須賀線口から徒歩約15分
- 東急東横線(みなとみらい線・東京メトロ副都心線・東武東上線・西武池袋線・相鉄線直通)、東急目黒線(東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道・都営三田線・相鉄線直通)「武蔵小杉」駅南口から徒歩約10分

高3理系コースでは物理・化学・生物・地学のどの科目でも選択可能。同コースではさらに、理科の知識に社会科学の観点を加えて、エネルギー政策について討論する授業がある。「生徒が自ら考え対話し、気付きを得られるように、教員は進行役に徹します。日ごろから人前で話す機会が多いので、皆、堂々と意見を発表します。面白がって取り組んでいますよ」と上山先生。こうした経験は就職活動でも役立つという。

部活動も活躍中だ。上山先生が顧問を務める物理部は、空き缶サイズの自作の模擬人工衛星で競う「缶サット甲子園」で多数の優勝経験を持ち、世界大会へも出場した。まさに6年間の理系教育の成果だろう。

大学受験にとられず、じっくりと個々の興味を育て、得意分野に打ち込む。時間をかけて培われた学びは、これからの時代を生き抜く確かな力となるだろう。

#### コアネットの目

身近な先輩に学ぶ、少し先の未来を考える第一歩▶高校生が自身の経験を中学生に語る進路講演会は、身近な先輩の言葉が教師のそれ以上にリアルに響く。先輩の姿を通して、高校生になった自分を具体的にイメージし、そのために今何をすべきか考える機会となっている。話し手にとっても自らの歩みを振り返る貴重な場だ。他学年とのつながりの中で、自分の将来を自分で考える力が育まれている。



from the School

原田啓志中学校長

生徒は皆、教師の手助けを待つことなく、自らの進路を決めていきます。この10年の成果です。

# 三田国際科学学園中学校・高等学校

## 科学的アプローチサイクルを軸に 「発想の自由人」を育てる



Homepage



左上/中2からスタートするメディカルサイエンステクノロジークラス。専門性を深めた研究に挑戦する。

左下/国際色豊かなインターナショナルクラス。ホームルームをはじめ英語、数学、理科、社会もオールイングリッシュで学ぶ。

上/インターナショナルサイエンスクラスは、ゼミナールを含め、さまざまな選択が可能。

右/今年度から広報部長を務める内田雅和先生。



### 校名に「科学」を加え 教育の2本柱を明示

三田国際科学学園中学校・高等学校は2025年4月、校名に「科学」の2文字を加え「三田国際科学学園」に改称した。同校は共学化して以来、大胆な改革を施し、「世界標準の教育」を追究してきたことで知られる。この校名改称について、原田啓志中学校長は「新たに『科学』に力を入れるという意図ではない」と語る。

「当初より本校は、インターナショナルとサイエンスを教育の2本柱としてきました。共学化10年の節目を機に、より充実した教育を展開していくという決意表明として、校名に『科学』を打ち出したということです」

この改称に対し、保護者からは「変化をいとわない姿勢の表れ」と、共感の声が多く寄せられた。

6年間のサイエンス教育の基礎となるのが、「サイエンスリテラシー」だ。日常の気付きから問いと仮説を立て、調査・実験、分析・考察、その構築を経て発表に至る、科学的アプローチサイクルの実践と、その積み重ねである。

まず、この技法を学びの基礎として、中学1年の全生徒が身に付ける。そして、インターナショナルサイエンス(ISC)、メディカルサイエンステクノロジー(MSTC)、インターナショナル(IC)の各クラス(中学)・コース(高校)それぞれの特徴に応じたプログラムが展開される。こうした独自の教育スタイルの成

果は、数字にも表れている。広報部長の内田雅和先生によると「東京大学5名をはじめ国公立大学の合格者数は34名で、今年も前年を大きく上回り、その多くが理系学部となっている。さらに医学部合格者に至っては28名。昨年と比べて2倍超の数字になっています」

一方、入試の出願者・受験者数もこのところ前年を上回って増え続けている。「サイエンス教育に魅力を感じ、本校を第一志望校に選んだという入学生も多数いる」と内田先生は分析する。

### 自由な発想を加速させる 「ゼロワン」を新設

10周年を機とする大きなトピックがもうひとつある。「ゼロワン(ZERO ONE)」という新校舎のオープンだ。その名の通り「0から1」を生み出す場である。

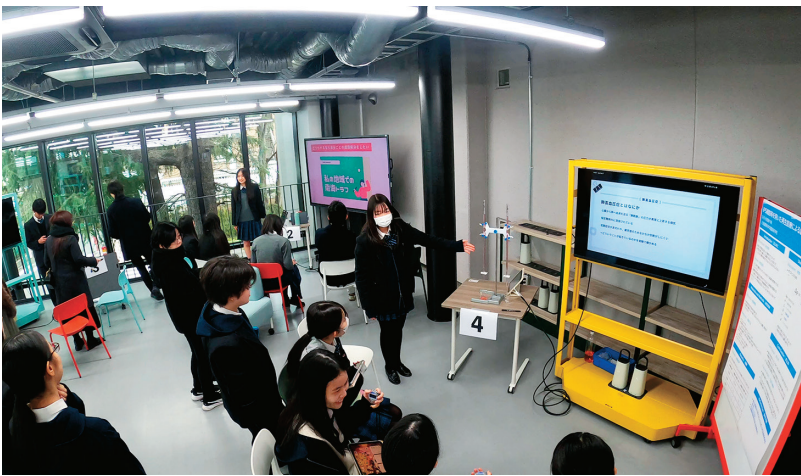
「本校は『発想の自由人』の育成を教員理念に掲げています。「ゼロワン」は、生徒の自由な発想を沸き立たせ、実現へと結び付ける、思索と創造の空間として新設しました」(原田中学校長)

3階建てのこの新校舎には講義室もあるが、それも含め全館のほとんどを、生徒が自由に使える空間としている。生徒同士あるいは教師も交え、グループワークに取り組みるフロアもあれば、一人静かに思索するのに適したスペースもある。

さらに1階は、3Dプリンターなどを備えた実験・工作用のフロアと

右/インターナショナルティーチャーは40名(2026年度)。進路指導や課外活動などの学校運営、教育プログラムの構築・実践において、重要な役割を担う。

下/LOVEダン2026「WE LOVE DANCE -高校ダンス動画フェス-」の決勝トーナメントに進出した、ポップダンス部。



昨年秋に完成した発想の拠点「ゼロワン」。1階は3Dプリンターなどを備えた実験と工作用のフロア(写真上)、2階(写真左)と3階は、枠にとられず自由な発想を生み出せる場所になっている。

中1で身に付ける「サイエンスリテラシー」に引き続き、中学2・3年次には全クラスでゼミナール形式の授業が行われる。そして中学3年次には、その研究成果を発表する。「こうした学びを経験すると、生徒たちは教師が指示しなくても、自分でテーマを探し出して、進んで学習するようになります」(原田中学校長)

ゼミナール形式の授業は、高校に引き継がれる。ISCでは「基礎ゼミナール」から「リベラルアーツ」へ、MSTCでは「基礎研究α」から「基礎研究β」へ。そしてICでは、英語による探究活動から、海外研修や西オーストラリア州教育省との提携

### 外部からも認められる研究者としての資質

「ゼロワン」では、空間の機能に着目しました。教室のような目的型の空間ではなく、多様な有機的な機能を有するこのような空間は、間違いなく、本校生徒たちの発想力を加速させる働きを持つものとなるでしょう」と原田中学校長。

ほかにも同校は、キャンパス内の屋外に発想の小路やウッドデッキのテラスなど、「自由な発想のための空間」を新たに設置した。キャンパス全体が発想の拠点となっているのだ。

**School Data**

〒158-0097  
 東京都世田谷区用賀2-16-1  
 ☎03-3707-5676  
<https://www.mita-is.ed.jp/>

- 創立 1902年
- 交通 東急田園都市線「用賀」駅から徒歩5分

による「デュアルディプロマプログラム」へ。

さらに25年度からAP (Advanced Placement)も導入された。これは高校在学中に大学レベルの授業が受けられるプログラムだ。取得単位が大学の単位としても認められるので、特にアメリカの大学に進学する場合に有利になる。

「研究者たる姿勢で学ぶ」ことを重視する同校。生徒の活躍は、しばしば大学や学会からも注目される。例えば、高2生の静音性の高いドローン用ロボットの研究は、次世代の研究者を育成する東京大学のプログラム「UTokyoGSCnext」で認められ、現在は同大学の研究室に所属して研究を継続している。一方、抗生物質を生み出す放線菌の培地をテーマにした高2生は、研究成果を学会で発表し、高い評価を得た。この研究は1期生による放線菌の新種2株の発見から受け継がれてきたものだ。

生徒の自主性を育む独自の教育プログラムに加え、「生徒のやりたいことを実現できる環境づくり」にも力を入れる三田国際科学学園。その進化はとどまるところがない。

### コアネットの目

生徒それぞれの探究活動を支え、発想を引き出す教員団▶博士号を持つ先生方や40名(2026年度)のインターナショナルティーチャーも含めた教員団が、ゼミや授業を通じて生徒たちの探究活動と発想力をサポート。全教員で行う年3回の研修で、学校のミッションやこれからの時代に必要な力について共有する。日々研鑽を積んでいる先生方が、生徒たちの「やりたい」に答えてくれる学校だ。



from the School

理科・科学部副部長 桂 岳史先生

次年度の探究アウトプットタイムは、数学オリンピックに挑戦するゼミも開講予定です。

# 常翔学園中学校・高等学校

## 授業から課外探究、部活まで 科学的素養を高める活動が充実



Homepage



上/プログラミングを工夫し、ロボット競技大会にも挑戦するロボットプログラミングゼミ。  
右/学校近くの淀川・城北ワンドでの活動を通じて、環境保護や共生を考える水圏環境探究ゼミ。



上/人生を豊かにするデザインを考えるデザイン探究ゼミ。



探究アウトプットタイム成果発表会の様子。



左/サイエンスチャレンジゼミは科学実験で疑問解決に挑む。

### 取り組みの深化が進む 探究アウトプットタイム

学園内に3大学を擁する環境を生かした、特色ある教育を展開する常翔学園中学校・高等学校。大阪工業大学や摂南大学との中高大連携で大学の研究を体験するほか、6年を通じた「常翔STEAM」では、中1・中2生に数理探究やプログラミングの講座を開講し、生徒の論理的思考や問題解決能力を高めている。2023年度には最難関国公立大学・医学部医学科を目指す「スーパーJ(SJ)コース」の中2・中3生を対象に、課外プログラム探究アウトプットタイムがスタート。生徒はロボットプログラミングゼミ、デザイン探究ゼミ、水圏環境探究ゼミ、サイエンスチャレンジゼミから興味のあるものを選択。1学期中を目標にチームでテーマを見つけ、3月の成果発表会に向けて探究を進めていく。

例えばサイエンスチャレンジゼミでは、「タケコプターを作ろう」をテーマにした中3の男子3名が、学校所有のドローンに触れながら仕組みを研究し、タケコプターへの応用を検証。また「炎症反応を利用して白い炎を作ろう」をテーマに、光の3原色の発想から赤・青・緑の薬品の配合に挑戦した中2の女子3名は、白い炎色反応を10秒間生み出す方法を見いだした。いずれも先行・類似研究の論文を参考に、独自のアプローチで仮説の実証に挑んだもので、成果発表会でも大いに注目を集

#### School Data

〒535-8585  
大阪府大阪市旭区大宮5-16-1  
☎06-6954-4436(入試部)  
<https://www.highs.josho.ac.jp/>

- 創立 2011年(中学校)
- 交通
  - 大阪シティバス34号系統「大宮小学校前」下車、徒歩約3分
  - 大阪メトロ谷町線「千林大宮」駅、谷町線・今里筋線「太子橋今市」駅から徒歩約12分
  - 京阪本線「千林」駅、「滝井」駅から徒歩約20分

めた。サイエンスチャレンジゼミを担当する桂 岳史先生は「中2の生徒は次年度もテーマを継続して探究を深めてほしいですし、成果発表会での質疑応答が新たな切り口を発想する機会になれば」と期待を寄せる。

なお25年度の成果発表会は4ゼミ30チームがプレゼンテーションしたが、この発表会はSJ中1生のゼミ選別の機会にもなる。例えば炎色反応に取り組んだチームは、24年度成果発表会で先輩が発表した探究に触発され、新たなテーマとした。

SJ生でなくともサイエンスチャレンジゼミに近い取り組みができるのが、桂先生が顧問を務める中学科学部でのクラブ活動だ。どちらもサイエンスキャッスルなどの外部大会に出ることを今後の目標に掲げて活動。また高校進学後も「常翔STEAM」を通じて、隣接の大阪工業大学をはじめとする学園内大学の研究環境を利用した発展的な探究活動が行われる計画だ。高校での研究論文が大学入試に生かされる未来まで、同校は描いている。

**コアネットの目** 自ら高みを目指す生徒の育成のために、教育先進校のさらなる進化に注目 ▶ 自律的学習者の育成を目指す同校。本文のような探究の取り組みや、最先端の教育・研究を行っている学園内大学との連携は、生徒たちの興味関心を駆り立て、自然と将来への目線を高くする。放課後の学習サポート環境も充実しており、長期休暇中も学校で安心して勉強することができるのも魅力的。進学実績も安定しているなか、さらなる進化が楽しみだ。

# 親和中学校・親和女子高等学校



from the School

入試広報部部长 織田香中子先生

「グローバルプラスコース」では、ネイティブ教員による徹底した語学教育を実践します。

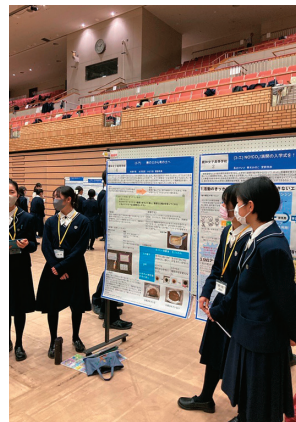
## 2025年度、共学部スタート 男女が伸びる理数・探究教育へ



Homepage

右2点／東京サイエンス研修は、日本科学未来館、国立科学博物館などの見学をはじめ、東京理科大学では数学者の秋山仁先生の講義もある。

下／SSHの取り組みのひとつである天体観測会。明石市立天文科学館館長による講義の後、天体望遠鏡を使って観測する。



ネイティブ教員との授業でグローバルマインドを醸成する、女子部のグローバルプラスコース。



上／自由なテーマで探究を進めた結果を発表する「探究発表会」。

左／サイエンスマインドを養うスーパーサイエンスコース。

### 教科の枠を超えた 理数教育を実践

1887年創立の伝統校が、親和中学校・親和女子高等学校となり、新たに女子部と共学部を併置する独自のスタイルへと進化。それぞれのよさを生かしながら、男女が刺激し合い、共に成長できる環境が整った。実際に男子の入学数も増加し、新しい学びの場として注目を集めている。

「志望理由として多く挙がった一つが理数教育です」と入試広報部部长の織田香中子先生。理系に強い親和の伝統・ノウハウと教育ネットワークを生かし、主に難関国公立大学の科学系への進学を目指す両部共通のコース「スーパーサイエンスコース」を展開している。

その取り組みは実に多彩だ。中1から、実験やデータ分析などの経験を重ね、理科への興味を喚起する実験理科など、論理的思考力を鍛える授業を設置。並行して、両部に共通する特別講座では、マナーやタイムマネジメントについて学んだり、プレゼンテーションや論文読解の能力を磨いたり、文理の枠を超えた学びでリーダーとしての資質を育む。

中1から始まる探究学習も活発。スーパーボールがよく跳ねる条件を探ったり、音を出す玩具の音量を上げる方法を研究したりと自由なテーマを通して、問いの設定、先行研究などの情報収集、検証・分析といった基本プロセスを身に付けていく。

2024年度からは兵庫県の私学唯一のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校としてのプログラムも始動。原則高校生対象に実施される取り組みに、一部、中学生の参加が認められ、天体観測会には中学全年、東京サイエンス研修には中3が参加。これらは理数教育・探究学習の実績と教員の熱意の賜物だろう。多彩な教育活動の成果の一端として挙げられる進学実績でも、文理を問わず、難関国公立大学合格者は増加傾向だ。総合型選抜入試にも強い。そして26年度、さらなる進化への一歩を踏み出した。両部共通のもう一つのコースであった「探究コース」を大幅に改編。共学部は「グローバルサイエンスコース」として、前身と同様に文理融合の学びを提供する。女子部は「グローバルプラスコース」とし、国際人養成を目指すコースへと刷新。「女子部探究コースの約8割の生徒から、国際的に活躍したい」との声が聞かれたことがきっかけです（織田先生）。すべては生徒のため。その揺るぎない思いが、飛躍の原動力となっている。

#### School Data

〒657-0022  
兵庫県神戸市灘区土山町6-1  
☎078-854-3800  
https://www.kobe-shinwa.ed.jp/

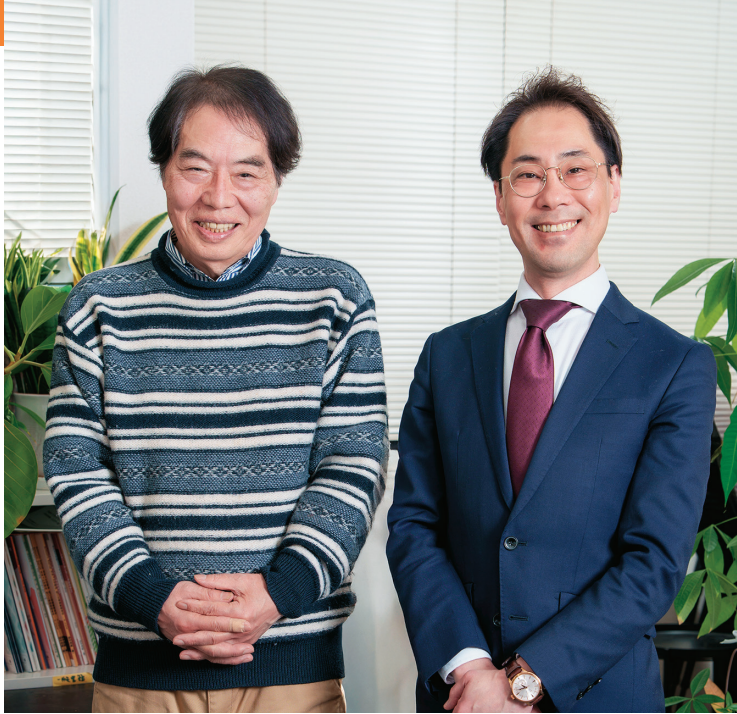
- 創立 1887年
- 交通 ● 阪急神戸線「六甲」駅から徒歩約15分
- 阪神本線「御影」駅・JR神戸線「六甲道」駅から神戸市バス「高羽町」下車、徒歩約5分

#### コアネットの目

サイエンスだけじゃない、グローバル教育も親和！▶ 2024年度にSSH指定を受け、25年度に女子部・共学部を併置するという、伝統ある同校の歴史の中でも大きな改革を行った。改革の反応は上々だが、今年度も進化は止まらない。女子部に新設される「グローバルプラスコース」では、ALT(外国語指導助手)と日本人の教員がチームで担任に。サイエンスだけではなく、本格的なグローバルリーダー育成プログラムにもご注目いただきたい。

# 探究で身に付く三つのスキルが「生きる力」をつくり出す

高校の必修科目となり、一段と注目される探究学習。適切な探究学習の在り方について、探究学習支援を行うPEN言語教育サービスの代表、田中茂範さんと、コアネット教育総合研究所の福本雅俊さんが語り合いました。



## 探究の学習効果を左右する「ガイド」の在り方とは

**福本** 探究が注目されている今の状況はどう見えていますか。

**田中** 探究学習は、新学習指導要領が重

視する「主体的・対話的で深い学び」そのものと言えます。「総合的な探究の時間」が高校の必修科目になった2022年頃にいろいろと相談を受けましたが、ほとんどの学校が手探り状態でした。

**福本** 私立の中高一貫校では必修科目になる前から、探究学習の要素を授業や課外活動に取り入れる学校が見られました。

**田中** 確かに、探究は私立校が試行錯誤しながらも先導してきたかたちですね。ただ、当時はまだ探究がよく理解されていないこともあって、教員の間でも賛否両論。「それをやって学力が上がるのか」という声もありました。探究の学習効果の研究は日本にはないのですが、海外にはたくさんあります。主要な論文はどれも探究、すなわち課題解決型の学習は学

力向上にもつながると結論付けています。ここで言う学力は、目的達成のための思考力や創造的な思考力などです。それらを、21世紀を生きていくうえで不可欠なスキルだとしています。

**福本** 探究が取り入れられた背景には、社会構造や社会課題の複雑化があります。

従来の知識とその応用だけでは、それらに対処しきれない。だから、正解のない課題に立ち向かう力が必要になると。

**田中** 1996年の中央教育審議会答申にある言葉、「生きる力」がその象徴です。自ら考え、判断し、行動する力を育む。そのため重要なのは「学び方を学ぶ」と。そこに探究の本質があります。

**福本** 探究のパターンはさまざまですが、テーマ設定や進め方を生徒任せにする例と、テーマや進め方の枠組みを決めてやる例が見られます。いわば放任型と管理型ですが、そこが少し気になります。

**田中** 先に触れた探究の研究では、極端な放任型も管理型も好ましくありません。大切なのは実施者の関わり方、論文では「ガイド」という言葉を使っていますが、いわゆるナビゲーション、方向付けですね。これをしっかりやるかどうか効果が影響すると述べています。

**福本** 受験勉強をして一貫校に入学する子は、正解を求める問題を解くのは慣れています。その子たちに「自由なテーマで」と言っても戸惑うばかりでしょう

PEN言語教育サービス代表

**田中茂範**さん たなか・しげのり

慶應義塾大学名誉教授。コロンビア大学大学院で言語学と教育学を学び、教育学博士号取得。コロンビア大学でJohn Deweyの著作に出合ったことがきっかけで、探究とプロジェクト学習の研究を続け、メソッドから評価方法までを伴った独自の探究活動プログラムを作成。教師向けの探究学習の支援活動なども行っている。

し、逆に枠組みや手順がしつかりと決められていると、探究本来のよさが損なわれる恐れが多分にあります。

## 「問い」を起こしていく方法

**田中** 私は教師向けに探究学習の支援を行うほか、授業のプログラムや教材づくり、授業の実践も手掛けています。最初の授業でやるのは、探究とは何かを生徒に理解してもらうことです。教科の授業と探究の違いですね。そのときに教材とフローシートも使います。教材は、探究授業で行うディスカッション、リサーチ、プレゼンテーションの仕方を解説したものの。フローシートは、テーマについて考えていく流れを示したものです。そうして1学期間はフィールドワークなども交え、急がずに学習の方向付けをします。

**福本** 探究は「自ら問い(仮説)を立て検証する」学びだとよく言われます。しかし、探究に慣れていない生徒たちには「問いを立てる」ことがかなり難しいことのように思えるのですが。

**田中** まず、身近な疑問からスタートするのがいいと思います。私は「普段『あれっ?』と、気になることを書き出してみよう」とよく生徒たちに言います。例えば、ゲームにはまるのはなぜか。

**福本** おそらく最初は、ゲームにはまるのは「面白いから」という単純な答えが返ってくるのでしようね。

**田中** そこから一歩進めて、その面白さはどこから来るのかを考えてもらう。す

ると、問いが形になります。しかも問いは、立て方次第で探究の対象が枝分かれしていきます。例えば、地域の生物多様性を題材としたときに、「川の魚が少なくなった」という現象があったとします。

水質など環境の変化に原因を求めるのがストレートな疑問の持ち方ですが、魚の減少が生活にどう影響するかという視点もありますね。生徒たちの興味・関心もそれぞれに異なりますから、どう枝分かれするかを想定しておくことや、問いとして何が飛び出してきたも受容する姿勢を、私は実践者として大切にしています。

**福本** 先ほど言われた「身近なところから問いを起こす」ことが、探究では大切だと私も思います。例えば、気候変動やSDGsのような地球規模の課題は、自分の暮らしに落とし込まないと、なかなか自分事としてとらえられません。

**田中** 私が探究の学習プログラムをつくる時も、学校の立地や周辺の地域性を考慮します。例えば「地域活性化」を題材にしたとして、その地域が都市部の街なら商店街の再生が課題として浮かぶでしょうけれど、郊外の街ならば課題は農業の維持かもしれません。

**福本** 自分のいる場所、足元から考えることは理解しやすい。

**田中** それがグローバルな課題ともつながります。先の商店街の再生も農業の維持も、背景には少子高齢化の問題があります。これは先進国にも共通する社会課題ですし、農業を考えれば循環型社会の形成という課題も見えてくる。視点、視

座の置き方で、もの見え方が変わることを知るのも探究の要点です。

## 探究と教科の授業の関係も学校選びのポイント

**福本** 文部科学省は、探究を「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を1サイクルとして、それを繰り返してスパイラル状に進展させるイメージで示しています。

**田中** 探究は、そのスパイラル状の繰り返しがあつてこそ、深まっていく学びです。そして、探究で身に付くのは、ディスカッション、リサーチ、プレゼンテーションの三つのスキルで、それは生涯にわたって役立つものです。ですから、中学校から、あるいは小学校からこういう学びに触れてほしいですね。ただ、課題もあります。探究の進め方は示されていますが、実施者となる教員間で共有できる具体的な手法・手順がまだ整っていません。私はそれを「探究メソッド」として独自につくりましたが、学校内では教員たちが自校に合ったメソッドをつくり、共有することが大切だと思います。

**福本** それに探究学習の手法は、教科学習への応用が利き、それによる相乗効果も期待できると思います。その点では教科学習に探究がどう取り入れられているかも、一貫校を見ていくときの尺度になると思います。探究は、生徒と学校が校外とつながりながら学ぶ貴重な社会体験の機会でもあります。今後もそのありようを注視していこうと思います。

コアナット教育総合研究所 横浜研究室室長

**福本雅俊**さん ふくもと・まさとし

日本キャリアデザイン学会会員。日本教育心理学会会員。私立高校の教員を経て、2006年同研究所に入所、16年より現職。主体的な学びを実現する教育実践の支援を軸に、教育活動や学校経営をサポートしている。



from the School

探究学習推進部長 上野裕之先生

探究のプロセスを楽しみながら、ペーパーテストでは測れない学力を磨いていきましょう。

# 佼成学園中学校・高等学校

## 段階的に積み上げる探究学習が一人ひとりの成長を支える



Homepage



探究の相談に来る生徒で熱気あふれる職員室。生徒と先生の距離が近いのも特長だ。



左上／中1の探究プログラムではグループワークで考えを深める。

上右／社会課題発見フィールドワークとして、ユニバーサルな世界について考えるスタディツアーを実施。車いすで坂道を体験。

左／自然の中でさまざまな発見をし、問いを見つける中1自然教室。

鹿児島市で開催された「高校生国際シンポジウム」。高2生6人が本選に出場し、最優秀賞と優良賞を受賞した。



探究

首都圏

### 生徒がやりたい探究を 教員と二人三脚で深める

「行学二道」を校訓とし、グローバル教育・ICT教育・探究プログラムを3本柱とする男子校。中高6年間の成長に合わせて、学校独自のカリキュラムを練り上げている。

なかでも探究プログラムは、2018年度と早い時期に専門部署を立ち上げて、中学からスタート。探究学習で生徒に身に付けてほしい資質・能力は何なのかという根本的な問いから議論し、学校全体で進めてきた。「私たちが一番大切にしているのは、成果ではなく成長です。探究を通じてどういう学びがあったか、どういう力を伸ばせたかを生徒自身に気付いてもらう。探究学習は自分の特性や興味を探究手段だととらえていきます」と、探究学習推進部長の上野裕之先生は語る。

成長のプロセスを重視する探究学習の流れは以下の通りだ。中1は紙飛行機の実験などで楽しみながらデータ収集・処理の仕方を学び、7月の自然教室を経て、夏休みには自然科学分野のテーマを決めてオリジナルデータをとり、探究活動を行う。中2では社会課題分野や、人文・社会学分野をテーマに学習を進め、中3ではテーマを自由に選択し、レポートなどの作品を作成。高1では探究的手法をレベルアップしつつ、進路を視野に入れてテーマを選定する。探究の集大成となる高2ではゼミ形式で個人のテーマを探究し、論文

を執筆する。ゼミは人文系、スポーツなど分野ごとに開設され、生徒が個人の興味関心に沿って取り組んでいく。担当教員は、時には授業時間以外にも生徒の相談に乗ったりしながら、生徒の伴走者として探究を深めていく。卒業生がチューターとして、探究活動の進め方や総合型選抜入試の相談などに乗る制度も好評だ。自分のテーマで学校外の各種コンテストに挑戦する生徒も多く、2025年度は「第11回高校生国際シンポジウム」本選に6名が出演し、スライド発表部門、人文科学・教育分野最優秀賞など2名が受賞した。さらに、探究を極めたい生徒が集まるプロフェッショナルゼミ（プロゼミ）では、大学等の研究者とつながって、より深く探究を進める生徒もいるという。

「探究学習を通じて自分のやりたいこと、好きなことを発見し、探究のテーマと関連する学部を選択して、総合型選抜などで難関大学に進学する生徒もいます」と上野先生。

探究という、体験と学びの積み重ねは、校訓の「行学二道」とまさに重なるものといえるだろう。

### School Data

〒166-0012  
東京都杉並区和田2-6-29  
☎03-3381-7227  
<https://www.kosei.ac.jp/boys/>

- 創立 1954年
- 交通 東京メトロ丸ノ内線「方南町」駅から徒歩約8分

**コアネットの目** 自分なりの好奇心から、自分なりの答えへ▶ 中学3年間の探究学習を通して、生徒は自然に探究心を身に付けていく。高校ではその関心をさらに深め、教員との対話を重ねながら自分なりの答えを導き出す。課題発見からまとめまで教員が伴走し、日々の気付きや葛藤を支える点も特長である。探究はよりよい社会への視点を育み、生徒の成長と未来への可能性を大きく広げている。

# 東京都市大学付属中学校・高等学校



from the School  
主幹 久保田 隆先生

何のために学ぶのか？この本質的な問いに向き合えるよう、本校が導いていきます。

## 「未来をつくる力」と「人間力」を磨く 新たな探究プログラムを構築



Homepage



「日本を知る」をテーマに中3で実施される、京都・奈良研修旅行。この国の成り立ちについて考える。



勉強同様、部活にも全力投球。中高合わせて、運動部17、文化部10の部活動がある。写真は少林寺拳法部と自動車部。  
ターム留学や海外研修などの海外体験プログラムも充実。写真はマレーシア異文化体験の一コマ。



生徒たちが主体的に動き、自分たちの手でつくり上げる「柏苑祭」。高2が中心に、企画、運営、演出を行う。入場ゲートは華やかに装飾され、屋外舞台での演目も多彩だ。

### 探究

### 首都圏

## 答えを「現場」で見いだす 「生徒企画型研修旅行」

「高い次元で国際社会に貢献できる人間力を育む」を教育目標とする東京都市大学付属中学校・高等学校は、高校での募集を行わない完全中高一貫の男子校である。

昨年・今春と2年連続で東京大学合格者12名(既卒者を含む)を出した都内有数の進学校でありながら、部活動も非常に盛ん。同校のスローガンを「勉強も部活も100対100」を地でいく校風だが、「単なる文武両道」ではない」と主幹教諭の久保田隆先生は強調する。

「人間力なき学力は社会で役に立たず、学力なき人間力では社会を動かさない。ゆえに『学力の育成』と『人間力の育成』の双方が高い次元で統合する教育を目指す、そんな本校の理念が込められています」

その理念が最も色濃く反映されているのが、2027年度3月の実施に向けて動き出した探究プログラム「生徒企画型研修旅行」である。高1の研修旅行の行き先を、国内3エリア(沖縄・瀬戸内・九州北部)に設定。そのなかから自分が参加したいエリアを選び、ゴールである研修旅行本番に向けて、中学3年次から1年以上をかけて準備に取り組む。

驚くのは、「生徒企画型」をうたった内容だ。旅のテーマ設定と課題はもちろん、行程の組み立て、交通手段や予算、旅のルールやしおりづくり、旅行者との協議、訪問先へ

のアポイントメントなど、旅のプランニングから本番の運営まで、すべてを生徒が自分たちで行うといった、実に画期的な試みなのだ。現地では、歴史・文化・産業・町づくり・自然・環境など、自分たちの関心事について、班単位のフィールドワークを行い、必ず平和学習(沖縄戦跡、広島、長崎)を組み込むことが課されている。

「今は何でもインターネットで検索しがちですが、それらにはあくまでも2次情報。実際に現地の人と会い、話を聞き、文化・風土を肌で感じる『生』の1次情報を体感すると、『答えはネットのなかではなく、現場にある!』という学びの本質を理解する好機となるはず」と久保田先生。同校では中1・中2の弁論大会、中3のミニフィールドワークやキャリアステディ、京都・奈良研修旅行など、段階的にプログラムを積み上げる。そのうえで生徒を信頼し、画期的な挑戦に踏み切った教員陣の心意気も同校の魅力。高い学習指導力を誇りつつ、「人間力」の育成にも

並々ならぬ情熱を燃やす学校だ。

### School Data

〒157-8560  
東京都世田谷区成城1-13-1  
☎03-3415-0104(代)  
<https://www.tcu-jsh.ed.jp/>

- 創立 1951年
- 交通 ● 小田急線「成城学園前」駅から徒歩約10分
- 東急田園都市線・大井町線「二子玉川」駅から徒歩約20分、「東京都市大学付属中高前」下車すぐ

### コアネットの目

海外帰国生との「化学反応」による成長も期待▶1学年に40名ほどの海外帰国生が在籍する点も特徴となっている同校。英語を流暢に話す友人に憧れて英語学習に励んだり、海外語学研修やターム留学(希望制)に挑戦したりする生徒も多いという。日常の学校生活のなかで自然と行われる異文化交流。この「化学反応」を通じて大きく成長できる環境が整っている。



from the School

広報部部长・数学科 奥田礼章先生

探究を通して一人ひとりの「好き」を見つけ、自分と見つめ合う6年間を過ごしてください。

# 神田女学園中学校高等学校

## 自分に合った学問領域を発見する 探究学習「ニコルプロジェクト」



Homepage



上/毎年3月、1年間の探究学習の成果を発表する「ニコルアワード」が開催される。「好き」をテーマに、スライドなどを使って発表する。

左/「ニコルアワード」に向けた校内発表の様子。巨大なスクリーンが設置され、視覚的なインパクトも考えながら堂々とプレゼンを行う。



中高生の探究学習の集大成を文化祭で展示発表する。展示には工夫が凝らされ、教室いっぱい広がっている。



右/「ニコルプロジェクト」のフィールドワークの一環で、JICAを訪問。体験型の展示を通して世界の課題を肌で感じる。

左/高校になると「ニコルプロジェクト」はさらに進化する。「フィールドワーク」の振り返りも、社会のつながりや課題解決、将来のキャリアを意識したものに。



英語に加え、韓国語などの第二外国語を学ぶことができる。語学学習にとどまらない、国際社会でしなやかに生きる力が身に付く。

### 探究

### 首都圏

## 高大教育連携は全国75校 学問のプロがサポート

中学から始まる多言語教育に代表される、独自のグローバル教育で知られる神田女学園中学校高等学校。同校がもう一つの教育の柱に据えているのが、「ニコルプロジェクト」。「ニコル」と呼ばれる探究学習である。「ニコル(NCL)」とは、自然(Nature)、文化(Culture)、生命(Life)の頭文字の略で、大学の自然科学、人文科学、社会科学に当たる学問領域を、高中教育に落とし込んだもの。この分野から自分の興味関心に基づいてテーマを定め、課題解決に取り組む探究学習です」と広報部部长の奥田礼章先生は説明する。

中学では、自分の「好き」を深掘りする。疑問をリサーチクエスチョンに落とし込み、探究スキルやプレゼンテーション能力を磨いていく。こうした訓練で身に付く「的確に問う力」は、生成AI時代の強い味方となるに違いない。中1から高2まで行う「フィールドワーク」は、探究力を育む絶好の機会だ。中学では、大学や企業、大使館など、各自のテーマ別に現場を探索。高校では、亀田医療大学(千葉県)で実施される2泊3日の看護体験など、キャリア教育も兼ねた、多彩な実地体験型プログラムが用意されている。

そして、個人テーマに取り組む高校生を支えているのが、全国75校と高大教育連携を結ぶ神田女学園のネットワークだ。

### School Data

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-3-6

☎03-6383-3751

<https://www.kandajogakuen.ed.jp/>

- 創立 1890年
- 交通
  - JR総武線・都営三田線「水道橋」駅から徒歩約5分
  - 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町」駅から徒歩約5分
  - JR中央線・東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅から徒歩約10分
  - 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅から徒歩約12分
  - 東京メトロ東西線「九段下」駅から徒歩約12分
  - 東京メトロ丸ノ内線・東京メトロ南北線「後樂園」駅から徒歩約12分

「昨年度は、エスカレーターのように乗りにくい、なせ危険な片側歩行が横行しているのか」に着目し、調べていくうちに、大学で心理学や統計学を研究する専門家とつながり、探究内容を多角的に発展させた生徒もいます。あらゆる学問領域のプロが生徒の探究活動をサポートして下さる点も本校の強みです」

高1はフィールドワークを踏まえて高2の論文作成へ。高2はフィールドワークを受けて論文を完成させる、といった流れだ。

こうした探究活動の成果は、大学受験の総合型選抜にも生かされている。なかには探究学習でお世話になった教授の下で、自分の探究を極めたいと、志望校を決める生徒も少なくない。自分の「好き」が未来を開く、「ニコルプロジェクト」の神髄もそこにある。

### コアネットの目

主体性を育む個別最適な学習と、面倒見のいい手厚い学習サポート▶今回紹介した「ニコルプロジェクト」の基盤となる基礎学力を養うため、同校は手厚い学習サポート体制を整えている。ICTを活用した個別学習や学習管理に加え、チューターの丁寧な指導、ネイティブ講師による検定・留学対策も充実しており、個別最適な効率の学びと面倒見のよさを兼ね備えた点が大きな魅力である。

# 昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校



from the School

升野伸子校長

「知りたい」「学びたい」という気持ちを育てる授業の工夫に、さらに磨きをかけていきます。

## 探究や英語の学習に生かされる教育リソースの豊富さが特色



Homepage



さまざまな異文化体験を通して、グローバルスキルを育てるグローバルコース。中2でアジアディスカバリー(バリ島研修)、中3で全員がボストン研修に参加して国際的な視野を広げていく。



スーパーサイエンスコースでは、基礎基本から、高度な専門性を深める授業も行われる。大学や企業との連携プログラムも豊富だ。



「つくる」ことにこだわる探究学習は、教科学習や行事、「本物体験」など学校生活全体で伸ばしていく。



左/キャンパス内にあるブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和の学生たちとの、理科実験やミニ交換留学などの交流プログラム、協働プロジェクトが充実。  
右/自分の意見を発信できる英語力を身に付けることを目標にしている。



水はけのよい人工芝のグラウンドが完備されている。

### 探究

### 首都圏

同校は、独自の教育プログラム「SHOWA NEXT」に則り、「本科」「グローバル」「スーパーサイエンス」の3コース制を敷く。その特色について升野校長は「教育のリソースが豊富なこと」を挙げる。  
「大学が近いので、地域や企業などに人脈を持つ大学教員が、中高の探究プログラムづくりを支援してくださることなどがその一例です」  
英語教育では、学年に1人のネイティブ教員を配置する充実ぶりに加え、そのネイティブ教員による他教

育成を担当してきた。今日的な授業の在り方を、学生と共に研究してきた方だ。  
中高一貫校の教師経験が長い升野新校長は、筑波大学附属中学校の副校長を務めた経歴も持つ。3年前より昭和女子大学の教授として、教員育成を担ってきた。今日的な授業の在り方を、学生と共に研究してきた方だ。  
「ブリティッシュ・スクールの生徒とは日常的に顔を合わせますし、課外活動などでの交流もあります。異文化感覚を肌で感じられるなど、互いにより影響を与え合っていると思います」と語るのは、今年度より校長に就任した升野伸子先生だ。  
この春、東京大学に合格した生徒がいる。彼女の受験準備を学年の教員全員が支援した。受験に限らず、こうした個々の生徒への配慮をきめ細かく行う学校でもある。

### 時代 に合った授業開発 新校長の就任で次の一歩

昭和女子大学のキャンパスにある昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校。同じ敷地内に米国テンプル大学の日本校、インターナショナルスクールのブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和もあり、国際色の豊かな環境に恵まれている。  
「例えば中1グローバルコースの美術で、自分が描く絵を英語で説明する授業があります。ネイティブ教員が、一人ひとりの英語表現の誤りを修正するのですが、その対応がとても細やかなのです。はじめてその授業を見たときは感銘しました」  
この春、東京大学に合格した生徒がいる。彼女の受験準備を学年の教員全員が支援した。受験に限らず、こうした個々の生徒への配慮をきめ細かく行う学校でもある。

#### School Data

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57  
☎03-3411-5115(中高部代表)  
<https://jhs.swu.ac.jp/>

- 創立 1920年
- 交通
  - 東急田園都市線「三軒茶屋」駅から徒歩約7分
  - 「渋谷」駅から下記方面行きバスを利用し、「昭和女子大」下車すぐ(上町・等々力・田園調布・弦巻営業所・二子玉川・高津営業所・成城学園・祖師谷大蔵・狛江・調布)
  - 「目黒」駅・「祐天寺」駅から三軒茶屋行きバスを利用し、「三軒茶屋」下車、徒歩約7分
  - 「下北沢」駅から駒沢陸橋行きバスを利用し、「三軒茶屋」下車、徒歩約7分

科の授業サポートには独特なものがあるという。  
「例えば中1グローバルコースの美術で、自分が描く絵を英語で説明する授業があります。ネイティブ教員が、一人ひとりの英語表現の誤りを修正するのですが、その対応がとても細やかなのです。はじめてその授業を見たときは感銘しました」  
この春、東京大学に合格した生徒がいる。彼女の受験準備を学年の教員全員が支援した。受験に限らず、こうした個々の生徒への配慮をきめ細かく行う学校でもある。  
同校の建学の精神「世の光となろう」を重んじ、「生徒が自身の好きなことを見つけること、そしてそれを伸ばしていく信念、志を育成していきたい。これからの時代に合った授業の在り方を考え、その開発にも努める」と升野校長。  
「SHOWA NEXT」を基軸とした次なる一歩が新たに始まる。

#### コアネットの目

「楽しい」「好き」が未来を開く力に。多様な進路への挑戦 ▶ かつての内部進学中心から一転し、現在は約8割が外部進学を選択している。付属大学への推薦入学の権利を保持したまま外部受験に挑める利点を生かし、生徒の「楽しい」「好き」を徹底して応援する環境を整えている。女子という枠組みにとらわれず、自分らしい進路を切り開こうとする生徒たちの挑戦を力強く支えている。



from the School

探究の時間担当 英語科 永塚康夫先生

探究は自身のアピールポイントを探し出し、その表現を考える経験のよい機会でもあります。

# 聖心女子学院 初等科・中等科・高等科

## 入念な種まきで事前準備 12年次に集中して探究を実施



Homepage



教室や講堂で開催される12年生(高3)の探究の発表会。テーマは多岐にわたり、見せ方にも工夫をしてスライドにまとめた内容を堂々と自分の言葉で伝える。



ニュージーランドの姉妹校が聖心を訪問。オーケストラのメンバーが演奏を披露した。



上/8年生(中2)の総合学習で行われる車いす体験の時間。障害のある人の気持ちになると同時に、介護する体験でもある。



右/11年生(高2)の探究講演で実施されたグループワーク。今話題になっている社会問題を1つ取り上げ、その原因と解決方法をグループ内で話し合い、発表した。



毎年、12年生(高3)がさまざまなアクティビティを企画して、1年生(小1)に英語の授業を行う。1年生はやや緊張しながらも楽しんで英語に親しんでいる。

### 生徒の自主性を重んじ サポート役に徹する教員

聖心女子学院 初等科・中等科・高等科は1908(明治41)年創立のカトリックミッションスクールの伝統校。女性の発達段階を考慮した4・4・4制の教育体制を採る小中高一貫校である。1年〜4年をファーストステージ、5年(小5)〜8年(中2)をセカンドステージ、9年(中3)〜12年(高3)をサードステージとし、中学入試は行っていない。5年次に転入・編入入試、7年次(中1)に帰国生入試が実施される。

宗教観を根幹とし、社会に貢献する女性の育成を目指す同校。海外校との幅広い国際交流を特色とする一方、4・4・4制に象徴される教育の独自性は探究学習にも見られる。

「高校の『総合的な探究の時間』は、高1か高2で実施する学校が多いようですが、本校では12年次(高3)に実施しています」と探究学習を担当する永塚康夫先生。12年次に集中する理由には「探究学習には事前の種まきが大切」だからと言う。

種まきの始まりは初等科から。初等科・中等科では体験講座や福祉活動などの機会があり、初等科ではグループ研究を経て、卒業研究にも取り組む。そして、10年生(高1)の夏、「聖心女子大学の教授が、探究とは何かをテーマにオリエンテーションを行い、教科の授業と探究学習の違いを学びます」と永塚先生は説明する。そこからさらに12年次までに、さ

さまざまな講演会や体験学習を経験する。講演会には、社会の第一線で活躍する人を講師に招く。

「例えば、卒業生で脳科学を研究する東北大学の准教授や、アフリカの貧困国の支援をするNPO法人の代表など。特になぜその道に進んだのかに重点を置く講演にしています」

11年次には、12年生の探究発表を聞く機会もある。そうして探究の意義や要領を体験的に学ぶのだ。最後の12年次の探究は、社会と向き合うそうした経験の積み重ねも土台として、探究の発表会では3名が学級賞に選ばれるが、賞に至らずとも自ら行動を起こす生徒もいる。

「中等科での学習がきっかけでサンゴ礁の白化現象に取り組んだ生徒は、校外でサンゴ保全プロジェクトチームを立ち上げました」と永塚先生。

同校の探究では、教師が生徒に指示をすることは一切なく、サポート役に徹する。自ら選んだテーマの探究は、生徒の将来の行動する力、表現する力を培う。そして、社会における自身の役割や価値を見いだすスキルにもなるのだ。

#### School Data

〒108-0072  
東京都港区白金4-11-1  
☎03-3444-7671  
https://www.tky-sacred-heart.ed.jp/

- 創立 1908年
- 交通 ● 東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅から徒歩10分
- JR「渋谷」駅、「恵比寿」駅から都営バス田町駅行きで、「北里研究所前」下車、徒歩3分

**コアネットの目** 講演会を通して向き合う自身のライフデザイン▶聖心女子学院では各界で活躍する講師を招き、年齢に応じた講演会を年に3回行っている。その際に大切にしているのは、そうした大人たちが今の生き方に至った「きっかけ」や「葛藤」、「プロセス」を知ってもらうことだ。聖心女子学院には、そうした自分らしさを模索し、追求する機会があふれている。

# 日本女子大学附属中学校・高等学校



from the School

広報部主任 森田 真先生

内進生の約4割が理系の学部学科に進みます。科学への関心が強い生徒が育っています。

## 「西生田の森」を活用する 体験・探究型の学びが伝統



Homepage



上・左上/入学した生徒たちが、美術の時間に「西生田の森」で取り組む「わたしの木」。豊かな自然の中で感性が育まれる。  
左/多摩丘陵の環境を生かした、生物天文部の活動が盛んだ。



興味のあるテーマを選び、「年間研究」を行う。探究的な学びの集大成として3年生の3学期にその成果をフロアに展示。



親睦オリエンテーリングでは、「西生田の森」でクイズラリーなどをして親睦を深める。「本物に触れる」ことを意識した活動だ。

中学の音楽の授業では、3年間バイオリンが必修になっている。音楽で表現する喜びの心を育む。



### 五感を通じた学びで 知力と心の豊かさを育む

多摩丘陵に校舎を置く日本女子大学附属中学校・高等学校は「森の中の学校」とも言われる。緑豊かなキャンパスの広さは東京ドーム6個分、28ヘクタールに及ぶ。

かつては里山であった「西生田の森」は、今は生徒たちの野外教室。本物に触れる体験を大切にしている同校は「理科に限らず、さまざまな授業や行事にこの森を活用している」と広報部主任の森田真先生は言う。「例えば、親睦オリエンテーリング。新人生がグループに分かれ、クイズラリーを楽しんで仲を深めるこの行事に、森が使われます」

中1の美術の時間には「わたしの木」という作品がある。「お気に入りの木を1本決めて、それを版画にします。スケッチから完成までおよそ半年をかけて、描法や木の幹・木の葉の微妙な色彩表現を、体験を通して学びます」

理科では、採取した草花をそのままノートに貼る。ノート1冊がオリジナルの教科書になる。そうした体験学習を「感情を伴う五感を通じた学び」と同校は位置付けている。

創造と観察は感受性と洞察力を育む。そして感受性の豊かさは、対人関係の円滑化や幸福度と深く関わると言われる。それらの体験と学びが3年次の「年間研究」に成果となって表れる。個々に好きなテーマを選び、1年間をかけてレポートにまと

める探究学習である。

「樹木の種子のさまざまな散布(移動)方法を調べ上げた生徒もいれば、コケや粘菌の研究をした生徒もいます」と森田先生。ほかにも企業ロゴやAIと医療、B級グルメと町おこしといった多彩なテーマがある。同校ではこの年間研究が、探究という言葉が一般化する以前から、すでに数十年も続けられている

「本校は、日本女子大学への内進生が7〜8割を占めます。高校で理系と文系のクラス分けもなければ、受験教科に偏った教育もしません。むしろ、付属校のよさを生かして、探究学習にもじっくりと時間をかけて取り組めるようにしています」

伸びやかな学習環境と校風が魅力の同校。直近の話題として中高一貫体制の強化が挙げられる。中高の運営の一体化をさらに進め、6年間を通じた教育プログラムの充実・強化を図っていく。今まで通り、自然と日常的に触れ合うことにより、心の豊かさを育む教育姿勢が変わることはない。

#### School Data

〒214-8565  
神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1  
☎044-952-6705  
https://www.jwu.ac.jp/jhsc/

- 創立 1901年
- 交通 ● 小田急線「読売ランド前」駅から徒歩約10分
- 京王線「京王稲田堤」駅から小田急バスで「女子大前」下車
- 京王線「京王よみうりランド」駅から小田急バスで「女子大前」下車

#### コアネットの目

大学の力を生かす、新たな中高一貫教育 ▶ 2027年度から附属中学校・高等学校の教育体制を一体化・発展させる同校。中高6年間の一貫した教育だけでなく、多様な学部を持つ大学のリソースを最大限に活用した学びが期待される。安定した環境と時間が確保されることによって、生徒自身が理想を見つけ、その実現に必要な力を身に付けられるだろう。



from the School  
鈴木俊典教頭

6年間の数多くの出会いを通して世界を広げ、“なりたい自分”を見つけてください。

# 横浜女学院中学校高等学校

## 多様な人と世界との出会いを 主体的な学びと挑戦につなげる



Homepage



上/「土曜チャレンジ」で映像クリエイターの世界を体験。月に1回、毎月30以上の講座が用意される。  
右/理科教諭の今井智章先生。「『土曜チャレンジ』で日頃の学習が社会にどうつながるのかを感じてほしい」と語る。



上/高1・高2の希望者が対象のスタディツアー。学校から出て視野を広げ、発見や気づきをもたらす体験をする。東北大学では次世代放射線施設ナノテラスを見学。右/鳴子(宮城県)で森林保全について学び伐採を体験。



上/トリマー体験は人気講座のひとつ。講師は卒業生のほか保護者、大学の先生などが務める。  
左/パティシエールとして活躍する卒業生に洋菓子作りを学ぶ。経済学や情報数理学など普段の授業とは異なる分野も。



対馬(長崎県)のスタディツアーでは、漂着ごみを2時間かけて拾った。対馬では耕作放棄地、絶滅危惧種ツシマヤマメコについても学ぶ。

### 「土曜チャレンジ」で養う 広い視野と自ら学ぶ力

横浜・山手の閑静な環境の中にある横浜女学院中学校高等学校。キリスト教精神に基づいて、グローバルな視野を持ち、社会に貢献できる女性の育成を目指す伝統校だ。  
昨年新たに始まった探究的なプログラムが「土曜チャレンジ」。中1から高2を対象に、月に1回、多様なテーマの中から生徒自身が自由に選ぶ講座だ。「日頃の教科学習が、世の中とどうつながっているのか実感できる機会になれば」と鈴木俊典教頭は語る。  
テーマは1回につき30を超え、バラエティー豊か。講師を務めるのは、大学の教員をはじめ各界の専門家だ。協力先は多岐にわたり、卒業生や保護者も。大学院でデータサイエンスの研究をする卒業生が「AIと法律の関係性」を講義したり、雑貨を扱う会社を経営する卒業生が、生徒と一緒に「商品開発とブランディング」を行ったり。「社会インフラの裏側を知ろう」と校外に出て、駅のバックヤードを見学させてもらったこともある。生徒が学年の枠を超えて一緒に受講することもいい刺激になっているという。  
「心がけているのは、できるだけ多様なテーマを数多く用意すること。これを学んでおけばいい、という時代ではない。新しいことを自ら学んでいく力が問われます。食わず嫌いにならずさまざまなジャンルに挑戦

してほしいのです」とりわけ、偶然の出会いが大事だと鈴木教頭。「ネット動画やSNSなど、誰もが自分の興味がある情報の中に埋もれてしまいがち。だからこそ、想像を超えた出会いが必要だと思います。学びの場ではたくさんの偶然に出会わせてあげたい。それが、なりたいたい自分」を考えるきっかけになれば」

**School Data**  
〒231-8661  
神奈川県横浜市中区山手町203  
☎045-641-3284  
https://www.yjg.y-gakuin.ed.jp/  
●創立 1886年  
●交通 ●JR京浜東北根岸線「石川町」駅から徒歩約7分  
●横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町」駅から徒歩約18分  
●みなとみらい線「元町・中華街」駅から徒歩約20分

さらに、教科学習へのモチベーションも高まっているという。「社会課題を解決するためには、やはり知識が土台にならないといけないことを生徒たちもわかっています」  
生徒たちの学びを後押しすべく放課後自習室を設け、卒業生の大学生チューターが質問に応じるなどの手厚いサポート体制も魅力だ。たくさんのお会いを力にして自ら考え行動し、挑戦する力を育む横浜女学院に期待はますます高まっている。

**コアネットの目** 英語に強い横浜女学院、新設サイエンスコースに期待 ▶ 創立以来、改革を重ねてきた横浜女学院。アカデミー、国際教養に加え、2027年よりサイエンスコース(仮称)を新設し、3コース体制へと進化する。一人ひとりの「好き」を見つけ将来へつなげる学びの下、放課後自習室や講習など学習支援が充実。基礎から着実に力を伸ばし、生徒が自ら学びたくなる環境が整う。



# 吉祥寺湧水中学校・高等学校

from the School

菊池健太郎校長

私も一人の親です。自分の子供を通わせたい学校を、本気でつくっています。

「who I am」から始まる6年間  
学校そのものが、探究になる



Homepage



どこに行くかではない。  
どう生きるかだ。

本校が大切にしている言葉。進路や偏差値の前に、どう生きたいかを育てる。



新校舎の屋上も、他者と協働して学ぶ場として設計されている。



英国「Tom Dixon」の照明を設置。若いうちから本物に触れてほしいという思いから。



発信の空間「FINDER STADIUM」。色は「イエロー」。最大60名が集う。



2029年完成予定の新校舎。校舎の概念にとらわれない校舎が吉祥寺に誕生する。



学びの広場「FINDER PARK」。休息の「グリーン」が自由な発想を促す。

偏差値では測れない  
豊かに生き抜く力を育む

藤村女子中学・高等学校は、2027年度より共学化・改称して生まれ変わり、吉祥寺湧水中学校・高等学校となる。新たな教育の軸は、「who I am」。自分が何者なのかを知り、それを自分の言葉で語れる力を、6年間かけて育成する。

「偏差値や出身大学で評価される時代は終わりました。これから問われるのは、自分は何が好きで、何が苦手、それでもどう生きていきたいのかを語れること。そして、それを実現するための熱意があるかです」と菊池健太郎校長。昨年度より校長に就任し、大胆な学校改革を進めてきた方だ。

その力を養うために、全教科でディスカッションやプロジェクト型学習を取り入れた、探究型授業を展開する。教員は教壇の前に立つて教えるのではなく、生徒の問いを引き出すファシリテーターに徹する。

「教員が答えを与えるのではなく、生徒自身が問いを深めていく。そのプロセスにこそ、学びの本質があります」と菊池校長。また、「英語」「デジタル」「アート」は教科ではなく、社会とつながる共通言語として、日々使いこなしながら身に付けていくという。

これらの思想を空間にしたのが仮校舎「FINDER BASE」。従来の教室とは異なり、教壇も決められた席もない。「STADIUM」

「STUDIO」「PARK」と名付けられた空間は、問いと対話と表現のために設計されている。アトスクルールのアトリエのように互いの学びの過程が目に入り、生徒は自然に刺激し合うことができる。

一方で基礎学力もおろそかにしない。独自のAI個別最適学習「MIRRAIS」が、一人ひとりの理解度に合わせて日々の学びを支える。

「全体で問いを深め、個別で基礎学力を固める。この両輪があつてこそ、探究は確かな土台の上に立つのです」。さらに、評価の仕組みもつくり変えるという。AIを活用した独自レポートカードで、生徒一人ひとりの学習の過程と特性を可視化し、次に必要な学びを「成長の処方箋」として示す。「教員は生徒一人ひとりと本気で向き合い、偏差値ではないその子のための物差しを本気でつくる」と言う。

問いが連鎖していく学びの場は、27年、29年に順次完成する新校舎にも引き継がれる。「どこに行くかではない。どう生きるかだ」――菊池校長の言葉に、この学校のすべてが込められている。

## School Data

〒180-0004  
東京都武蔵野市  
吉祥寺本町2-16-3  
☎0422-22-1266  
https://  
kichijoji-yusui.ac.jp/

- 創立 1932年
- 交通 JR総武線・中央線・京王井の頭線「吉祥寺」駅から徒歩約7分

## コアネットの目

多様な才能を引き出す学びの環境と新しい入試に注目! ▶対話を重ね、自ら考え、挑戦する力を育む学びを大切に吉祥寺湧水。2027年入試は大きく変更予定で、2科・4科入試に加え、創造性を評価する表現創造入試を導入するなど、多様な個性に応える姿勢が際立つ。自由な発想を促すアートやテクノロジーを取り入れた校舎には、足を運んでこそ実感できる工夫が随所に見られ、今後への期待が高まる。



from the School

神杉旨宣校長

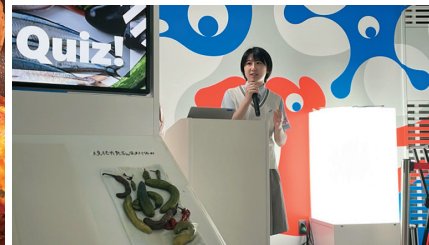
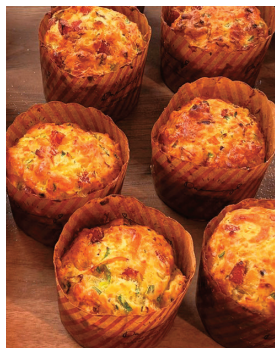
海外留学やより深い探究活動を  
経験した生徒は、次に向かおう  
とするパワーが強くなります。

# 城西大学附属城西中学・高等学校

## 「BEYOND」と「αゼミ」 探究で社会と世界を見る目を鍛える



Homepage



「食品ロス」をテーマに着目したのは野菜の過剰除去のために出るくず野菜。このくず野菜で作ったマフィン、校内で販売した。さらに2025年大阪・関西万博の招きで、ポスターセッション&プレゼンテーションを行った。

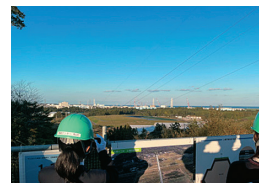


上・左/中3全員が参加する「オーストラリア海外研修」。中1からさまざまな探究活動を続けた集大成だ。異文化交流を体験する。



右/高1全員が参加する探究活動「BEYOND」。多様なテーマから選択し、専門家の指導の下に探究を進め、成果を発表する。

「αゼミ」で福島第一原発事故による放射性廃棄物の処理問題に取り組んだ高2女子のグループ。現地を訪ねて、探究を深める。



探究

首都圏

### 社会課題と自身を見つめる 国際交流と探究の両輪

1982年に米国の高校と提携し、交換留学制度を発足させて以来、積極的に海外校と姉妹校・提携校関係を結んできた城西大学附属城西中学・高等学校。今年2月にもイタリアの私立校が加わり、姉妹校・提携校は世界8カ国16校を数えるまでになっている。

「毎年、留学生の受け入れもしていますが、新たに受け入れを希望する海外校もあり、本校の国際交流の輪は、さらに加速的に広がっています」と神杉旨宣校長は言う。

ホームステイをしながら現地校に通う中3の「オーストラリア海外研修」は全員参加。ほかに短期・中期・長期の留学制度や、アメリカの高校卒業資格も取得できる「U・S・デュアル・ディプロマ・プログラム」も整えられている。

「近年は、海外大学への進学を前提とした入学者もおり、今後はその傾向も強まると見えています」

国際交流を基盤とするグローバル教育を最大の特色とする同校だが、それと両輪を成すかたちで探究学習の拡充も図っている。先の中3海外研修も、中1からさまざまな探究活動を重ねた集大成として位置付けられている。

それらを受けて高1では、これも全員参加型の「BEYOND(ビヨンド)」という探究学習が実施される。12のテーマから生徒が選び、各分野

の専門家の指導の下、実践的に学びを深めていくプログラムだ。

さらには、高校生の希望者を対象としたキャリア教育特別講座「αゼミ」もある。生徒が自由にテーマを設定し、社会課題の解決策を考案していく調査研究活動である。

「今年度、福島第一原発事故による放射性廃棄物の処理問題をテーマにした女子のグループがありました。事故当時は2歳だった彼女たちが、これを見越さないと取り組んだのです。数回現地を訪ね、聞き取りや対話を重ねていました」

ほかにも「食品ロス」をテーマとした一昨年度の女子グループは、学食で出る野菜の切れ端を使ったマフィンを開発した。これが立教大学と共同研究につながり、2025年大阪・関西万博で成果を発表する機会を得た。

「探究学習は、実社会と自身のつながりを生徒が体験的に意識し、また見ぬ自分に出会う機会です。その後の進路、大学選びにもよい影響を与えるものだと思います」と神杉校長。国際交流とともに、プログラムをさらに充実させていくという。

#### School Data

〒171-0044  
東京都豊島区千早1-10-26  
☎03-3973-6331  
https://josaigakuen.ac.jp/

- 創立 1918年
- 交通 ● 西武池袋線「椎名町」駅から徒歩約7分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線「要町」駅から徒歩約6分

**コアネットの目** 探究を深化させる高校生希望者対象の「αゼミ」▶自ら問いを立て、分野横断的に学びを深めることを軸に、生徒の思考力と表現力を高める「αゼミ」は、毎年多くの参加希望者が集まる。少人数での対話や発表を重ねることで、主体的に学び続ける姿勢を育成する。教員の伴走の下、探究の質を高めていく環境は、生徒の成長を大きく後押ししている。

# 成蹊中学・高等学校



from the School

仙田直人校長

本物に触れて個性を伸ばし、ゼロから創造する、「0 to 1」の発想力を伸ばしましょう。

## 21世紀を生き抜くために必要な「0 to 1」マインドを育てる



Homepage



左/「スタートアップキャンプ in バンコク」で。街の人たちに直接話を聞いてフィールドワークを行った。  
上/スタートアップキャンプでバンコクの高校を訪問。日本語、タイ語、英語が飛び交う意見交換。



高2で行く学習旅行(修学旅行)プランの最終プレゼン大会。各クラスの代表班が自分たちのプランをアピール。実際に実施されるコースも。



上/毎年多くの留学生を受け入れている。留学生との交流は日常生活の一部。  
右/中3の生物でサメを解剖。本物に触れることを大切にしている。



研究部長として、探究学習の取り組みに力を注ぐ小山雄三先生。

地元吉祥寺のハーモニカ横丁誕生80年記念のデザインマンホールに、中2生が制作したオリジナルキャラクターが採用された。



## 非認知能力を引き出す独自の探究プログラム

「知育偏重ではなく、人格、学問、心身のバランスの取れた人間教育を実践したい」という、創立者中村春二の理念の下、建学の精神「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を掲げ、1912(明治45)年に創立した成蹊学園。本物に触れる教育、国際理解と探究を柱としたリベラルアーツ教育を実践してきた伝統校だ。「キーワードは、『0 to 1』ゼロトゥワン」。ゼロから新たなものを創造する発想力は、AIにはない人間だけのものであり、正解のない21世紀社会を生き抜くカギとなります。本校では、生徒の「なぜ?」を大切に、疑問を解決に導く、偏差値では測れない非認知能力を開花させるための探究プログラムを、いくつも用意しています」と仙田直人校長は語る。

用意された仕掛けの一つは、中1〜高2の全員参加型探究学習だ。企業連携、地域探究、キャリア探究、学習旅行、人の一生と家族・家庭など生徒の成長に合わせたテーマ設定で、自ら問いを立て課題解決に取り組む。探究スキルを磨いたうえで挑戦する希望者参加型探究学習(中3〜高2)も多彩な内容だ。なかでも新しいビジネスモデルを創出するスタートアップキャンプは特筆に値する。2022年度から3年間取り組んできた五島列島の課題解決に続き、昨年度はタイを舞台に6日間の「スタートアップキャンプ in バンコク」

を実施。課題論文で選出された生徒たちが、六つの社会課題(交通・物流・観光・食料・福祉・教育)について現地フィールドワークを行い、最終日にはタイ日本人会などを招いて、自分たちが考えたビジネスプランを提案した。研究部長の小山雄三先生は成果についてこう話す。

「タイ語の勉強も含めて事前学習を行い、現地では生徒自らアポ取りをして、学校や行政機関、在タイ日本企業などを訪問しました。自分たちの想定と現地の人々の感覚とにギャップがあり、方向転換を余儀なくされた班もありましたが、失敗に伴う立て直しも探究の醍醐味。バンコク滞在中、生徒たちの著しい成長ぶりを目の当たりにして大きな手応えを感じました。今後も内容をブラッシュアップして継続していく方針です」

時代が求める「0 to 1」マインドの獲得に向け、オリジナリテイあふれる探究教育で、子供たちを導いてくれる頼もしい学校である。

### School Data

〒180-8633  
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-10-13  
☎0422-37-3818  
https://www.seikei.ac.jp/jsh/

- 創立 1912年
- 交通
  - JR中央線・総武線、東京メトロ東西線、京王井の頭線「吉祥寺」駅北口から関東バス「成蹊学園前」下車、徒歩約8分。
  - 「三鷹」駅北口から関東バス「緑町住宅」下車、徒歩約10分
  - 西武新宿線「西武柳沢」駅から関東バス「成蹊学園前」下車、徒歩約8分

### コアネットの目

本物に触れ、唯一無二の経験を獲得できる▶約15万冊もの蔵書を誇る図書館、天文ドームを有した理科館などの充実した施設と緑豊かで広大なキャンパスの中で、本物に触れることを重視したさまざまな学びが行われている。特に企業・大学、そして卒業生との連携による独自の学びは、他校とは一線を画す経験を得られるものであり、唯一無二の経験と学びを求めている受験生にぜひ同校をお勧めしたい。



from the School  
奥田修司 中部部教頭

「できっこない」から「やればできる」へ。ポジティブに挑戦する生徒に育てます。

# 東京農業大学第一高等学校中等部

## 「知耕実学」を軸に夢を創造し 実現する6年間の骨太な教育



Homepage



自由な発想を刺激し、コラボレーションの場となっているラウンジ(写真上)。2026年秋には、図書館や理科実験室、ホールなどが完成予定(写真下)。新校舎「知耕実学棟」の完成で生徒間の学び合いが深まる。



自由参加型の「一高一中ゼミ」。指導教員の得意を生かしたものの以外に、生徒が立ち上げた講座もある。生徒たちの興味関心が広がる場だ。



中1の10月に行われる「北海道自然体験研修」。大自然に身を置いて、新巻鮭作りや知床自然遺産の観察を行う。



中1で体験する稲作。東京農大の関連施設で、田植えや除草、稲刈りを体験。



中1の稲作は、中2の「お米の科学」へとつながる。東京農大の教授の指導の下、大学の研究施設を使用。おいしさを科学的に検証する。

探究

首都圏

稲作から最先端科学まで  
本物に触れ、知を耕す学び

独自の教育理念「知耕実学」(本物に触れる実学を通して知を耕すの意)の下、東京農業大学第一高等学校中等部では、特色ある体験や学びを展開している。

例えば、中学では、稲作や「お米の科学」、味噌造りを体験。高1では、発酵の仕組みを学ぶ「醤油を科学する」や「メダカの性別を調べるDNA鑑定」などに取り組み。いずれの授業も、隣接する東京農業大学の教授陣による講義を受け、大学の研究室の設備や最先端機器を利用する。中高大連携の学びが伝統として根付いている学校なのだ。

「田植えでは、カエルが田んぼから飛び出したり、DNA抽出にチャレンジするPCR実験では、ピチピチ跳ねるメダカを手づかみしたり、生徒たちは大騒ぎです。そうした「本物」に触れる体験が、もともと知りたいと知的好奇心を刺激し、学びをより深めようと思う学術的素養につながっていく。それが「知耕実学」なのです」と中部部教頭の奥田修司先生は言う。

完全中高一貫校になったことで、中1から高1の4年間、じっくりとテーマに向き合うことができ、「課題研究発表」の質も向上している。「文理を問わず、研究テーマは幅広い学問領域にわたりますが、生徒自ら各大学の研究室にアポイントを取り、専門的知見や助言をもらいに訪

れます。主体的な姿勢が定着してきたことがうれいすね」

課外活動でも大きな成果が表れている。一つは、東京農大併設6校による「科学研究発表会」。昨年度は、卵の殻を再生医療に活用できないかと、同校の中3女子が取り組んだ「卵殻の骨代謝促進効果」と、高2男子の「ダンゴムシの糞における肥料としての有用性」が、高い評価を受けた。

10年来続いている放課後の「一高一中ゼミ」も見逃せない。教員たちが自分の得意分野で開講し、学年や教科の枠にとらわれず、自由にいくつも受講できるのが特徴だ。その数年間100講座以上。ゼミでの学びが進路選択に影響を与えるきっかけとなるケースも少なくない。

今秋には、新校舎がいよいよ完成する。「知耕実学」を具現化できる空間の誕生によって、新たなフェーズを迎え、どのような進化を遂げるのか楽しみである。

### School Data

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-33-1

☎03-3425-4481(代)

https://www.nodai-1-h.ed.jp/

●創立 2005年

●交通

- 小田急線「経堂」駅から徒歩約15分
- 東急世田谷線「上町」駅から徒歩約15分
- 東急田園都市線「桜新町」駅から徒歩約20分
- 東急田園都市線「用賀」駅、JR「渋谷」駅から東急バスか小田急バスで、「農大前」または「農大1-高前」下車、徒歩約3分

### コアネットの目

過去最多出願で注目、農大一中の進化に期待 ▶ 2026年入試で過去最多の出願者数を集めるなど、人気が高まる農大一中。昨年より2月1日午前入試を導入し、第一志望者が増加。入学後に成績が伸びる生徒が多いこともあり、27年はその定員を拡大する。都立小石川、日比谷高校で校長を務めた梅原章司先生が、今春より新校長に就任。進学校としてのこれからの期待が高まる。

# 武南中学校・高等学校



from the School

社会科 高野怜音先生

本物に触れる体験の数々を通して、学びの“本質”に迫ることができる学校です。

## 「B-STEM」や「教科×探究」など 先進的教育を次々と展開



Homepage



アジアの発展途上国を訪問する、中2のアジア研修。異文化体験により国際感覚を養い、日本とアジア諸国のつながりについても学ぶ。体験を通して、自分の世界がぐっと広がる。



上/世界遺産のアンコール遺跡群を見学し、遺跡修復作業の体験をした。  
右/本物に触れることがテーマになっているフィールドワーク。中1の社会科のフィールドワークは鎌倉散策。



右/英語で即興劇を演じるパフォーマンステスト。ALTの先生に英語で教えてもらい、自己表現へ繋げる。

左/英語科の福田恵理奈先生。



理科のフィールドワーク。埼玉県長瀬で、グループごとに地質や生物について調査する。



高1で実施されるアメリカ研修では、ホームステイを体験し、地元高校の授業体験やハーバード大学とMITのワークショップに参加する。

### 探究

※Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字を取った分野横断型教育。武南中では、埼玉大学のSTEM教育研究センターと共同研究し、独自に再構築したSTEM教育を実践している。

「国際社会で活躍する高い知性と探究心、豊かな教養を身に付けた人材の育成」を教育目標に掲げ、2012年に併設型の中高一貫校として開校した武南中学校・高等学校。激変する時代を生き抜く力を育むために、独自のプログラム「B-STEM」を推進するなど、先進的な教育に次々と取り組んでいる。新たに注目されるのが、「教科×探究」スタイルに刷新された教科学習だ。どのような内容か？社会科のケースを高野怜音先生に聞いた。

「目指しているのは、なぜこの単元を学ぶのか、この学びは人生になぜ必要なかといった、『本質』に迫る授業です。例えば、中3公民の単元『民主主義』では、民主主義の意義を学ぶことから始めます。民主主義を実現するための手段として選挙がある。将来、君たちが手にする選挙権はそういう尊いものなんだよ、と。各単元で学びの『本質』に踏み込んだ授業内容を心掛けています」

他教科でも同様の授業を展開中だ。公立中学の1・5倍の時間を誇る英語では、ALT(ネイティブの外国語指導助手)2名と日本人教員1名の3名体制による授業を週2回実施。「通じる英語」から「自己表現できる英語」へと目標を引き上げた。スピーキングテストに加えて実施される、パフォーマンステストはその好例だ。英語科の福田恵理奈先生はこ

### 探究の観点も盛り込んだ 「本質」に迫る教科学習

「従来の文法重視の授業とは真逆のスタイルです。パフォーマンステストでは、学年別テーマに従って、2年生では英語の即興劇を披露します。どんな単語を並べても可、アレンジもあり。『えーと』と詰まることなく、みんな身ぶり手ぶりを交えて感情を英語表現します。トライ&エラーの連続ですが、ALTとの会話を通して、適切な文法表現を『生きた英語』に落とし込んでいけるようになります」

う説明する。

授業では体験できない多彩なフィールドワークも同校の特色だ。例えば、古典芸能やオペラを鑑賞する「芸術FW」や企業を訪問する「社会科FW」など、教科と連動させながら、事前・事後学習も行う。さらにアジアの発展途上国を訪問する、中2のアジア研修はそのハイライト。SDGsなど世界の社会課題から国際理解まで、どの教科にも通底する「なぜ? どうして?」の問いを、生徒自ら発見する好機とする。

こうした中学3年間の取り組みは、より高次元の学びが待つ高校に向けての大きな土台となるだろう。

#### School Data

〒335-0002  
埼玉県蕨市塚越5-10-21  
☎048-441-6948  
<https://www.bunan.ed.jp/j-highschool/index.html>  
●創立 1963年  
●交通 JR京浜東北線「西川口」駅から徒歩約10分

### コアネットの目

開放的な学びや育む教科横断による本質的な学び ▶ 身近な課題や社会の課題を解決するための教科横断型の学びを展開する同校。教科間の壁を感じさせないことで、より本質的な学びへとつながっている。また、廊下や壁がない教室をはじめ、開放的な校舎も特徴的だ。職員室も同様にオープンになっており、生徒と教員の距離が近く、円滑なコミュニケーションが行われている。



from the School

カリキュラムセンター長  
入試対策部長 渡辺大輝先生

本校の中高一貫生は自己表現が大好き。GLPは、それが存分に発揮される場でもあります。



北米を舞台に、半世紀以上の歴史を誇る北米研修。全生徒がホームステイを経験し、現地の人々と深い交流を通じて異文化理解を深める。



北米研修で交流のあった高校生を迎えて、山手生の家庭でホームステイを行う。クラブ活動に参加したり、浅草や鎌倉散策を楽しんだりする。

# 山手学院中学校・高等学校

## 生徒の創造性を刺激するGLP 考えるプロセス重視の探究学習



Homepage



台湾で実施される海外GLPツアーは、異文化理解を主眼としたプログラムだ。現地で学ぶ留学生と共にフィールドワークなどに挑む。



大分県を舞台にした国内GLPツアーのテーマは、「次代を拓く人材キャンプ」。立命館アジア太平洋大学を拠点に、実践的な学びを通して起業家精神を育む。



人気の海外GLPツアー、「シンガポールイマージョンプログラム」の参加者。課題解決型アクティビティやディスカッションに取り組んだ。



リターンビジットで来日中の学生が参加する「リターンビジット学生会議」。社会課題をテーマに英語でディスカッションを行うプログラムだ。

### 力を発揮できる分野で 自己と向き合うGLP講座

2026年の今年、創立60周年を迎える山手学院中学校・高等学校。建学の精神に「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を掲げ、一貫して国際交流を教育の中軸に据えている。

「創立間もなく取り入れた海外研修が、北米ホームステイ、リターンビジットとして現在に受け継がれています」とカリキュラムセンター長の渡辺大輝先生は言う。リターンビジットは、訪問先の生徒を同校に受け入れる交換留学制度である。

中3のオーストラリアホームステイ、高2の北米ホームステイは共に全員参加。ほかに希望者対象の中期留学プログラムなどもある。

そして近年、それら国際交流教育と併せ、同校が力を注いでいるのが「Global Leader Program (GLP)」と呼ぶ探究学習だ。

「GLPは中2から高2の前期(1学期)と後期(2学期)に分けて開講する希望者対象の探究講座。教科授業の枠にとどまらない多彩な内容を扱えるように課外授業としています」

AI活用やウェブデザイン、ゲームづくりで学ぶプログラミングなど、最新技術に触れるものがある一方、「美しいとは何か」「本当の自由とは？」といった抽象的な概念を突き詰めて話し合う哲学対話まで、さまざまなテーマの講座がある。

「自分の好きなものや、自分が力を発揮できる分野を見いだす場であり、将来を考える機会でもあります。講師は専門性の高い外部の方が多く、その意味ではキャリア教育も兼ねた講座にもなっています」

この探究講座、昨年度は1テーマに5時間をかけた。3Dプリンターを使う講座では、中2のグループが勉強机に継ぎ足せるサイドデスクを作った。折り曲げると本立てにもなる。農業のICT活用を学び、レモンを使って商品開発をする講座では、男子生徒のグループがレモンで香水を作った。女子生徒にはオリジナル雑誌制作の講座が人気だった。

「今年度が開講から7年目。講座のテーマと内容は、毎年ブラッシュアップしています。1テーマにかける時間も、昨年度は5時間でしたが、今年度からは6〜7時間にしました」

時間を惜しまず、個々の体験や考察がじっくりと深められるように組み立てられたGLPの探究。その成果は、柔らかな発想による生徒たちの創作物にも表れている。

#### School Data

〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460  
☎045-891-2111  
<https://www.yamate-gakuin.ac.jp/>

- 創立 1966年
- 交通 ● JR京浜東北根岸線「港南台」駅から徒歩約12分
- 横浜市営バス45、111系統ほか「横浜女子短期大学前」下車、徒歩約4分
- 神奈川中央交通バス大船～金沢八景線ほか「山手学院入口」下車すぐ

#### コアネットの目

教育改革と入試改革で進化を加速、山手学院のこれからに注目 ▶ 創立60周年を迎える山手学院では、生徒主体の記念委員会がAIを活用したマスコットキャラクター制作に挑戦。AIを創造のツールとし、新たな発想を形にする力が着実に根付く。2026年中学入試では神奈川県最多の出願者数を集める人気校に。2027年は2月1日午後の特待選抜入試の特待枠が増え、チャンスが広がる。

# 立正大学付属立正中学校・高等学校



from the School

大場一人校長

充実した環境の中で得意なことをどんどん伸ばし、自信を付けてください。

## 6年間の地道な積み重ねで 学びの土台を築く「R-プログラム」



Homepage



左/R-プログラム、教室でのスピーチの様子。クラスメートを前に自分の考えを話す。年に3~4回は自分の番が回ってくる。

下/中1・高1希望者対象のイングリッシュキャンプは、福島県のブリティッシュ・ヒルズで3泊4日で行う。



蔵書およそ5万冊の図書館はグループ学習スペースのほか、テラスに面した閲覧席や個別ブースがあり自主学習に最適な空間。



左/中1「職業講話」で、環境省の自然保護官として働く卒業生から自然保護の現場について聞く。



右/中3「職場体験」。ファストファッションのショップの仕事を体験。



充実した設備を誇る。人工芝のグラウンド(約5300㎡)、アリーナ、プール、武道場、弓道場もあり、スポーツに打ち込める環境だ。

### 中1から積み上げる 調べ、読み、表現する力

創立120年を超える伝統校、立正大学付属立正中学校・高等学校。日蓮上人の教え「行学二道」を建学の精神に、可能性を引き出す人間教育を志す仏教主義の学校だ。

教育の大きな柱となっているのが「R-プログラム」。学びの土台となる三つの力「Research(調べる)」「Read(読み取る)」「Report(表現する)」を伸ばす同校独自のプログラムで、中1から高3まで6年間かけて取り組む。「人前で話す力、自分の意見をしっかりと伝える力を身に付けてほしいと始めたものです」と大場一人校長。毎朝のホームルームで、新聞の社説やコラムを読んで要約し、自分の考えをまとめてクラスメートの前で発表するのが基本スタイル。学年が上がるにつれて、データ分析を取り入れたり、グループディスカッションやディベートも行ったりしながら考えを深めていく。毎年11月には、クラス代表が自分の考えを発表する弁論大会が行われる。

「大切なのは続けること。地道な積み重ねによって、正しく物事をとらえる力、考える力、伝える力が定着していきます。外部の作文コンクールに挑戦し、入賞する生徒も増えてきました」

「R-プログラム」を始めて13年。生徒には着実に探究する力が付いてきているようだ。

「R-プログラム」で身に付いた作

文力やプレゼンテーション力が、結果的に総合型選抜などの新しい大学入試にも役立つことになり、自信を持つ生徒が増えてきたのは喜ばしいことです」

キャリア教育にも中学から力を入れている。映画監督やパイロット、経営者など社会で多彩に活躍する卒業生からリアルな仕事の話を聞く中1の「職業講話」、サブライチエーンなど関係業種のつながりを学ぶ中2の「職業理解」、さまざまな仕事の現場を体験する中3の「職場体験」と3段階で進めていく。「職場体験」の成果については文化祭で発表するとともに、校長面談での話題としても取り上げられる。校長が生徒一人ひとりと向き合う校長面談は中3の恒例行事。社会で働く苦労を垣間見た生徒たちは、親への感謝も語るといふ。

「AIの時代になっても、大事なものはAIをどう利用し自分の力にしていけるか。そのためにも中学時代から高いコミュニケーション能力と豊かな人間性を育てたい」と語る大場校長。6年間で、しっかりと土台をつくり上げていく。

#### School Data

〒143-8557  
東京都大田区西馬込1-5-1  
☎03-6303-7683  
<https://www.rissho-hs.ac.jp/>

- 創立 1904年
- 交通 都営浅草線「西馬込」駅から徒歩約5分

#### コアネットの目

校舎・施設が充実のキャンパスは駅から徒歩約5分の好立地▶蔵書数約5万冊を誇る図書館や人工芝のグラウンド、温水プールに弓道場など、学校生活を支える充実の施設設備があることも魅力の一つ。窓が大きく採光抜群の明るい校舎や多彩なクラブ活動に引かれて受験を決める志願者も多いそうだ。温かい校風の中で伸び伸びと学べる環境が整っている。

# 広島城北中・高等学校



from the School

中川耕治教学支援室長

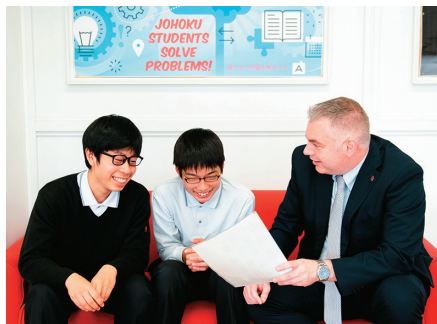
ディスカバリーの効果は、海外研修を希望する生徒の増加にもつながっています。

下2点／中学3年はオーストラリアの姉妹校、高校1年はイギリスの提携校に向き、ホームステイしながら異文化を体験する。



Homepage

## 経済界で活躍するリーダーを育む オールイングリッシュの探究学習



上・右／学年ごとに設定したテーマに沿って学び、語学力とコミュニケーションスキルが身に付く体験型探究プログラムのディスカバリー。



ディスカバリーを牽引するブランチャ・マット先生。



国際交流も盛んだ。姉妹校・提携校からの生徒を受け入れ交流する。



探究

中国

### 体験型探究プログラム ディスカバリー

1960年の創立以来、1万7000人以上の卒業生を送り出した広島城北中・高等学校。地元経済界で活躍するリーダーを輩出する広島市屈指の男子校で、卒業生ネットワークは城北健男児の人生を支える財産となっている。「本校の校訓『学んで厭かず 教えて倦まず』の主語は、生徒・教職員のどちらでもありません。学ぶこと、教えることを生涯にわたって続けていこうという校訓であり、自分の考えを周りに伝え、周囲の人を巻き込んでいくリーダーシップを発揮できる人を育てることが、城北の目指すところだ」と中川耕治教学支援室長は語る。

そのひとつの形が、2010年から続くオールイングリッシュの体験型探究ディスカバリーだ。その特徴は、ブランチャ・マット先生を中心とした欧米での教員経験を持つネイティブ教員が開発・指導を担当していることにある。「我々は母国で受けてきた教育、アクティブラーニングやPBL、TBLの効果を知っており、それを本校でプログラム化しました」とブランチャ先生。現在は5名のネイティブ教員が内容をブラッシュアップしながら、ファシリテーターに徹した指導を行っている。

ディスカバリーは中1から高2まで段階的に発展していく。中1では姉妹校の留学生との対話を想定し、自分の興味関心を英語で発信する。

中2では海外観光客の属性に合わせた広島観光の企画などに挑戦。さらに中3では身近な課題に対する自分の意見や解決策を、教員とのセッション、スピーチ、ドキュメンタリームービーなど、さまざまなシチュエーションでアウトプットする。

高校では課題設定の視野を広げ、精度の高い情報の収集から、問題の要素の因数分解的精査、解決策の提案まで取り組んでいく。「最初はアウトプットに苦労しても、やり遂げることには自信と誇りを持ち、生徒は成長していきます。英語の成績は普通でも、ディスカバリーでは高評価を得る生徒もいて、面白いですね」とブランチャ先生。中川教学支援室長もその効果を「英語嫌いの生徒が、『英語が楽しい!』と変化し、堂々と自分の考えを伝えられるようになります。また入試でも成果が見られます。芸備線の存廃問題を探究していたある生徒が、国立大医学部入試の口頭試問で僻地医療の問題と絡めて自説を述べ、面接官の注目を集めた事例もありました」と語る。経済界のリーダーを育む同校の環境は、グローバルに拡張し続けている。

#### School Data

〒732-0015  
広島県広島市東区戸坂城山町1-3  
**082-229-0111**  
<https://hiroshimajohoku.ed.jp/school/>

- 創立 1960年
- 交通 ● JR芸備線「戸坂」駅から徒歩約15分
- 広電バス「専教寺前」下車、徒歩約3分

#### コアネットの目

「先輩と先生のために一肌脱いじやる」。卒業後もつながる広島城北の絆と教育力▶社会で活躍する数多くのOBが現役生の学びをサポートしているのが、広島城北の大きな魅力だ。その背景には、中高6年間の手厚い指導と教員との密な関わりがあり、「卒業後もこの学校が帰ってくる場所だ」と自然に思える土壌がある。校舎に隣接して学生寮も整備され、広島市外・県外からも志が高い生徒が集まっており、同校の教育水準の高さが広く支持されている。

# 報徳学園中学校・高等学校



from the School

報徳教育部長 小林裕貴先生

二宮尊徳先生の思想を、学校や実生活の基礎に落とし込むのが、報徳流の探究教育です。

## 「報徳探究GIFT」で 一生ものの生きる術を磨く



Homepage



毎日、二宮尊徳の「報徳のことば」を素読する時間が設けられている。

教務部長の大谷彰先生。



左/高1~2年のフィリピン(セブ島)語学研修(写真)をはじめ、イギリス語学研修、オーストラリアの学校との交換留学など異文化交流プログラムが多彩に用意されている。

右/尾道市で行われた報徳みらいキャンプでは、しまなみ海道を実際に自転車で走破して、その魅力を体感した。



英語ディベートコンテストに出場。



## 探究学習の根幹にある 報徳思想

江戸時代の農政家である二宮尊徳の報徳思想を建学の精神に据える報徳学園中学校・高等学校。昨年度から独自の探究活動「報徳探究GIFT」が始動。報徳思想を土台に、生徒が学校生活のあらゆる場面で探究力を養う画期的な試みだ。

「報徳探究GIFT」はGlobal Inquiry Fusion of Traditionの頭文字で、探究と伝統を融合するという意味。報徳教育部長の小林裕貴先生は、「二宮尊徳先生は自ら現地へ赴き土地固有の価値『徳』を見だし、農村を合理的に復興させました。身近な人を幸せにすると、それが国や世界にも伝播していく。『GIFT』には生徒への贈り物になれ」と話す。

中学では、二宮尊徳の考えやエピソードから生活の中で改善できることを探し、探究に向けた思考の土台を築く。高校からは授業や行事、学外コンテストにも応用。I進コースでは、高1のみらいキャンプや高2のキャリア甲子園で実践する。みらいキャンプは広島県尾道市で行われ、しまなみ海道でのサイクリングや街のフィールドワークを体験、土地の魅力を理解し、地域の課題解決案を提案する。「地元にあるものを生かすことこそが『徳』であり、探究活動そのもの。兵庫県の西宮神社の福男選びを模した参道レースで宿泊客を増やすなど、独自の提案も

生まれました」(小林先生)。

英語教育との連動も深めている。「英語教員とネイティブ教員がチームで授業を展開。ネイティブ教員が作成した二宮尊徳のAIチャットボットを使い、尊徳先生の成功事例と生徒自身の考えをミックスさせ、英語で課題に向き合います」と教務部長の大谷彰先生。情報を整理・発信する力を養うことで、探究のサイクルを身に付けていく。

I進コースは高1で英語ディベートコンテストに出場。「相手の意見を受け止め、尊重しながら自分の意見も述べる。ハードルは高いですが、この挑戦が大きな自信につながります」(大谷先生)。さらに学びは海外へ。フィリピン語学研修では「語学学習だけでなく、週末にはカオハガン島や貧困地域も訪れ、現地で見ているものを探究につなげます」。このように、あらゆる場面で応用できる「報徳探究GIFT」は、二宮尊徳の思想を現代の言葉で再定義し、生き方に落とし込んでいくプロセスだ。伝統ある報徳教育は、探究という新たな実践の場を得て、生徒たちの一生ものの生きる術になっていく。

### School Data

〒663-8003  
兵庫県西宮市上田市5-28-19  
☎0798-51-3021  
https://www.hotoku.ac.jp/  
●創立 1911年  
●交通 阪急今津線「甲東園」駅から徒歩約20分

### コアネットの目

各界のリーダーたちが愛する思想が土台！文武両道の男子校▶同校の教育の根底には、二宮尊徳がまとめ、今なお各界のリーダーに愛されている報徳思想がある。生徒は報徳思想を通じて、コツコツ積み重ねればどんな大きな挑戦でも目標へ至ると体得。その成果としてクラブ活動ではトッププロを輩出し続け、勉強面でも難関国公立大への進学実績を着実に積み上げてきた。今後は、探究のフィールドでも、どんな活躍があるのか楽しみだ。



# 武庫川大学附属女子中学校・女子高等学校



Homepage

## 大学付属校だからこそ実現する 進むべき道を明確化する探究学習

from the School

企画・探究部部长 田辺瑞歩先生

大学付属・6年一貫という環境を最大限に生かした、本校手づくりの探究活動を展開しています。



上/ SOAR探究コースでは、武庫川大学教育学部と連携し、附属幼稚園・保育園、近隣小学校を訪問して、遊びを考案したり、SDGsを探究したりする活動を行っている(写真は異年齢交流の様子)。左/ 緑も豊かな約4万7000㎡の広大な敷地に広がる校舎。



正門にそびえる時計塔は同校のシンボル。生徒や教職員は登下校時、時計塔に一礼する。



中1から高3までの6学年を縦割りにして、すべての生徒が成果を発表し合う「探究発表会」。中学生が高校生の発表内容を知り、次年度の探究活動に生かしたり、発表の仕方を工夫したりするなど、よい刺激を受けている。

探究

### 探究活動の締めくくり 学年縦割りの発表会

大学付属校のメリットを生かし、自ら考え、動く力を培う教育を実践する武庫川大学附属女子中学校・女子高等学校。教育活動の随所に取り入れるのが、ジェンダー、キャリアデザイン、ライフプランを三本柱にした武庫川大学独自の教育プログラム「SOAR」の概念。文理にとられない学びを通して、「一生を描ききる女性力」を培っている。

従来、多彩なグローバル教育で知られる同校だが、ユニークなのは、現在の2コース制への改編と同時に導入した探究学習。中学では全員でいちご栽培やビーチクリーン、平和学習などに取り組むが、高2からはコースごとにアプローチが異なる。

グローバルリーダーの育成を目指すSOARグローバルサイエンスコースでは、科学的な探究活動を展開し、それらが社会につながることを実感する機会として、本物に触れる校外研修を実施。高2からは個々の特性や興味に沿った研究に特化する「課題研究サイエンス」か、模擬国連や英語ディベート大会に参加しながら地球規模の諸問題を探究する「グローバル探究」を選択する。

一方、探究活動やさまざまな交流を通して、進む道を見いだすことに重点を置いたSOAR探究コースは、武庫川大学の教育学部・経営学部と連携。附属幼稚園・近隣小学校などに出向いての活動や、複数の産学連

関西

携プロジェクトを実施している。

探究活動の構築を担う企画・探究部部长の田辺瑞歩先生によれば、コンセプトは「将来の自分を思い描いてもらうこと」。取り組みは多彩で、「グローバル探究」のあるグループは、子供が住みやすい街づくりをテーマにこども食堂で活動中。ある生徒は授業見学を重ね、面白い授業づくりの手法を探る。SOAR探究コースでは、大手FCチェーンの店舗業務やチャリティー活動を体験。自分たちができることについて考える。1年間の集大成である「探究発表会」に、縦割り活動を取り入れていることも大きな特徴だ。コースごとに6学年混合班をつくり、各教室に分かれて一人ひとりが発表。ほかの教室での発表も聞き、生徒・教員による投票を経て選出された両コース・各学年の優秀者は、全校生徒の前にプレゼンテーションに挑む。「互いに刺激を与えながら視野を広げ、体験を通して本当に学びたいと思える分野を見つける。大学付属の本校ならではの探究学習として、さらなる進化を図ります」

#### School Data

〒663-8143  
兵庫県西宮市枝川町4-16  
☎0798-47-8102  
(入試相談室)

<https://jhs.mukogawa-u.ac.jp/>

- 創立 1939年
- 交通 阪神本線「甲子園」駅、「鳴尾・武庫川女子大前」駅から徒歩約15分

#### コアネットの目

中高大一貫の10年間、縦のつながりで育む探究力と表現力▶中1から高3まで縦割りで取り組む「探究発表会」では、憧れの先輩を後輩が目を見守り、けなげに発表を頑張る後輩を先輩が温かく見守る光景が広がる。上級生と下級生の結び付きの強さは、女子校ならではの魅力だ。学年が進むにつれて論理的説明や表現力が着実に高まり、大学までを含めた10年でじっくりと力を育む「武庫川学院流」の探究学習が息づいている。

# 京都先端科学大学附属中学校高等学校



from the School

山田尊文副校長

KUAS独自の探究学習「地球学」がパワーアップ。さらなる社会実装へとつなげます。

## 独自の探究学習とグローバル教育で未来をデザインする人財を育成



Homepage



左/大学との連携も強化、中1で京都先端科学大学バイオ環境学部のスマートアグリハウスを見学する。

下左/ストックホルムにある「VASAミュージアム」を見学。

下右/中学3年で全員海外を体験。カナダ研修以外にも、スウェーデン交換プログラム(選抜制)、オーストラリア短期研修(希望制)がある。



上/京都先端科学大学にある丸善書店で、中学1年の生徒たちが環境問題や食と農業の本を陳列。POPも手作りして販売を体験した。



右/SGコースは週1コマ、総合学習の時間にGCPを実施。



### 探究

### 関西

## 京都発世界人財の育成に多彩な学びを展開

昨年、創立100年を迎えた京都先端科学大学附属中学校高等学校(以下、KUAS)。同校は探究学習とグローバル教育に長年力を入れており、中学はグローバルナビゲーター(GN)コースと、2025年度より新設された先端グローバル(SG)コースの2コース制。

GNコースでは中3の全員が10日間のカナダ研修、SGコースでは中3で5カ月間のカナダ・チーム留学が必須となる。両コース共にネイティブ教員とのダブル担任制でイマージョン授業(音楽・美術・体育)を行っているが、SGコースではさらに英語での探究学習GCP(Global Competence Program)を京都初導入。「クリティカルシンキングに力を入れていることもあり、SG生は自分の考えを臆さず発信する力が身に付くのが早い」と山田尊文副校長。

両コースを横断するKUASの学びの特徴は、16年前から進化を続ける独自の探究学習「地球学」だ。25年度には「疑問を作る力」「情報収集力」「探究心」を強化するためプログラムを再構築。中1では、前期は環境問題、後期は食と農業をテーマに、大学や企業とコラボした取り組みで社会実装力を育成。その一例に、環境問題や食と農業をテーマに生徒が選んだ本を、京都先端科学大学内の丸善書店で販売する「丸善プロジェクト」がある。生徒は書店の

棚を三つ借りて、「電車の冷房が30℃になると、電車の本数が減るとどちらがいいか」などの質問に回答してもらおうコーナーも作り来客の興味関心を集める一方で、販売の難しさも実感した。

中2では前期に再生可能エネルギー、後期にテクノロジーをテーマに学習。前期は京都先端科学大学工学部のファット・クチュク准教授による再生可能エネルギーをテーマとした講義などが予定されている。彼らが中3となる27年度には国際関係や平和をテーマに、中1・中2での学びや、カナダ研修・チーム留学の経験を発展させていく計画だ。

中学での地球学を、高校での課外活動で発展させる生徒も多い。今年2月には高校生チームが、冷蔵庫の野菜の消費をスマートフォンに通知するシステムを開発し、農林水産省主催の「みどり戦略学生チャレンジ」で大臣官房長賞を受賞した。「身近な課題を発見し、海外経験を踏まえて、世界で今起こっていることを将来の自分との関わりで考え、世界をデザインする人財を育てる。これが本校の地球学の狙いです」

#### School Data

〒616-8036  
京都府京都市右京区  
花園寺ノ中町8  
**075-461-5105**  
<https://www.js.kuas.ac.jp/>  
●創立 1925年  
●交通 ●京福北野線「妙心寺」  
「等持院」駅から徒歩約3分  
●JR嵯峨野線「花園」  
駅から徒歩約15分

#### コアネットの目

お互いの個性や自由を認め合う校風だからこそ、自分の「好き」が追求できる▶本文でも紹介しているさまざまな魅力的な探究プログラムの土台となる好奇心や表現力を支えているのが、同校のもうひとつの特徴であるアート教育。校内独自のアートコンペティションには多くの生徒が意欲的に作品を出品し、互いの感性を刺激し合いながら大いに盛り上がっている。創造力と表現力を伸ばす環境が整っている点も、同校の大きな魅力だ。



from the School

加藤雅丈理事長

中学校のスタートで、高校にも変化が生まれます。先生方もワクワクしながら準備をしています。

# 神戸野田中学校・高等学校

## 2027年度、中学校再開！ 最新の学びで生きる力を育む



Homepage



中3のテーマは「地球と未来」。日本旅行宇宙教育事業部によるミライ塾を受講する予定だ。



上／探究STEAM教育「未来Lab」では、中3でオーストラリア研修を予定。カンタス航空で持続可能な航空燃料事業について探究する。

右／活発さと品格を兼ね備えた中学校の制服。



上／中2のテーマは「地球と社会」。類設計室「宇陀VUTAI」での農業と学びのイノベーションキャンプを実施予定。



左／全天候型多目的グラウンドやテニスコート、人工芝コートなど、充実した施設・設備が揃う。

探究

関西

### 確かな学力と 非認知能力を伸ばす

2027年度より、57年ぶりに中学校を再開し、中高一貫の「未来フロンティアコース」をスタートさせる神戸野田中学校・高等学校。加藤雅丈理事長は「グローバル教育と探究STEAM教育を横断した、中高一貫校でしか体験できない6年間で約束します」と思いを語る。

中学校教育の大綱となるのが、非認知能力を育む体系的なプログラム「未来Lab」。毎週金曜日の6時限すべてを探究学習に充てるという大胆な設計だ。脇阪昇中学校開設準備室長は「事前学習・体験・事後学習をワンクールとし、一つのテーマを深掘りします。中1では『地球テラ』と私」、中2では『地球と社会』、中3では『地球と未来』がテーマ。軸足を地球に置き、自分から社会、そして未来へと段階的に視野を広げ、高校で課題研究へ深化させます」と説明する。

学びは学校内にとどまらない。日本旅行と包括連携協定を結び、同社の教育プログラムとして類設計室、野村證券といった多彩な企業と連携。中1での自然キャンプを通じた命の学びから、中2での株取引体験、中3ではオーストラリア研修でカンタス航空と連携した再生エネルギー学習まで、生きた体験が用意されている。「ネットでも何でも調べられる時代だからこそ、実際に見て、触れて感じることを大切にしたい」と脇阪

先生。

また、非認知能力の成長を可視化するため、他者評価や自己評価をグラフ化する「AIGROW」を導入。理事長が掲げる12のコンピテンシーに基づき、生徒の非認知能力を客観的に分析・育成していくという。

学力の土台づくりも盤石だ。AI型教材「キュビナ」で、習熟度に応じた家庭学習を推進。さらに、ゲーミフィケーション要素を取り入れ、学習の進み具合を世界旅行に見立てて可視化していくという。「点数ではなく、頑張り度が見えるので、勉強が苦手な生徒も前向きに取り組みます」(脇阪先生)。放課後の学習プログラムも複数用意し、授業・放課後・家庭学習の循環で、高校に向けた学力の土台をつくっていく。

中学校を再開し、建学の精神である「質実剛健にして進取の気性をもて」を目指す同校。加藤理事長は「21世紀型の学びを提供し、中高一貫の6年間で探究力、学力、耐久力、レジリエンスを身に付けさせ、社会で貢献できるイノベーターを育てたい」と力強く語った。

### School Data

〒653-0052  
兵庫県神戸市長田区海運町6-1-7  
☎078-731-8015  
https://www.kobenoda-h.ed.jp/jh/

- 創立 1926年(高等学校)
- 交通 ● JR山陽本線「鷹取」駅から徒歩約7分
- JR山陽本線・神戸市営地下鉄「新長田」駅から徒歩約13分
- 神戸市営地下鉄「駒ヶ林」駅から徒歩約13分

### コアネットの目

高校の実践型探究学習ノウハウを中学へ！ 神戸野田のチャレンジ ▶ 57年ぶりに中学募集を再開する神戸野田。その目玉となる金曜日の1～6限を丸ごと探究学習に充てる大胆な取り組みは、関西私学でも例を見ない斬新なチャレンジといえる。高校では地域との連携や、地域課題をテーマにした実践型探究活動を蓄積してきた。そのノウハウを基盤に、産学官民の連携による新たな学びの展開に期待が高まる。

# 三田学園中学校・高等学校



from the School

河原幸雄校長

与えられるのを待つのではなく、自分から学びに挑戦していく校風をつくります。

## 学校改革で生徒の力を開放 能動的な学びが加速する



Homepage



上/カプトムシ探究チームの活動の様子。

右/眞砂和典前校長は、同校の教育顧問に就任。

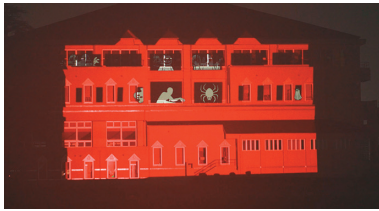


上/台湾の姉妹校との交流。

右/ニュージーランドの姉妹校から来校した生徒たちを見送る。



左/主幹教諭の鈴木応男先生。  
下/高校生を対象にプロジェクトマップ講座を開講。その概念から学んだ生徒たちが作った作品が、ホールの壁面を彩った。



左/国指定登録有形文化財に指定されている中学本館は、1912年に建てられたもの。

下/約16万㎡もの広大な敷地を誇る学園。



### 主体的な学びへの転換で 生徒たちに笑顔が増えた

4年前からさまざまな学校改革を進めてきた三田学園中学校・高等学校。文武両道の校風に、探究や英語の要素を加えた三次元的な学校生活に加え、生徒たちの学び方についても改革を行ってきた。「教室の中だけで完結しない主体的な学びが理想。4年前から種をまき続けた結果、生徒たちに明らかな変化が起こっている」と河原幸雄校長は話す。

その象徴が探究活動「Thank you 探究Day」だ。放課後に教員や生徒が自分の好きなことや興味のあることを扱う講座を展開するのだが、今年度は生徒発の企画が教員講座を上回り、主体的な学びが自然発生的に起こっている。例えば日本文化研究部の生徒が企画したお菓子講座では、粉の配合からおいしさを追求する本格的な内容に、70名もの生徒が集まった。主幹教諭の鈴木応男先生は「まずは熱中できるものを見つけ、喜び(Thank you)から問いを生み出すことが重要」と話す。

校内の池の水をきれいにする活動では、「竹炭で浄化できないのか?」「池の周りの有機物が池を濁しているのでは?」という問いが生まれているという。「とりあえず勉強しなさい、では響かない。試行錯誤して生まれた問いを、勉強する動機につなげていくことが大事だ」と河原校長。改革は制度面にも及ぶ。同校は2024年度から中間考査を廃止し、

単元ごとの確認テストやレポートで学習の定着を図っている。さらに25年度からは、授業の前後のチャイムを廃止。また、進路指導部は進路支援部へ、生徒指導部を生徒支援部にそれぞれ名称変更した。今年1月には卒業生が主催し、学校が場所を貸す形で成人式イベントを開催。約140名の参加者に、大学進学後の満足度の調査も行った。

グローバル教育では、世界8校の姉妹校・交流校との連携を活発化させるため、国際共創センターを設立。交流という枠に収まらない、PBL型のプロジェクトを行う予定だ。「海外の高校卒業資格も同時取得できるDDP(デュアル・ディプロマプログラム)には5人が挑戦中。海外大学進学の支援も行っています」鈴木先生。今年度からは生徒たちが海外研修報告会を自主的に運営、後輩たちへバトンをつなぐ。

学校改革開始から4年。「質実剛健・親愛包容」の校訓を土台に、主体的に行動する生徒たちの顔には、明らかに笑顔が増えたという。生徒たちの「やってみたい」には、計り知れない可能性が詰まっている。

#### School Data

〒669-1535  
兵庫県三田市南が丘2-13-65  
☎079-564-2291  
https://www.sandagakuen.ed.jp/  
●創立 1912年  
●交通 神戸電鉄「横山」駅から徒歩約1分

#### コアネットの目

4年間の学校改革を経て、三田学園流「主体的な学び」は熟成のフェーズへ▶2025年度には若手教員の発案により初の公開授業研究会を企画・実施し、全国から注目を集めた。22年度からの学校改革を経て、生徒だけでなく教員もアクティブでクリエイティブな集団へと成長している三田学園。主体的に学ぶ生徒と教員のシナジーによって、三田学園流の「学び」がどのように広がり、深まっていくのが注目だ。

# 常翔啓光学園中学校・高等学校



from the School

山田長正校長

2050年の世界で活躍するための幅広い力を養う教育を、これまで以上に輝けるものに!



異年齢教育も同校の特徴。中学に入学後、6〜7名の縦割りのグループがつくれる。体育祭の「啓中ソーラン」がその集大成だ。

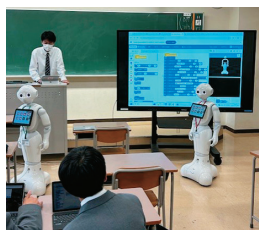


Homepage

## 自ら成長を遂げ 本当に進みたい道を選べる人へ



中学生向けのプログラミング講座。理系人材の育成を狙う。



人型ロボット「ペッパーくん」をプログラミングする。  
※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し当校が独自に実施しています。「Pepper」はソフトバンクロボティクスの登録商標です。



中学3年間の集大成ともいえる卒業研究を発表する「コミュニケーション発表会」は、保護者も聞きに来る。



学園内大学での中大連携プログラム。  
①中1は汎用旋盤を使って金属を削り、逆立ちゴマを作るものづくり体験。このほかにも8つの班があり、電子楽器や食卓食器(陶芸)なども作る(大阪工業大学)。  
②中2は薬学部で葛根湯作りにチャレンジ。自然の力を活かす生薬の基礎知識や効能などについて知るとともに、薬学への関心を引き出す(広島国際大学)。  
③中3はストローを使って頑丈な建物の模型を作るワークショップ。生徒たちはストローと厚紙を使って柱を立てたり、斜めに補強を入れたり、自由な発想で取り組んだ(摂南大学)。

これら従来の取り組みに加え、近年は高校で行ってきた大学教員によるDX講座を、中学生でも展開。中1からプログラミングスキルの習得や、CADと3Dプリンターを用いたものづくりに取り組む。「これからの社会では幅広い知識やスキルが求められます。何事にも思い切った挑

英語4技能をバランスよく磨くプログラムと海外留学制度を揃えた「グローバル教育」、学園内3大学(大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学)との連携の下で展開する「キャリアデザイン教育」、大学・企業とのコラボレーションや探究活動などに取り組む「イノベーション教育」を、学びの3本柱として掲げる常翔啓光学園中学校・高等学校。  
根底にあるのは、「自分の将来や進路を見つめ、今、何をすべきかを考えてほしい」という強い思い。特に「イノベーション教育」は、3年前に立ち上げた専門チームが中心となり、プログラムを年々バージョンアップさせている。中1のNIE(Newspaper in Education)教育では「100年後に残したい記事」をテーマにポスターを作製。中2はクエストカップに参加。全国大会でグランプリに輝いた実績を持ち、2025年度も全国大会に出場。中3は個々のテーマで卒業研究を進め、コミュニケーション発表会では、大人も舌を巻くようなプレゼンテーションを披露する。

個々が秘める興味や可能性を引き出す教育

**School Data**  
〒573-1197  
大阪府枚方市禁野本町1-13-21  
☎072-848-0521  
https://www.keiko.josho.ac.jp/  
●創立 1957年(中学校)  
●交通 ●京阪本線、京阪交野線「枚方市」駅から徒歩約13分  
●京阪交野線「宮之阪」駅から徒歩約7分  
●「枚方市」駅からバス「中宮住宅前」下車、徒歩約5分

戦できる低学年のときにこそ、文系理系にかかわらず広く学んでほしい」と山田長正校長。中2以降もDX講座を広げる予定で、「DX推進台湾研修」で学んだ学年混合チームは、同校に2体ある人型ロボットを活用した新入生向け学校紹介プログラムをつくり上げた。26年度から週5日制となるが、希望者向けの土曜日講座にもDX講座を組み込む予定だ。「上級生が下級生に教える文化」も同校の特徴の一つ。中1の4月に行うオリエンテーションをはじめ、学校生活の随所で3学年縦割り班による活動があり、集大成が中学体育祭の伝統種目である3学年合同の「啓中ソーラン」。外部講師から手ほどきを受けた中3がリーダーを務め、下級生を指導する。「自然と主体性や責任感が芽生え、見違えるほどの成長を見せてくれます。教員が教えられることは限られている。自ら成長し、教員を超えてほしい」と語る山田校長。個々が「やりたいこと」を追求した結果ともいえる多様な大学進学実績は、同校の教育の賜物だろう。

**コアネットの目** 幅広いリアルな体験と信頼で広がる学びの世界 ▶ 入学後の満足度が非常に高い同校。畑や田んぼ、クライミングウォールなど、他校ではなかなかないリアルな教材や、学園内の連携を生かした大学や企業とのキャリア教育に注目が集まるが、満足度を支える背景は、信頼できる教員との絆にある。生徒たちの成長へ、教員自身が成長することで貢献する。教員と生徒の信頼関係を、説明会で実際に感じていただきたい。

# 同志社香里中学校・高等学校



from the School

探究科委員会委員長 虫本隆一先生

さまざまな教科の教員と連携し、よりよい探究学習へのバージョンアップを図っていきます。



Homepage

## 自分事として夢中になれるような未来を切り開く探究学習を目指す



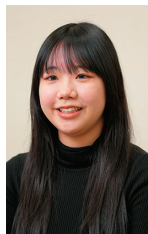
上／繋真館の中央に立つ同校のシンボルツリー。  
左／探究のグループワークに活用される繋真館には、約6万冊の蔵書がある。



興文館での生徒たちのプレゼンテーションの様子。



「総合的な探究」で塚田さんが所属するゼミを担当した美術科の水江亮太先生。



上／今年、同志社女子大学に進学した塚田彩葉さん。  
左／自身の研究を発表する塚田さん。



高校の全学年を対象に行われる、探究最終成果発表会。

### 探究

### 関西

## 将来を見据えたテーマで人生に活きる探究へと深化

校祖・新島襄が理想とした、キリスト教主義・自由主義・国際主義という三つの教育理念に基づく良心教育を実践する同志社香里中学校・高等学校。受験がない大学系列校ならではの環境を活かし、注力しているものの一つが探究学習だ。

高校で週2回行う「総合的な探究」の授業のゴールは、一人ひとりが設定したテーマで1万字程度の卒業論文を書き上げること。高1から高2の前半までは探究の手法を実践的に学び、高2の後半から個々にリサーチアクションを設定する。その分野ごとに20名程度のゼミに分かれ、各分野に精通した担当教員のサポートの下、探究を進めていく。

やりたいテーマが見つからない生徒も、よくよく話を聞くと関心を示していることがあるのだという。探究活動の推進を担う虫本隆一先生は「その関心を、テーマとして具体化しやすいように、また『自分事』として突き詰められるようにサポートすることが重要」と話す。2025年度から3学年合同の発表の場を設け、成果を共有したことで、より「自分事」として取り組める自由なテーマ設定が加速したという。

例えば同校卒業生の塚田彩葉さんが取り組んだテーマは、「関係性がつくる魅力―ファンカメラマンによる撮影―」。塚田さんは好きなことをリストアップし、趣味の写真撮影

と好きなアイドルを融合させようと考えた。まずはアイドルの写真やプロ撮影とファンが撮影した2種類用意し、SNSで「どちらの写真に引かれるか」を問うアンケートを実施。分析すると、被写体と撮影者の関係性が深く、「その人らしさ」のにじみ出るポートレートこそが、多くの人を魅了することがわかった。並行して高3の夏には、ゼミを担当した水江亮太先生の勧めで、親友を撮ったポートレート作品をコンテストに出品。同校生徒でもある被写体を知り、かつアートの精通した水江先生をして「内面の強さまで写し出している」と言わしめた作品は見事受賞し、分析結果を裏付けた。

そしてなによりユニークなのが、塚田さんがこの探究を、自身が将来カメラマンとして活躍するために、目指すべき方向性を探る機会としても位置付けていたことだ。

「将来にも関わる『自分事』を探る機会として探究を活用してもらえたことが、本当にうれいんです。人生に活きる学びを実践できるように、よりよい形を追求していきたいと思っています」(虫本先生)

### School Data

〒572-8585  
大阪府寝屋川市三井南町15-1  
☎072-831-0285  
https://www.kori.doshisha.ac.jp/  
●創立 1951年  
●交通 京阪電車「香里園」駅から徒歩約18分

### コアネットの目

お互いの個性や自由を認め合う校風だからこそ、自分の「好き」が追求できる▶自然豊かな環境と広大なキャンパスの中で、リラックスして学習できるのが同志社香里の強み。日々の学校生活や行事を通じて、生徒たちは自主自立の精神を育てていく。生徒同士がお互いの個性や自由を尊重し合う校風だからこそ、生徒はとことん自分の「好き」を追求できる。その知的好奇心が、探究学習や大学進学後の研究へとつながっていく。



# 龍谷大学付属平安高等学校・中学校

## 社会での活躍に不可欠な 非認知能力を伸ばす探究の学び



Homepage

from the School

教育企画係主任 石川真也先生

あえて余白を設け主体性を育む「BLANK」をはじめ、未来を見据えた教育を創造しています。



上/ネイティブスピーカーが7名在籍しており、実践的な英語教育が行われている。  
左/浄土真宗本願寺派の宗門校である同校の朝は、仏参から始まる。



龍谷大教授によるアグリカフェ。



右/昨年3月に完成した「黎明館」は、龍谷大学心理学部と同校との共同施設。中には「HEIANメディアラボ」があり、図書室や個別ブースを備えた自習室、カフェテリアなどが配置されている。



左/龍谷大学先端理工学部・農学部が行う「STEAM コモンズ」体験学習の様子。

### 授業から探究活動まで 大規模な教育改革を推進

今年創立150周年を迎える龍谷大学付属平安高等学校・中学校。浄土真宗の「宗育(徳育)」を根幹とした教育を根底に、先行きが不透明な時代に活躍できる、自ら動ける人を育む教育改革を推進中だ。

改革は多岐にわたるが、その一つが授業。授業ごとに課題を設定し、グループで話し合ったり、そこで出てきた考えを共有して、次の問いを投げかけながら答えを見いだす、学び合いの授業により、わからないときにはわからないと言えない姿勢を醸成している。建物自体を教材化した「STEAM棟」、中高大連携の起点となる龍谷大学心理学部との共有施設「黎明館」など、新たな学びのための環境整備も図っている。

教科学習などと関連づけて展開する高校の探究学習も例外ではない。龍谷大学進学に向けた学びが用意される「プログレスコース」では、龍谷大学と連携した探究活動に臨む。被爆アオギリを全国に広める運動をする生徒、特撮キットの製作・販売のビジネスモデル構築に力を注ぐ生徒など、活動は多彩だ。国公立・難関私立大学を目指す「特進コース」、硬式野球部の生徒で編成される「アスリートコース」では、2026年度より従来以上に進路選択につながる探究学習へ。「特進コース」では起業家精神の育成につながる活動も盛り込まれる。

高校での探究をより高度なものとするために、中学の総合学習では、非認知能力の向上に主眼を置いた活動を展開。中1は幼稚園や高齢者施設などでインタビュールし、園児や利用者を楽しんでもらえる企画を考案・実践する。中2は企業等への訪問を経て、PR動画の制作に挑戦。中3はSDGsに関連したアクションプランを検討・実行する。

こうした中学3年間があるからこそ有意義なものとなるのが、探究の時間の一環として新設された「プログレスコース」の「BLANK」だろう。これは、何をするのかを自分で決める週1回の余白の時間。自習しても、友達とゆっくり過ごしてもOK。「高2の有志からなる、探究学びの会」は、専門学校と連携し、ドローン操縦体験会を企画・実施していました」と教育企画係主任の石川真也先生。同校ならではの引き算の発想が功を奏しているようだ。

改革の一環として、27年度には高校のコース改編を予定。同校の飽くなき挑戦は、まだまだ続く。

#### School Data

〒600-8267  
京都府京都市下京区  
大宮通七条上ル御器屋町30  
☎075-361-4231  
<https://www.heian.ed.jp/>

- 創立 1876年
- 交通
  - JR「京都」駅からバスで約5分、または徒歩約15分
  - JR嵯峨野線「梅小路京都西」駅から徒歩約7分
  - 阪急京都線「大宮」駅からバスで約5分、または徒歩約15分

**コアネットの目** 不易流行の伝統校。建学の精神に根付いた情操教育と最先端の教育が共存 ▶ 創立150周年を迎える伝統校だが、宗門校としての理念を継承しつつ、常に最新の教育を更新し続ける「不易流行」の学校。ICTを活用した「学び合いの授業」を進める一方で、毎日の出来事を手書きで記録し、担任とコミュニケーションを取る『あゆみ』の取り組みにもこだわりがある。デジタルと温かみのある人間的関わりを両立させた学校づくりが特徴だ。

# 拡大する中学受験と 学校選択の新基準

コナネット教育総合研究所 福本雅俊

## 広がる受験層と価値観の変化

2026年の中学入試において、首都圏の受験者数は5万3730人、中学受験率は18.6%、関西でも受験者数1万7818人、受験率10.9%と、いずれも過去最高を記録した。中学受験は引き続き活況を呈しており、その裾野は確実に広がっている。

ただし、今回の入試動向を見ていくうえで注目すべきは、単純に上位難関校の受験者数が増えたわけではない点だ。むしろ、中堅校やそれほど偏差値の高くない学校にも、受験者が集まっている傾向が見られる。ここには、中学受験を選択する保護者層の価値観の変化が色濃く表れている。

## 関西の 中学入試の規模

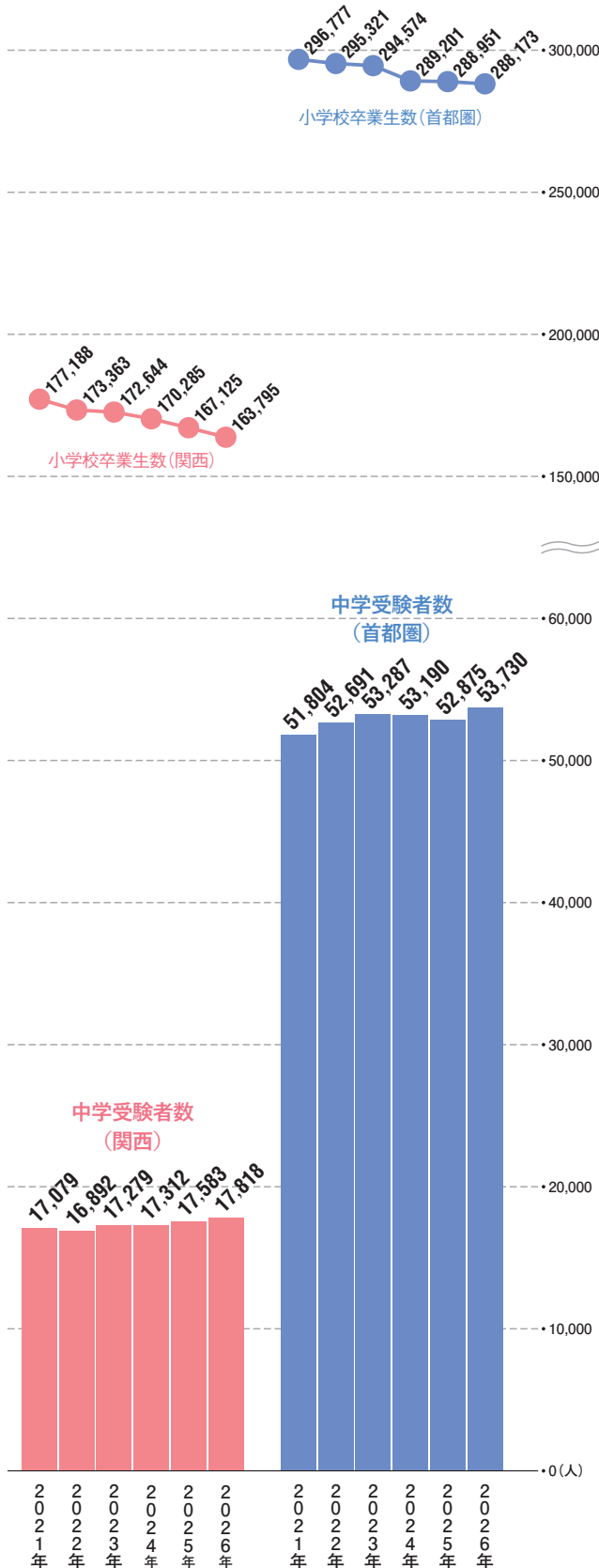
日能研関西 進学情報室提供

調査対象／大阪府、兵庫県、  
京都府、奈良県、  
和歌山県、滋賀県

## 首都圏の 中学入試の規模

日能研関東 中学情報部提供

調査対象／東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県



従来のように、ブランド力のある難関校への進学を最優先とする考え方は、現在も一定数存在する。しかしそれに加えて、将来を見据えたときに、わが子にとって適した環境とは何か、6年間を充実して過ごせる学校はどこか、といった視点で学校を選ぶようとする保護者が確実に増えている。かつてのように、「難関大学進学のために私立中高一貫校が有利」という価値観は、徐々にその影を潜めつつある。学校選択は明らかに多様化の時代に入っている。

## 「わが子に合う学校」を選ぶ時代へ

こうした状況の中で重要になるのは、各家庭が「子供にどのような6年間を過ごしてもらいたいのか」という軸を持つことである。そして、その軸と受験生本人の希望を丁寧に重ね合わせながら、学校選びを行う必要がある。もはや学校名だけで進路を決める時代ではなく、その学校が持つ教育の価値や環境に目を向けるべきである。したがって、従来の「第一志望」と「すべり止め」という発想ではなく、受験するすべての学校を第一志望として捉えるくらいの姿勢で臨むことが望ましい。

## 学校の本質は現場で見極める

では、その学校の価値をどのように見極めればいいのか。私自身、毎年多くの学校を訪問し、説明会などに関わる機会があるが、そのたびに実感するのは、私学は一校一校まったく異なる校風や文化を持っていること。これはホームページやパンフレットを眺めるだけでは決して見えてこない部分である。

ぜひ実際に学校説明会や文化祭などに足を運び、学校の空気を肌で感じてほしい。その際に特に注目してほしいのは、日常の生徒の様子。生徒の姿は、その学校における教育の在り方を映し出す鏡でもある。日々、教員がどのように生徒と向き合っているのか、その関わり方は生徒の言動や雰囲気自然と表れてくる。多くの学校に足を運び、子供と共に体感しながら比較・検討する。その積み重ねにより、ご家庭の価値観に合った学校が見えてくるはずだ。中学受験が広がりを見せる今だからこそ、数字の動向だけにとらわれるのではなく、「わが子にとっての最適」を問い続ける姿勢が、これまで以上に求められている。

# EAST

## 首都圏

東京都／神奈川県  
埼玉県

私立ならではの教育が魅力の首都圏の中高一貫校34校

※S=サイエンス、T=探究



# 成城中学校・成城高等学校



from the School

技術科主任 田中俊輔先生

考え、実行し、次に生かす。失敗を恐れず、試行錯誤しながら成長してほしいです。



Homepage

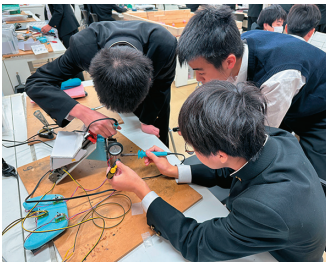
## 物作りを通して培う 豊かな創造性とチャレンジ精神



上/中1「自宅デスクに置く小物」。パソコンを使って設計し、手を動かして道具の使い方を習得する。安全性にもこだわって製作する。右/生徒の熱気が充満する木工室。それぞれが自分の製作に没頭する。



中2では、江戸時代に新宿で栽培されていた伝統野菜、内藤とうがらしを栽培。管理方法や肥料の配合を自分たちで考えて育てる。



中3は班でロボットを製作。周囲のアドバイスを基に試し、考えながら進める。



製作したロボットで対戦し、改善を重ねる。



アルミのアイススプーン。地金を延ばして切り出し、型に入れてくぼみを作り表面をひたすら磨く。理科で習った金属の性質を経験を通して理解する。

### 技術の習得に終わらない ユニークな技術科の授業

三つの徳「知・仁・勇」を備えた人間力の高いリーダーの育成を教育目標に掲げ、1885(明治18)年に創立した男子校。文武両道・質実剛健の校風を象徴する、夏の臨海学校などの伝統を受け継ぎつつ、近年は多彩な海外研修を行うグローバルキヤリア教育や、中1に導入した独自の科目「数学統計」などでも注目されている。

特進コースの設置といった学力別の学級編成を行わず、知識注入型の座学では得られない力を育む教科が元気なのも、成城中学校・成城高等学校の特色だ。中学の3年間、物作りに取り組む技術科の授業もその一つ。実習室をのぞくと、部品を手に顔を突き合わせて話し合うグループあり、黙々と金槌を振り下ろす生徒の姿あり。熱気むんむんだ。

技術科主任の田中俊輔先生は、「なぜ技術を学ぶのか。僕は中1の最初の授業で、これからは『創造社会』が到来するよ、そのビジョンを頭に描きつつ、物作りにチャレンジしようね、と生徒たちに言っています」と語る。「創造社会」とは、一人ひとりが創造性を発揮して何かを「生み出す」ことに最大の価値が置かれる次世代型社会を意味する。

授業はまず、鋸や金槌、鉋といった道具類の使い方を学ぶことからスタート。中1では自宅の机で使う小物や木の箸の製作で木工に取り組み、

中2はアルミのスプーンや、焼き入れネジの製作で金属加工を体験。中3ではコントローラーで動くロボットを製作するというように、徐々に難易度を上げながら、いろいろな物作りに挑戦していく。

道具使いは「習うより慣れよ」が基本。最初は失敗がつきものだが、「放課後にもう1回やり直してもいいですか?」と再挑戦を申し出る生徒も少なくないという。

「失敗は物作りの原点。小さな挫折を味わいながら、試行錯誤を繰り返して、改善を続ける精神こそが、創造力を培う源だからです。口に入れる箸やスプーンは、使う人のことを考えて安全性を高めようとか、製作物を改善するには仲間とのディスカッションが欠かせないなど、気づき、もいっばいの授業です。技術の習得だけではなく、物作りを通して人生を豊かにする人間力を身に付けてほしい」と田中先生。

知的好奇心とチャレンジ精神旺盛な男子にとって、物作りに没頭できる時間は貴重な。そんな体験を教育に落とし込む懐の深さも、成城らしさにほかならない。

#### School Data

〒162-8670  
東京都新宿区原町3-87  
☎03-3341-6141  
<https://www.seijogakko.ed.jp/>

- 創立 1885年
- 交通 都営大江戸線「牛込柳町」駅西口から徒歩約1分

#### コアネットの目

目まぐるしく変化する社会への対応力を育む▶学力向上への確かな基盤づくりに加え、DXハイスクール採択校としてICT教育、データサイエンス教育に力を入れている。実社会のツールを活用し、楽しみながら競い合う中でプログラミングやデータ分析、最先端技術を体感し、知識と経験を積み上げている。変化の激しい時代を生き抜く力と未来の可能性が育まれる伝統校である。



from the School

入試広報部主任 戸口義也先生

女子校は、女子が元気に活躍し、成長できる場所。自分らしい輝きを、本校で見つけてください。

# 共立女子第二中学校高等学校

## 「セルフリーダーシップ」を発揮し 未来を切り開く“自分”を育てる



Homepage



「放課後自習室」では生徒たちが集まって学び合う様子がよく見られる。生徒の発案で「無人コンビニ」が設置され、ますます充実したラーニング commons。



中学の恒例行事「レシテーションコンテスト」。クラス代表が個性豊かに堂々と英語で発表する。



自分たちの学校を積極的にPRする在校生広報チーム「2KRT(にっくると)」。キャンパス案内などで、積極的に活動する。



キャンパス内の菜園で自分たちが栽培したサツマイモを収穫。この後は焼き芋大会が行われた。



全校生徒が参加する、開校以来の伝統である砂川体操。体育大会で披露される。

### 自己肯定感を高める 生徒主体の活動が盛ん

自然豊かな八王子市郊外に広大なキャンパスを構える共立女子第二中学校高等学校。今年創立140周年を迎える母体、共立女子学園の教育指針「リーダーシップの共立®」を継承しつつ、「セルフリーダーシップ」という、独自のスクールカラーを打ち出している学校だ。

「他者を統率するリーダーシップとは異なり、一人ひとりが個性や持ち味を発揮し、まず自らを主体的にリードして、自分らしく社会に貢献できる女性になってほしい。それが本校の目指す「セルフリーダーシップ」です」と、入試広報部主任の戸口義也先生は説明する。その「セルフリーダーシップ」を育てる舞台と機会が、数多く用意されている。生徒主体で企画・運営されている学校行事はその代表格。伝統的な文化祭や体育祭のほか、生徒の発案で新しいイベントが次々と生まれ、ほぼ毎月、なにかしらの行事があるという。

在校生の目線で共立女子第二の魅力を発信する広報チーム「2KRT(にっくると)」の活動も活況だ。中1〜高3の有志70名ほどが、3チーム(企画班・運営班・SNS班)に分かれ学校説明会やキャンパス案内などで大活躍。その姿に憧れて同校に入學する生徒も珍しくない。

「自分の得意や個性を生かして互いに頑張ることで、他者からも認められ、自己肯定感が高まります。それ

が、学習面の伸びにもつながっているのを感じます。自学自習に励む「放課後自習室」も、得意な勉強を教え合い、学び合う空間になっています」と戸口先生。

「放課後自習室」は、勉強は学校で完結させよう、というコンセプトの下、予約制の個人ブースからオープンスペースまで、いろいろな学びのスタイルに対応したラーニング commonsだ。昨年、生徒会の発案で「無人コンビニ」が設置され、利用時間が19時まで延長された。

「軽食が取れて、おなかが満たしてから自習できると、部活に励む生徒たちに好評です。また、今年度からは、卒業生によるチューター制度も導入します。現役大学生である卒業生は格好のロールモデル。学習面以外の好影響も期待しています」とこやかに話す戸口先生。

2025年度には、津田塾大学との高大連携協定を締結し、希望者はオンライン受講が可能になった。女子が伸び伸びと、自分らしい物語を紡ぐことができる、恵まれた環境が同校には整えられている。

#### School Data

〒193-8666  
東京都八王子市元八王子町1-710  
☎042-661-9952  
<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/nichukou/>

- 創立 1886年
- 交通 JR中央線・京王線「高尾」駅、JR中央線「八王子」駅南口からスクールバスあり。みなみ野・七国循環ルートも運行  
※スクールバスは無料

#### コアネットの目

現役進学率95%以上! 安心安定の進路システム▶高校の英語コースからは2年連続で海外大学進学者を輩出。津田塾大学との高大連携では、在学中にオンライン履修した科目の単位を入学後に認定する仕組みが整った。全コースの生徒が共立女子大学・短期大学への推薦入学資格を保持したまま他大学受験ができることも、同校の極めて高い現役進学率を支えている。

## 和洋九段女子中学校高等学校



from the School

水野 修校長

臆することなく、新しいことにチャレンジし、表現する力も高い生徒が育っています。

未来を自ら描いて学ぶ新コース  
「フューチャーデザインコース」が発進

Homepage



上／高1全員が長野の農村を訪れて地域の活性化を考える「長野研修」。少子高齢化が進む、訪問先の飯綱・芋井で、農家の方々から話を聞き、作業を手伝い、地域を元気にするプランを立てる。

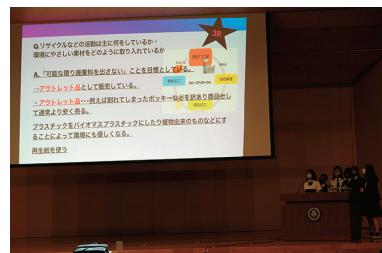
右／高2・3で実施する「グローバル探究」。SDGsをはじめとする国際的な社会課題に向き合い、解決策を考える力を養う。



生徒が自ら考え、議論し、「答えのない問い」に対する最良の見解を出すPBL型授業。このような授業が日常的に行われている。



体育祭の大トリで披露される高3の扇の舞。この日のために練習を重ねてきた。



中2で行う「グローバル遠足」は、SDGsや社会貢献に取り組む企業や団体を訪問し、取材を行う。現場で学んだ課題解決の取り組みは講堂で発表する。

異なる領域を掛け合わせ  
新たな価値の創造を目指す

和洋九段女子中学校高等学校の高校に、2026年度より新しく「フューチャーデザインコース」が誕生した。同校では、中学に「本科クラス」と「グローバルクラス」があり、高校1年生より三つのコースからの選択制となる。

従来、高校は「本科」「グローバル」「サイエンス」の3コース制だったが、このうちの「本科」が「フューチャーデザイン」に変わり、履修科目なども刷新された。その目的について、水野 修校長は「生徒が自身の将来像を、より明確に描き出せるようにするため」だと語る。

「従来の『本科』の名には、目指す方向が不明瞭なところがあります。将来に備えて何を学ぶかを明らかにして、生徒に示すことが、新設した理由のひとつです」

コース名の「フューチャーデザイン」には「未来を自らデザインする」という意味合いを込めたと語る。

新コースは「生活」「社会」「アート」の3分野に計6科目が設定されている。そして、6科目はそれぞれにテーマ性があり、複数の学習内容を掛け合わせる構成になっている。

例えば、「生活」分野の「すくすくキッズクリエイターズ」では幼児教育と栄養学を学ぶ。同分野の「ケアウエア・クリエイション」では看護学とファッションを学ぶ。

「一見して異なる学習内容の掛け合

わせですが、実は相互に関連がある領域です。また、異なる領域について学ぶことで、新たな創造性が発揮される可能性にも期待しています」

それら学習プログラムの構築には、系列大学と連携大学に加え、これまで関係を築いてきた企業や行政、地域団体などの協力も仰ぐ。

また、新コースの設置と併せ、高3だけだった「グローバルコース」の「グローバル探究」を高2に、高2までだった「サイエンスコース」の「理数探究」を高3に拡大、実践的な探究学習に厚みを持たせた。

「まずは自分の『好き』を見つけることから始める。そして、自分の将来像から逆算して必要な学びに取り組む姿勢を身に付け、目的意識を持って学ぶことの大切さと楽しさを知ってほしい」と水野校長。

「先を見て齊える」とを校訓とする同校。先を見通す知性と、時代に即して物事に対応する能力を育むことを教育の柱とする。新コースはその校訓を具現している。

## School Data

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-12-12

☎03-3262-4161

<https://www.wayokudan.ed.jp/>

●創立 1897年

●交通

- 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅から徒歩約3分
- JR総武線「飯田橋」駅から徒歩約8分
- 東京メトロ有楽町線・南北線・都営大江戸線「飯田橋」駅から徒歩約8分

## コアネットの目

**PBLで育む社会で生きる主体性**▶ PBL型授業がベースとなる同校の学びは主体性のある生徒を育てている。生徒が積極的に企業へのアポ取りを行うところにもその効果が出ているといえるだろう。学校のすぐそばに大使館や企業が多くあるなど、変化する社会でも活躍する力を学べる環境が整っている学校だ。



from the School

広報部長・英語科 横内 敦先生

海外でも臆することなく、伸び伸びとチャレンジできる人材の育成を目指します。

# 神奈川大学附属中・高等学校

## 羽ばたけ、世界へ！ 生徒の未来をひらく神大附属の挑戦



Homepage



2027年度にスタートするCLIL。多様な文化的背景を持つ人とコミュニケーションし、社会の発展のために行動できる力、グローバルコンピテンスを段階的に育てていく。



上/探究の時間の一環として行われる探究発表会。ゼミや個人単位でポスター発表を行う。右/海外研修も多彩に用意。社会課題解決のために現地の人の声を聞こうと、街に出てマーケティング調査中。



1つの校舎を丸ごと利用した自習室は全学年利用可。必要に応じてティーチングアシスタントのサポートを受けることもできる。



左/木々に囲まれ自然を身近に感じることができる広大なキャンパス。

下/生徒が主役の三者面談(SSS)。



### 英語で思考力を鍛える CLILを導入

広大で自然豊かなキャンパスを舞台に、先進的なICT教育や探究学習など、多彩な教育プログラムを実践している完全中高一貫校。手厚い学習支援の下、難関国立大学への合格実績でも注目株の神奈川大学附属中・高等学校が、海外大学への進学も視野に入れた、グローバル教育のアップデートに取り組んでいる。

「グローバル化や価値観の多様性が加速する変化の激しい時代において、そのような時代を主体的に生き抜く力の土台を中学生のうちから育むため、2027年度に向けてさまざまなグローバル教育の改革を進めています」と、広報部長の横内 敦先生(英語科)。

まず入試スタイルが変わる。算数は必須科目のままだが、帰国生入試の英語は英検®などを利用して得点換算する。英語外部試験なし得点制度(J・I・D・E・S)を導入。第1回入試(算数・国語)は、これまで通り実施される。そのうえで、英検®などの資格取得者には新たな評価方式を導入。事前に合格証などを提出することで、当日の国語の得点と英語のみなし得点を比較し、より高い得点で可否を判定する仕組みとなる。4科以外に英語学習を行ってきた人に対応した形だ。入学後は、全員の英語力を伸ばしつつ、帰国生・英語上級者には取り出し授業を行い、さらに英語力を伸ばしていく方針だ。変革の二つめは、中1〜高1の英

会話の授業へのCLIL(内容言語統合型学習)の導入だ。CLILは、英語を学ぶのではなく英語で学ぶ授業スタイルで、日本人教員とALT(ネイティブスピーカーの指導助手)で行う。

中1「自分と他者、世界を知る」、中2「自分と他者と世界のつながりを理解する」、中3「思考から行動を起こす」、高1「リーダーシップを極める」と、4年間で段階を踏み、世界の重要な課題を理解し、それに基づいて行動する能力を育てていく。「日本の常識が海外では非常識になることもある。当たり前という色眼鏡を外すと、世界と自分の距離がぐっと縮まります。世界とつながるマインドと、自ら考え行動する姿勢を身に付けてほしい」と横内先生。

9カ国60以上の大学へアクセスできる海外協定大学推薦制度、オーストラリアの名門大学への進学プログラム、マレーシア10大学への指定校推薦も用意。国際社会で活躍する生徒たちの未来を想定し、自分と世界とのつながりを俯瞰できる力を中学から育む神奈川大学附属の新たな挑戦に、期待が高まる。

#### School Data

〒226-0014  
神奈川県横浜市緑区台村町800  
☎045-934-6211  
https://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/

- 創立 1984年
- 交通
  - JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン「中山」駅から徒歩約15分
  - 相鉄線「鶴ヶ峰」駅より相鉄バス「西ひかりが丘」行き終点下車、徒歩約3分

#### コアネットの目

生徒が主役、生徒自身が自分を語る三者面談の新しい形▶2年前に始まった「生徒が主役の三者面談(SSS)」は、夏と冬の年2回実施。生徒自身がその年の成果や今後の目標を見つめ直し、保護者と教員にプレゼンテーションを行う。自ら考え将来を描く力を育むとともに、家庭では見えにくい思いや成長を共有する機会となっている。生徒に寄り添い、その成長を大切に神奈川大学附属らしさがあふれる実践だ。

# 関東学院中学校高等学校



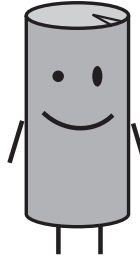
from the School

進路進学指導部部长 井野元隆司先生  
生徒同士、生徒と教員の関係のよさが強みです。一緒に高め合える仲間がたくさんいます。



Homepage

## 他者と共に成長できる環境が未来を切り開く力になる



右/オリジナルキャラクターみはるたん。集まることでよく燃える炭が、仲間と一緒に伸びる生徒を象徴している。

左/約1000名を収容するグレースセット礼拝堂。毎朝の礼拝は心を整える大切な時間。下左/SDGsをテーマにした学習の一環で、リサイクル企業の現場を見学。下右/中外製薬の創業研究所で最先端の生命科学実験を体験。研究職の仕事について知る貴重な機会となった。



部活動も盛ん。技術部はエコカーの製作など、物作りに取り組む。活動の実績が大学進学につながることも。



ダンス(HULA)部。全国高等学校フラ競技大会「フラガールズ甲子園」での優勝経験もある。

## 支え、励まし合うことで、可能性を広げる進路指導

横浜の街を見下ろす高台に立つ関東学院中学校高等学校。キリスト教の精神に基づき「他者と共に生き、社会に貢献できる人間」を育ててきた、100年を超える歴史を持つ伝統校だ。

多様化する生徒の将来の希望に応じて、さまざまな改革に取り組んでいる。それが成果につながり、2026年は東大合格者を3名輩出した。重視しているのは、仲間と共に学ぶことで得られる相乗効果だという。「今の時代、勉強だけなら一人でもできます。それでもわざわざ学校に集まるのは、共に考え、刺激し合うことで、1+1が4にも5にもなるからです。例えば、1本の炭の熱はわずかでも、集まれば大きく広がります。いつまでも燃え続ける。人との関わりの中で学ぶことに意味があると考えます」と進路進学指導部部長の井野元隆司先生は語る。

根底には「自走・自磨」の考え方があられる。言われたことをこなすのではなく、自ら学び、考え、行動する力を人とのつながりの中で養うことを目指している。

進路指導においては、早くから将来像を考える機会を設け、それを後押しする。中学・高校を通して数多く行われる「進路集会」では、学習面や生活面で悩む生徒を励まし、モチベーションを高めることに主眼を置き、好評だという。

生徒と教員の距離も近く、生徒の希望に応じて個人面談が日常的に行われている。「中学生は、生活リズムや友達関係など、困っていることをうまく言語化できない場合が多い。対面で丁寧に話を聞き、悩みや課題を探っていきます。一人ひとりを大切にしている」と井野元先生。

高2の冬に取り組む「第一希望宣言」では、A4の紙に志望する大学、学部、学科と、その理由を詳しく記入する。「自らの目標と行動を言語化することで、モチベーションが高まります。保護者からも応援メッセージをいただき、担任から校長まで回覧してコメントを加え、生徒に返します」。一枚の紙の上で、生徒・保護者・教員がつながり合い、目標に向かつて一丸となることで、支え合うのだ。

部活動も盛んで、多くの生徒が学業と両立しながら多彩な活動に励んでいるのも魅力の一つ。仲間との多様な経験が成長の糧となっている。人とのつながりに支えられた学びの場で、生徒たちは伸び伸びと可能性を広げていく。

### School Data

〒232-0002  
神奈川県横浜市南区三春台4  
☎045-231-1001  
<https://www.kantogakuin.ed.jp/>

- 創立 1919年
- 交通 ● 京浜急行「黄金町」駅から徒歩約7分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン「阪東橋」駅から徒歩約10分

### コアネットの目

東大合格3名の快挙、改革を続ける関東学院はさらなる高みへ▶▶過去最多となる東大合格者3名を輩出し、大きな成果を上げた関東学院。今春卒業生の入学時偏差値は42とされる中での実績は、同校の指導力の高さを物語る。県立横浜翠嵐高等学校で進路指導を担った教員が2023年に着任し、高校3年間で着実に成果を積み上げてきた。生徒の可能性を引き出し、大きく伸ばす教育に注目が集まる。



from the School

河合孝允校長

他者を慈しむ「利他の心」が大切。本校には友達思いの子に来てほしいと思っています。

# 駒込中学校・高等学校

## 自立性を重んじる「心の教育」 伝統と先進の融合に特色



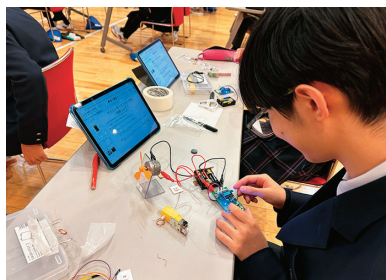
Homepage



中1で行われる楽しく学ぶプログラミング講座。ピンポン玉ほどの大きさのボールロボット「スフィロミニ」を動かした。



中2で行われる日光山研修。「坐禅止観」「写経」などを通じて、自分自身と対峙する研修だ。高1では比叡山研修を実施する。



STEAM教育研究機関である埼玉大学STEM教育研究センターとの共同授業「STEAM講座」。中2で実施する。



オーストラリアやニュージーランドなどへの海外中長期留学制度も充実している。写真は、オーストラリア現地校のアグリカルチャーの授業の様子。



新設のクラブ棟の1階はカフェテラスに。生徒たちが運営している。



### 大学合格実績を伸ばす 生徒同士が学び合う環境

「一隅を照らす」を建学の精神とする駒込中学校・高等学校。2025年に創立100周年「駒込学園」としてを迎えた仏教校である。「お釈迦様（ブツ）の教えに根差した『心の教育』が本校の特色」と河合孝允校長は語る。「人として守るべき規範、自分と向き合う姿勢を身に付け、どう生きるかに、生徒自らが気付くようにする教育や体験を大切にしています」

その代表的な学校行事に、日光山研修（中2）、比叡山研修（高1）などの修行体験がある。一方で、中学の段階からのSTEAM講座やプログラミング講座、英語ではイマージョンプログラムをいち早く取り入れ、ICT活用による学習環境の整備も進めてきた、先進的な教育プログラムの導入に積極的な学校でもある。

そして、生徒たちの学習へのモチベーションを高めるために重んじているのが、自立性だと言う。

「100周年記念に新設したクラブ棟の1階は、カフェテラスにしました。それを生徒たちが運営しています」と河合校長。しかし、それは今始まったことではない。

「例えば、中学の1年生と上級生の対面式では、生徒会が中心になって部活動の紹介をしますし、入試説明会も生徒が司会を務めます」

自ら考え、自主的に行動する姿勢が、「生徒同士の学び合いにもつながり、互いに切磋琢磨しながら自分

を高めていく学習環境を生んでいく」と言う。

その成果は大学の合格実績に表れている。今年度は、東京科学大、東北大、大阪大など国公立32名、早慶上理ICU71名、GMARCH194名という実績を出している。

また近年は、高大連携にも力を入れている。東京大学や明治大学の公開講座、東京理科大学のキャンパス訪問など、多彩な大学との連携授業を通して生徒たちは自身の将来像を描いていく。

さらに今年度は「ホームルームの活性化も図る」と言う。ロングホームルームにも探究学習を組み込み、ショートホームルームには、3分スピーチを取り入れ、生徒と教員が共にクラスづくりをしていく。

「個々が『なりたいたい自分になれる』環境を整え、それを支援するのが教師の役割。志を高く持つ生徒を育てることを常に考えています」

「伝統」と「先進」を巧みに融合させた駒込中学校・高等学校の環境と「気付き」を重視する指導が、生徒の力を伸ばしている。

#### School Data

〒113-0022  
東京都文京区千駄木5-6-25  
**03-3828-4141**  
<https://www.komagome.ed.jp/>

- 創立 1682年
- 交通
  - 東京メトロ南北線「本駒込」駅から徒歩約5分
  - 東京メトロ千代田線「千駄木」駅から徒歩約7分
  - 都営三田線「白山」駅から徒歩約7分

#### コアネットの目

確かな学力と個を活かす多様な学び ▶ 学力向上に向けた取り組みはもちろんだが、グローバル教育・探究的な学習など、多様な教育を取り入れている。特に探究学習では、生徒の興味関心に合わせたジャンルの独自プログラムを実施。中学から生徒の個性が大いに活かされて、高校進学後の学習意欲向上にもつながり、力を発揮している。

# 青稜中学校・高等学校



from the School

青田泰明校長

「好きな先生の授業では伸びる」が僕の持論。本校で好きな先生をたくさん見つけてください。

## 新しい価値の創出を目指し「3C」で広げる未来の可能性



Homepage



上/2020年から始まったゼミナール授業は毎年十数講座が開講。物語を読み解くゼミで絵巻物について知る。右/身の回りの社会課題を見つけ、その解決策を探究するゼミは外部の大会にも挑戦した。下/青田校長は、企業のSDGsの取り組みについて考えるゼミを担当。



中3の修学旅行では京都大学を訪ね、講義やキャンパスツアーを体験。大学生との交流は進路を考えるヒントに。



中高の有志が参加する東北研修では、東日本大震災の被災地でボランティアを続けてきた。女川商店街で観光PRをお手伝い。



中1、中2、高1で行われる自然教室。牧場や高原を訪ね、ハイキング、自然観察、農作業などを行う。

### 非認知能力を高く伸ばし 社会とつながる青稜ゼミ

青稜中学校・高等学校の建学の精神である「社会に貢献できる人間の育成」。青田泰明校長は、この文言を現代風に「3C」というキャッチフレーズに置き換えて生徒に提唱している。Change(変化)、Challenge(挑戦)、Contribution(貢献)を示す三つの「C」である。

「この『3C』を体現し、新しい価値の創出を目指して挑戦し続ける人が、青稜の考える『社会に貢献できる人間像』です。そのために本校では、教科学習とは別に、生徒一人ひとりの非認知能力(意欲・自己肯定感・社会的能力など)を伸ばしていくことができるギミック(仕掛け)をいくつも用意しています」

なかでも青稜カルチャーとして定着しているのが、読んだ本を紹介し合い、ゲーム感覚で書評合戦を楽しむビブリオバトル(中1・中2と、教員が自分の趣味や得意分野を生かして開講するゼミナール授業(中2・中3混合)だ。ゼミのジャンルは、「思考力養成講座」「気象観測講座」といった学術的なものから、マンガやアニメ作品に込められた社会的メッセージを読み解く教養講座まで幅広く、14講座を数える。好きなことについて熱っぽく語る、教師の人間くさい一面に触れ、その先生が担当する教科の学びに意欲を見せるようになる生徒もいるという。

「青稜ゼミや部活動をハブとして、

学校に通いながら社会とつながる取り組みもどんどん実現しています」

例えば、青田校長が顧問を務めるSDGs部では、校内に設置されているアイス自動販売機の使用済みアイスティックを部員が分別。それを販売元のグリコが回収してリサイクルしたカップが、卒業式の記念品として使われている。また、花王の協力を得て、ジェンダーフリーなスキンケア商品の自販機も校内に設置された。青田校長によれば、文具や食品の大手メーカーと、新たな協働プロジェクトも進行中だという。

「今の時代だからこそ青稜に入りたい。そう思っていただけのように、新たなギミックを提案していくのが校長としての使命。『学びたい』という生徒の学習意欲をかき立てる多様な学習プログラムや、一人ひとりの非認知能力を最大限に伸ばす、面白くて楽しい青稜カルチャーを今後発展させていきたいですね」と青田校長。「3C」を育む校風が、どのように成長を後押ししてくれるのか。期待せずにはられない。

#### School Data

〒142-8550  
東京都品川区二葉1-6-6  
☎03-3782-1502  
<https://www.seiryo-js.ed.jp/>

- 創立 1938年
- 交通
  - 東急大井町線「下神明」駅から徒歩約1分
  - JR京浜東北線・りんかい線「大井町」駅から徒歩約7分
  - JR横須賀線「西大井」駅から徒歩約10分

#### コアネットの目

社会につながる学校で、挑戦する力を育む▶企業とのコラボレーションははじめとした特色ある取り組みが目立つ青稜中学校・高等学校。地域との関わりも深く、社会へつながるハブとしての役目を持っている。変化し続ける社会に適応し、挑戦を続けられる人材を育てていく同校の魅力を感じるために、ぜひ一度足を運んでほしい。

# 桐光学園小学校・中学校・高等学校



from the School

岡村 薫中学校・高等学校校長

できるだけ幅広い選択肢を示し、希望の進路を実現するよう力を尽くしています。



Homepage

## 多様な個性が集まる恵まれた環境で 強く羽ばたく力を付ける

右/馬場 淳小学校校長。「内進生が中学から入学した友達を連れて小学校に遊びに来ることもあります」と語る。



下/中3・高1の希望者を対象に行われるイギリス・ケンブリッジ大学リーダーズ研修。どんな場面でも内進生と中学から入学した生徒が丸となって学校生活を送っている。



ニュージーランドタム留学。北米やイギリス・イトン校への留学など多数用意されている。



約6万4000冊の蔵書を誇る図書館。入ってすぐのスペースは会話OK。奥は静かに集中できる自習スペースになっている。



強豪として知られるサッカー部。全校生徒による熱い応援。



カナダ大使館で行われたダブルディプロマの調印式。オンラインで7単位取得することで、カナダの高校卒業資格も同時に取得できる制度。



各界の第一人者を招いて年20回ほど特別講義を実施。写真は早稲田大学文学学術院のドミニク・チェン教授。

## 新しい仲間と出会い 刺激し合える環境がある

2028年に高校創立50周年を迎える桐光学園小学校・中学校・高等学校。多摩丘陵の一角に広大なキャンパスを持ち、中学校・高等学校だけでなく小学校も設置されている。共学の小学校からは毎年65名程度が中学校に進学し、受験を経て入学する中入生と共に1学年約400名が男女別学で学ぶ。高校ではさらに男女約200名が入学する。国公立・私立の最難関大学に多数の合格者を出す進学校であり、各種部活動も活発で野球やサッカーの強豪校としても知られている。

「中高時代は社会の縮図だと私たちは意識しています。さまざまな背景を持つ生徒が、中学・高校と各段階で新しく入学し、お互いに刺激し合って成長できることが本校の特色だと考えます」と岡村薫校長。

どの段階で入学しても、二人担任制で一人ひとりが最大限に力を伸ばせるようクラス編成は慎重に行い、生徒同士の人間関係づくりに配慮。特に、生活面でも学習面でも大きく変化する中1では、学習方法や時間の使い方を具体的に指導し、新しい環境に適應できるように、丁寧にサポートする。

中学受験生としては、小学校からの内進生との関係が気になるところだが、「入学してすぐに、誰が内進生で誰が中入生かなどわからなくありませんよ」と岡村校長。

馬場 淳小学校校長は、「小学校で6年間の学園生活を過ごした内進生は自信を持って中学校生活をスタートすることができ、時に中入生の不安な気持ちに寄り添うような姿も見られます。また、行事や特別講習など男子と女子が一緒になる場面では、小学校で一緒だった友達がいる内進生が、生徒交流に一役買っているようです」と語る。

海外大学進学も増えている一方、男女別学でジェンダーバイアスが非常に小さいためか、医学部など理系を選択する女子も多い。受験対策は「塾・予備校は必要なし」の学校完結型だ。600超の講座が揃う講習制度は、生徒からの相談で新しい受験方式の対策、総合型選抜対策など、志望大学・学部に合わせて講座を増設できるのも、教員数が200名を超えるからである。

「進学校でありたいと思っています。それは実績が欲しいからではなく、この学園出身の生徒に、多様な価値を尊重し社会をリードするような人材になってほしいからです」と語る岡村校長。教育者として真つすぐなその言葉が胸を打つ。

「進学校でありたいと思っています。それは実績が欲しいからではなく、この学園出身の生徒に、多様な価値を尊重し社会をリードするような人材になってほしいからです」と語る岡村校長。教育者として真つすぐなその言葉が胸を打つ。

### School Data

〒215-8555  
神奈川県川崎市麻生区  
栗木3-12-1  
☎044-987-0519  
<https://www.toko.ed.jp/>  
●創立 1978年  
●交通 小田急多摩線「栗平」駅から徒歩約12分  
※公式Instagram、公式X、公式YouTube、公式LINE、公式Facebook公開中

**コアネットの目** 未来の学びをつくる新校舎、2028年誕生▶高等学校創立50周年となる2028年、建築家でもある理事長自ら設計した新校舎が完成する。特徴は校舎を取り囲むように教室を配置する「廊下のない構造」。中央部分には9m×25mのホール、ラーニング commons が広がり、学年・クラス・男女の壁を越えて、生徒、教員が交流できる。学びの環境にも、多様な価値観に触れ世界を広げる力を育みたいという、学校の姿勢がうかがえる。

# 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校



from the School

渡辺 博校長

学園都市ともいべき充実した環境の中で、生徒一人ひとりが輝けるようにサポートします。

## 大学付属校の強みを生かした 中高大連携の学びが主体性を育む



Homepage



上/中2の食品加工実習でウインナーを作る。野菜栽培も食品加工も生物資源科学部と同じキャンパスだからできる経験。

左/キャンパス内の農場で1年かけて野菜を栽培する中1の農場実習。大学生・院生がサポートする。



中3を対象にした生物資源科学部放課後講習。



オーストラリア語学研修ではホームステイしながら姉妹校に通い、英会話特別授業を受ける。



左/中2の職業体験でスーパーの仕事に挑戦。和菓子店、神社、自衛隊など幅広い職場がある。

右/職業体験について全校生徒に向けてプレゼンテーション。



## 中学時代の豊かな体験を 成長への原動力に

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校は、日本大学生物資源科学部を中心に、小学校から大学院までを擁する広大なキャンパスの中にある。恵まれたこの環境を生かし、中高大連携の体験型プログラムを展開している。「特に中学時代の経験が、将来の進路選択の重要なきっかけになっています。中学で豊かな人間力を養い、高校でぐっと学力を伸ばすという、中学からの内進生の活躍が目立ちます」と渡辺博校長は語る。

比較的少人数(1学年120名)の中学では、基礎学力の向上を丁寧サポートすると同時に、多様な体験の機会を用意して生徒たちの成長を後押ししている。その一つが、生物資源科学部と連携したフィールドワークだ。1年生は大学の農場で大学生・大学院生と共に農場実習、2年生は食品加工実習に取り組む。

高1になると、日本大学各学部のキャンパスで大学の講義を体験受講するなど、中高大連携教育を早くから取り入れてきた。また、昨年度からは、中3の希望者を対象に、生物資源科学部11学科が講座を企画。それぞれの専門分野に触れ、研究の一端を知る経験は、生徒たちの知的好奇心を刺激し、進路の選択肢を増やすことにもつながりそうだ。

キャリア教育では、中2の職業体験がハイライト。協力先は市内の企業や公共施設など38カ所。事前に行

われるホスピタリティ教育で社会人としてのマナーを身に付け、自分たちでアポイントを取るところからスタート。希望する職場に行けない場合もあるが、むしろ関心の薄かった世界に飛び込むことが、視野を広げるきっかけになるという。2日間の体験後にはその成果を発表し、プレゼンテーション力も磨く。

語学研修も充実している。中2、高3が参加する国内語学研修では、さまざまな国の留学生とグループワークを体験。2週間のオーストラリア語学研修は、中3から参加可能だ。ホームステイ中は身の回りのことほとんどを自分でこなさなければならないため、自分で考え、自分で判断する力を養う貴重な機会となっている。

日本大学が大切にしているのは、生徒自らが考え、積極的に取り組む姿勢だ。主体性を重んじる教育は、日本大学の教育理念「自主創造」の精神にも通じる。周辺には繁華街もなく、勉強やスポーツに励むには理想的な環境。まずはキャンパスに足を運んで、一人ひとりが輝ける環境を体感してほしい。

### School Data

〒252-0885  
神奈川県藤沢市亀井野1866  
☎0466-81-0125  
(中学校)  
☎0466-81-0123  
(高校)  
<https://www.fujisawa.hs.nihon-u.ac.jp/>  
●創立 1949年  
●交通 小田急線「六会日大前」  
駅から徒歩約8分

### コアネットの目

これからの社会を見据え、生成AIを活用した教育活動にも着手▶さまざまな体験・経験を通じた学びを重視する日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校。生成AIについても教員・生徒が共に活用していけるように考えていると渡辺校長は語る。活用のためのガイドラインを設定し、高1で生成AIの活用をスタート。生徒たちは、勉強方法や進路選択についての相談役としてAIを活用しているという。



from the School  
神戸 航中学校長

中高6年間の学校生活で、主体的に考え行動する人へ、生徒は大きく成長していきます。

# 文教大学付属中学校・高等学校

## 予測不能な時代を生き抜くマインドをオリジナルプログラムで育成



Homepage



上/オールイングリッシュで行う「グローバルコンピテンスプログラム」。世界の課題を自分事としてとらえるマインドを醸成する。下/1年かけて探究してきたテーマを発表する探究祭では、ポスターやスライドを作成してクラスで発表(右)、クラス代表者がホールで発表を行う(下)。



教室の壁一面がスクリーンになるクリエイティブドックが4月に完成。配信設備や3Dプリンターなど最新の機器を整え、サイエンス教育が一気に加速しそうだ。



5月に行われる中学校体育祭。行事や活動を通じて仲間との絆や協力の大切さを学ぶ。



ソングリーディング部は昨年度、中高共に全国大会に出場。

### 時代に合わせて 変わり続ける学校

最寄り駅から徒歩約3分というアクセス抜群の立地にある文教大学付属中学校・高等学校。新しい教育を打ち出す共学校として注目を集め、2026年度入試では過去最高の出願者数となった。

社会の変化を受け止めて、学校改革に取り組み続けていることが特色で、4年前から、「文教ユニバーサルコンピテンシー」を教育活動の柱としている。

「本校の建学の精神は、人間愛、です。これを現代の社会状況に合わせて、世界標準の貢献力」という言葉に置き換えました。貢献するための原動力となるのが、「文教ユニバーサルコンピテンシー」の五つの力、発見力・思考力・行動力・探究力・表現力です」と神戸航中学校長。

この五つの力の育成を目的に設定されているのが、中1から高1が対象の「グローバルコンピテンスプログラム」だ。日本人教員とネイティブ教員によるチームティーチングで進むオールイングリッシュの授業で、SDGsや文化、宗教など世界で議論されている主要な課題について、ゲーム形式なども交えつつ主体的に考える力を身に付けていく。入学直後から学年に合わせた内容でスタートさせることにより、諸問題を自分事とするマインドセットが進むと神戸校長は言う。

そのうえでさらに考えを深めてい

#### School Data

〒142-0064  
東京都品川区旗の台3-2-17  
☎03-3783-5511(代)  
<https://www.bunkyo.ac.jp/jsh/>

- 創立 1927年
- 交通 ●東急大井町線・東急池上線「旗の台」駅から徒歩約3分
- 東急大井町線「荏原町」駅から徒歩約3分
- 都営浅草線「中延」駅から徒歩約8分

くのが「クリエイティブチャレンジ」だ。貢献をテーマに自ら行動することを学ぶ探究学習で、身近な教室設備の改善から、町の和菓子店を守るための経営分析、海外の子供たちに向けた絵本の制作など、生徒たちはさまざまなテーマを探究していく。グループ組成を中3から高2の学年縦割りでを行い、関心領域が同じ生徒同士が学年・性別を超えて集まる。ところが、文教ならではの取り組み。「グローバルコンピテンスプログラム」と「クリエイティブチャレンジ」が車の両輪のようにかみ合い、生徒たちの貢献への意識が高まってきたことを受けて、より直接的に世界の諸問題を自分事としてとらえる機会をつくらうと、今年度の入学生より修学旅行先を変えるという。高校生はフィンランドとエストニア(教育・IT先進国)、シンガポールとブルネイ(アジアの主要経済国資源国、台湾(提携大学あり)の3択に。中学生は八重山諸島を含む沖縄に変更する。

変化と改革の歩みを止めない姿勢が、多くの生徒・保護者を引きつけている。

#### コアネットの目

今、注目の学校が教育に懸ける思いとは▶昨年度に引き続き、2026年度入試でも応募者数を大幅に増やした文教大学付属中学校。そんな同校が大切に行っているのは、生徒たちに身の回りの問題や世界の課題に自分事として向き合ってほしいという思いだ。生徒たちの主体性から始まる、貢献をテーマとした探究をより充実させるための新施設、クリエイティブドックも楽しみだ。

# 目白研心中学校高等学校



from the School

吉田直子校長

一人ひとりの個性を尊ぶ校風です。自分らしく、それぞれの色で輝いていきましょう！



Homepage

## 中学3年間で世界に通用する 発信力の土台を築くスピーチ活動



中1から中3までの全員が参加する伝統の英語スピーチコンテスト。各学年の予選を勝ち抜いた代表生徒が本選に出場する。



文化祭では「日本とカナダの文化比較」をテーマに3年生全員が発表。中1から朝のホームルームで積み重ねてきたスピーチを披露する。



上/部活動も盛んで、文化部と運動部で29の部活動がある。ラクロス部は昨年全国大会に出場した。左/広報主任で社会科を担当する福井延幸先生。



中学3年間で学んだ英語学習の集大成、「カナダ修学旅行」。ホームステイをしながら異文化理解、日本文化発信を体験する。

### 思いを伝える・語る 英語と日本語が響き合う

創立100年余の歩みのなかで、世界に通用するコミュニケーション力の育成を目指し、実践的な英語教育に力を注いできた目白研心中学校高等学校。特に中学3年間で英語4技能を総合的に伸ばす「ACE (Active Communication in English) プログラム」は、同校独自の特色が際立つ。ネイティブ教員と日本人教員の授業を連携させ、海外のテキストを使用した体験型学習を通し、異なる文化・価値観を持つ人々と協働するためのグローバルスキルを磨く。

もう一つ、「英語の目白研心」を象徴する伝統が、50年の歴史を誇る中学の「英語スピーチコンテスト」だ。私を語る(中1)、日本を語る(中2)、私の夢(中3)と、学年ごとのテーマでスピーチ原稿を作成し、予選会を経て2月の本選へと進む。この時期は校内の至る所で、英語スピーチを練習する声が聞かれるほど熱気に満ちている。

「日本では『言わぬが花』などと言いますが、自分の意見をきちんと表明できないと、世界での社会貢献はできません。心理的バリアーがない若いうちに場数を踏み、世界で通用する発信力の土台を築いてほしい。そんな思いから、中学で英語と日本語、両方のスピーチ活動を推進しています」と吉田直子校長は語る。

日本語スピーチは、朝のホームルームで週1回行い、文化祭で中学生

全員が発表する。「学年ごとのテーマは、英語スピーチとはほぼ同じです。英語と日本語の両方で自分の考えを表現する練習を通して、流暢に話す能力よりも、どんな思いを伝えたいか、語る自身が重要なのだと、子供たちは理解していきます」と話すのは、日本語スピーチ活動を指導する広報主任の福井延幸先生だ。

これらスピーチ活動の成果を試す機会が、中3の夏に実施する全員参加のカナダ修学旅行である。2人1組でホームステイをしながら現地校のサマーカーンブを体験するが、宿題が二つ課される。ホストファミリーに日本の料理を作って振る舞う「リトルシェフ」と、折り紙やけん玉など、日本の文化を伝える「ジャパンデー」だ。「失敗も付きものですが、皆、見違えるように成長して帰ってきます」と吉田校長。

中学3年間をかけて鍛えられ培われる発信力は、中高の探究学習や大学入試の総合型選抜などにも生きてくる。さらには社会で活躍する際の「宝」となるに違いない。

#### School Data

〒161-8522  
東京都新宿区中落合4-31-1  
**03-5996-3133**  
<https://mk.mejiro.ac.jp/>

- 創立 1923年
- 交通
  - 西武新宿線・都営地下鉄大江戸線「中井」駅から徒歩12分
  - 都営大江戸線「落合南長崎」駅から徒歩9分
  - 東京メトロ東西線「落合」駅から徒歩14分

#### コアネットの目

英語を使うことが生徒の自己発信力の強化と自信に！▶ 中学1年生から始まる英語教育を通して、自己表現することへの抵抗がどんどんなくなっていく。そうした経験の積み重ねにより、生徒たちは自身の夢を明確に描き始めるのだという。それは近年の大学合格実績の向上にもつながっており、昨年の卒業生は総合型選抜入試や英語利用型入試を中心に、過去最高の実績となった。

# WEST 関西中国

大阪府／京都府  
兵庫県／広島県

私立ならではの教育が魅力の関西の中高一貫校24校

※S=サイエンス、T=探究



## Hyogo

関西大倉 P66

雲雀丘学園 P74

三田学園 T P43

報徳学園 T P39

甲南女子 P63

親和 S P21

滝川第二 P70

西明石駅

滝川 P69

神戸野田 T P42

武庫川大学附属女子 T P40

新神戸駅  
三ノ宮駅

神戸空港

大阪女学院 P62

桃山学院 P72

羽衣学園 P71

関西国際空港

## Kyoto

洛星ノートルダム女学院 P64

京都先端科学大学附属 T P41

龍谷大学付属平安 T P46

京都駅

京都橋 P67

常翔啓光学園 T P44

同志社香里 T P45

常翔学園 S P20

開明 P65

奈良駅

近畿大学附属 P68

清風 P61

## Osaka

Nara

Wakayama

# 清風中学校・高等学校



from the School

平岡宏一校長

人から信頼され、安心して物事を託される。人として尊敬される人間の育成を目標にしています。

伝統を守りながら挑戦を続け  
尊敬されるリーダーを育成する



Homepage



上/毎年3月に行われる「100km歩行」。仲間と励まし合いながら、高野山までの道のりを歩く貴重な体験だ。

左/50年以上続けられている「チェックカード」。



「食」にも注力している同校。清風食堂では自然栽培米をはじめ厳選された食材による30種類以上のメニューが、成長期の体を健やかに育む。



毎日の朝礼では、生徒たちに校長自ら語りかける。



上/学校行事も多彩に揃っている。  
右/ボート部をはじめ、全国大会で活躍するクラブが多い。



## 教育の原点は「人対人」 全員と真摯に向き合う

仏教の教えにある「自利利他」を建学の精神とする清風中学校・高等学校。規律を大切にすする校風の下、難関大学への高い合格実績を残すだけでなく、多くのクラブが全国大会に出場し「文武両道」を実践してきた。そうした伝統に加えて、時代を見据えたアップデートも行われている。

「探究学習は、さらに高いレベルで学ぶための体制を整えました」と語る平岡宏一校長。理系・文系共に最新の研究に携わり博士号を得た先生を招いて、「テーマを深掘りする過程でデータや事案に当たり、法則性を抽出する」という探究の本質を指導していく。

また約40年前に設置された読書・論文指導部では、中学で年間20回ほど課題に取り組み、文章作成能力のスキルアップを目指している。興味あることを突き詰め、書くことで考えをまとめ、価値観を自分の言葉で表現する。これぞ清風らしい探究学習といえよう。

同校では多感な時期の生徒一人ひとりに教員が正面から向き合い、その成長を見守ってきた。「人間は接近戦でない」と育たない。人対人が教育の原点です」と平岡校長。毎日の朝礼では全生徒に「自利利他」の精神が浸透するよう、校長自身がさまざまなエピソードを用いて語りかけている。こうした積み重ねが他者への思いやりの精神を育む。

50年以上続く「チェックカード」では中学3年間、生徒が学校や家庭であったことを記録し、担任教諭が丁寧なコメントを返す。生徒たちは思春期の多感な時期に自分と深く向き合う機会を得る。

清風には約50ものクラブがあるが、中学、高校共に80%以上の生徒が参加し、勉強とクラブ活動を両立させている。「最近、レジリエンスという言葉が耳にします。困難や逆境に直面した際の弾力的な対応力や心の回復力をいかに身に付けるかが課題です。部活動で得られるコミュニケーションや対人関係こそ、レジリエンスを育むのに重要です」

人間力を磨くという観点から、学校行事も大切にしている。なかでも昼夜兼行で学校から高野山まで先人の道のりをたどる「100km歩行」は、清風を象徴する行事。体力と気力を振り絞って歩くうち、生徒たちの間には一体感と厚い友情が芽生える。このような困難を乗り越えた達成感は、何事にも代えがたいものとなるだろう。

### School Data

〒543-0031  
大阪府大阪市天王寺区石ケ辻町12-16  
☎06-6771-5757  
<https://www.seifu.ac.jp/>

- 創立 1945年
- 交通
  - 近鉄・阪神なんば線「大阪上本町」駅から徒歩約3分
  - 大阪メトロ谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅から徒歩約7分
  - JR大阪環状線「鶴橋」駅から徒歩約12分

### コアネットの目

6年間の密接なコミュニケーションが、たくましい人格を育む「チェックカード」を通じた生徒と教員の密なコミュニケーションは、まるで交換日記のようで、お互いの信頼関係の基盤を築いている。きめ細かな声掛けと丁寧な指導の積み重ねが、保護者からの厚い信頼にもつながり、6年間の関わりの中で人格を磨き、進路を切り開く高い学力と精神力を育てている。そこが清風が支持され続けている理由だ。



# 大阪女学院中学校・高等学校

やりたいことに挑戦できる環境で  
自ら未来を開く原動力を醸成する



Homepage

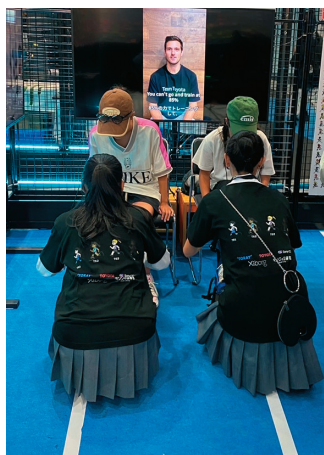
from the School

入試対策室室長 村上 蘭先生

本校の教育理念“愛と奉仕”の精神により、世界に羽ばたくPeace Makerの育成を目指します。



英語の授業だけでなく、学校行事などさまざまなシーンでネイティブ教員と話す機会が多い。



歴史ある学び舎。正面の建物はヴォーリス設計のホールチャペル（国登録有形文化財）。



9月からアメリカのオハイオ・ウェスリアン大学に進学する、「英語コース」卒業生の國本千愛さん。



上/万博に出展した義足の企業で、スポーツ用義足を体験装着するブースを手伝う生徒たち。

左/ワールドカフェでプレゼンをする國本さん。

右/生徒たちが長年取り組んでいる「チャンスフラワープロジェクト」は、規格外で廃棄される花を花束にして、手に取りやすい価格で販売、その収益を寄付する活動。



## 自分らしく花開き 世界へ羽ばたく

創立から140余年、女子教育のパイオニアとして知られる大阪女学院中学校・高等学校。主体的に活動できる女子校という環境を最大限に生かし、個々の持てる力を引き出し、開花させる教育を実践している。

成果の一つとして挙げられるのが、毎年10〜20名が海外大学へ進学している実績だ。その一人、9月からアメリカの大学への進学が決まっている國本千愛さんは、高校3年間で大きな成長を遂げたという。積極性はあまりなく、英語も好きだが得意ではなかったという國本さんに転機をもたらしたのは、カレッジカウンセラーのいる海外進路相談室ワールドカフェだ。

「スポーツが好きで、スポーツと留学をテーマにしたワールドカフェのイベントに参加したことがきっかけで通うようになりました。ワールドカフェでは海外大学に通う先輩が話を聞かせてくださり、一般的な進路相談室よりも気軽に立ち寄れる雰囲気です。そこでカレッジカウンセラーの方と一緒に、やりたいことを考えるところからスタートしました」

結果、好きな英語でスポーツマネジメントを学ぶことが目標に。日本ではその環境が見つからなかったため、高2になった頃から海外大学を視野に入れるようになった。

そこから國本さんの挑戦の日々が始まる。海外大学を受験するなら課

### School Data

〒540-0004

大阪府大阪市中央区玉造2-26-54

☎06-6761-4451 (中学校)

https://www.

osaka-jogakuin.ed.jp/

●創立 1884年

●交通

- 大阪メトロ長堀鶴見緑地線「玉造」駅から徒歩約3分
- JR大阪環状線「玉造」駅から徒歩約8分
- 大阪環状線・大阪メトロ中央線「森ノ宮」駅から徒歩約12分

外活動の実績は必須。テニス部の活動に加え、アパレルブランドのインターンシップに参加したり、そこで取り組んだアフリカ支援プロジェクトを、自ら学校に持ち込み展開したり。また、同校が行っている、規格外の花を販売し、その収益を寄付する「チャンスフラワープロジェクト」をアレンジ。スポーツ用義足のメーカーを寄付先を選び、そのメーカーが出展した万博で義足体験ブースを手伝った。「それらを通して挑戦する意識が身に付き、海外大学専願を決めました」と國本さん。教員やカレッジカウンセラーによるサポートを支えに、奨学金獲得に向けたエッセイ作成、受験要件となる英語力向上などに力を尽くした。

「将来はスポーツの振興に携わりたい」と話す國本さんについて入試対策室室長の村上 蘭先生は、「入学時から大きく成長した」と感慨深げだ。「バイタリティーあふれる今があるのは、秘めていた力を発揮できたから。本校のモットーを象徴する存在として、頑張ってほしいです」

### コアネットの目

海外大学医学部への進学者も輩出！グローバルと理系のハイレベルな融合▶同校はグローバル教育のほかに、理系教育の充実も大きな魅力である。思考実験やレポートを重視した理科、少人数で基礎を固める数学など、理系に興味を持たせるコツを知り尽くした教員が科学的思考力を着実に育成。5つの実験室を備え、1人1台の顕微鏡を使える環境も特筆すべき点だ。大学との連携も進み、理系分野への関心と可能性を大きく広げている。

# 甲南女子中学校・高等学校



from the School

入試広報室主任 松原稔幸先生

個々のレベルに合った授業ときめ細かい指導で、一人ひとりが思い描く夢の実現を支えます。



Homepage

## “入学後の伸び”に着目した 新たなコース制がスタート



2027年度  
新コース制始動

KONAN GIRLS'  
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL  
SCHOOL PROGRAM GUIDE 2027



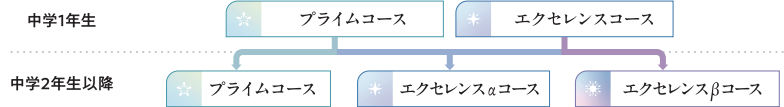
上/少人数化で質の高い教育を実現する。

右/高校では、甲南大学・甲南女子大学の協力の下で探求活動を展開。2026年度は10の高大連携講座が開講される。

左/新コース制の説明会が6月14日(日)午前に開催される予定。



### 中学2年生からの3コース制



中2からの3コース制で  
最適化された学びへ

1920年の創立以来受け継がれる教育方針「全人教育・個性尊重・自学創造」に基づき、一人ひとりを伸ばす教育を実践する甲南女子中学校・高等学校。2027年度、より質の高い教育を目指すべく、コース制を刷新する。約20年ぶりとなる改革は、今に息づく伝統と、「よりきめ細かい教育を」との気概を体現するものだ。

新コースは、有名私立大学をはじめ国公立大学など幅広い進路に対応する「プライムコース」と、難関国公立、医学部、早慶上理などを目指す「エクセレンスコース」の2コースでスタートし、中2から3コース制に移行する。「エクセレンスコース」が、国公立大学・早慶上理・私立医学部医学科を目指す「エクセレンスαコース」と、難関国公立大学と国公立大医学部医学科を目標とする「エクセレンスβコース」に分岐するのだ。「プライムコース」の65名のうち、20名程度が、「エクセレンスαコース」への転コースでステップアップすることが可能となる。

入試広報室主任の松原稔幸先生は、「生徒たちにとって、授業がやさし過ぎる、難し過ぎるということは避けたいもの。重要なのは個々の生徒のレベルに合った授業です。新しいコースでは、入学時は2コース、2年次以降は3コースへと段階的に再編することで、個々の生徒の適性・

目標に応じた教育をさらに強化することができそうです。生徒一人ひとりに最適化された学びを実現し、学力を伸ばします」と語る。

もう一つの特徴は、クラス数はそのままに、募集定員を25名減らす少人数化。指導の密度を高めることが狙いだ。入学時の学力と大学進学実績を照らし合わせたデータでも実証済みの、同校の伸ばす教育を追求した体制といえる。

新体制導入に当たり同校は、新たな学びの3本柱を掲げた。学んだ内容を自身の問題意識や人生に関連づけて考える学びの自分化を涵養する「リベラルアーツ」。文理問わず科学的思考や理数探究のプロセスを身に付ける「サイエンス」。英語力を磨きながら多様な視点や国際的な視点を培う「グローバル」。これらのエッセンスはすでに、自ら探し求める学習」と位置付ける探求学習にも反映され、25年度から高大連携の学びへとリニューアル。「ハイレベルな活動へと進化しました」と松原先生。新体制の下、よりグレードアップした、生徒と社会の未来を開く教育」が幕を開ける。

#### School Data

〒658-0001  
兵庫県神戸市東灘区森北町5-6-1  
☎078-411-2531  
<https://www.konan-gs.ed.jp/>

- 創立 1920年
- 交通 ● 阪急神戸線「芦屋川」駅から徒歩約15分
- JR神戸線「甲南山手」駅から徒歩約10分

#### コアネットの目

大きな変革の中でも変わらない、一糸続く強い絆ができる学校生活▶来年度、約20年ぶりの大きな変革を迎える同校だが、その根底にある100年を超えて紡がれてきた伝統は揺るがない。同校の本質は、相手を尊重し、対話することの大切さを学び、体育大会の応援戦などさまざまな伝統行事を体験して結ばれた生徒たちの強い絆であろう。大人になっても続く強い絆で結ばれた生徒たちが、新しい環境でどのように飛躍するのか楽しみだ。

# 洛星ノートルダム女学院中学高等学校



from the School

山口隆範校長

個々の目標や現在地を把握できる仕組みを構築し、着実に学力を伸ばす授業を展開します。

学ぶたびに自分の成長が見える学校へ  
新たなスタート!



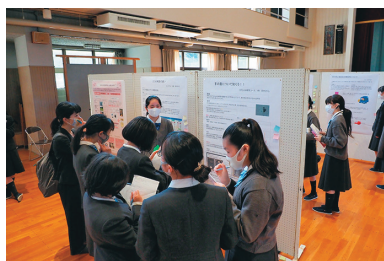
Homepage



同校には女子校としては珍しいオーケストラクラブがあり、定期的に演奏会も行われている。



カトリックの精神が受け継がれ、学校全体が祈りの場でもあるアットホームな同校。



毎年2月下旬に行われる探究活動発表会。生徒一人ひとりが1年かけて探究したテーマを、ポスターで発表する。

右/フィリピン社会活動ワークショップで、現地の子供たちと触れ合う。



下/グローバル英語コースで行く3カ月間のイギリス留学での一コマ。



洛星中学校・洛星高等学校出身の先生などに協力をお願いして、理系女子を増やすことも目標に掲げている。



目指すのは、誰一人として  
取り残さない指導

ノートルダム女学院中学高等学校は、洛星中学校・洛星高等学校を運営する学校法人ヴィアートル学園の設置校となり、2026年4月より校名を変更。洛星ノートルダム女学院中学高等学校として新たなスタートを切るようになった。27年度からは、カトリック精神に基づいた質の高い全人教育はそのままに、「入学時の成績ではなく、入学後の伸びで勝負できる女子校」へと生まれ変わるべく、準備を進めている。

「一人ひとりの生徒が、本校でできるようになったことを語れる教育を目指します。勉強とは、自分ができるとか否かという『自分との闘い』です。それは、『評定5を取るためにみんなより頑張る』ではなく、『これができるれば評定5がもらえる』という考え方。到達すべきラインを明確にするために、新たに評価ルーブリックを作成し、授業の目標も共有したうえで、生徒一人ひとりが目標に到達できるまで丁寧な指導する。日々の学びが将来に役立つことを理解し、本校でこんなことができるようになったという実感が得られる、大学進学を見据えた授業・教育を実践します」と山口隆範校長は思いを語る。

27年度からは、理系学部志望者を中心とする「探究進学コース」を新設し、従来のコースは「総合進学コース」に一本化する予定だ。2コ

スに共通するのは、中学3年間で学習習慣を確立すること。そして、少人数制・習熟度別授業の下、個々の状況を把握したうえで寄り添い、積み残しを解消し、誰一人として取り残さないことだ。

「探究進学コース」の『探究』に込めた思いについて山口校長は、「探究のための探究ではなく、探究を通して教科学習の必要性に気付いたり、教科学習で得た知識を生かして探究したりするような、探究と従来の教科学習を往還する学び』を実践したいと考えています。学力と非認知能力を育みながら、学びの面白さを体感してもらうことで、させられるのではなく、自らしたくなる、そんな学びのスタイルを築いていきたい」と語る。

洛星中学校・洛星高等学校とは、クラブ活動をはじめ課外活動において合同の取り組みを展開する予定だという。両校のエッセンスを融合させることで実現する、より多様性に満ちた環境の下、つくり上げる新たな教育。そのスタートに、期待は高まるばかりだ。

## School Data

〒606-8423  
京都府京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町110  
☎075-771-0570  
<https://www.notredame-jogakuin.ed.jp/>

- 創立 1952年
- 交通 地下鉄東西線「蹴上」駅・「蹴上」乗り場、京阪電鉄「祇園四条」駅および阪急電鉄「京都河原町」駅・「祇園四条」乗り場からスクールバス、下車徒歩約5分

**コアネットの目** 女子校×男子校。別学教育のよさを生かしつつ、より多様な経験ができる学校へ▶ノートルダム女学院が培ってきた女子教育の伝統を守りつつ、課外活動などで洛星の生徒との交流機会を設けることにより、男女別学の教育的価値を保ちながら異性との関わりを経験できる環境が生まれる。さらに新校長の山口先生は京都府立トップ進学校でSSH教育を推進してきた実績を持ち、その経験を生かした学校改革にも期待が高まる。

# 開明中学校・高等学校



from the School

入試広報部長 古庄 誠先生

より生徒主体で行事を進められるよう、教員が適切な距離感でサポートしています。

多彩な行事を通じた経験値が  
生徒の主体性や表現力を高める



Homepage



上左/身近な話題や社会課題などについて、一人で調べて発表する弁論大会。

上右/和歌山県加太湾で行う理科実習で、本物にふれる体験をする。

左/広島県生口島から愛媛県今治市まで43kmを夜通し歩く「しまなみ海道夜間歩行」は、同校の名物行事だ。

3月に行われた入試分析会で、司会を担当する生徒たち。授業見学会では、約40人の生徒たちが保護者からの質問に答えている。



クラスの予選を勝ち抜いて全校生徒の前でプレゼンを行う研究発表。



京大特色入試合格者数が  
最高記録を達成

毎年5割近い生徒が国立・公立大学への現役合格を果たす開明中学校・高等学校。総合型選抜・学校推薦型選抜入試での国立・公立大学合格者も例年30名前後で推移しており、京都大学へは今年9名合格。国立・公立医学部医学科も昨年に並ぶ4名の推薦合格者を輩出し、記録を更新し続けている。

進学実績が伸びている要因のひとつに、長年継続している多彩な学校行事がある。中2では和歌山県加太湾で海の生物を観察・解剖まで行う「理科実習」を開催。また中1、中2では弁論大会を行い、中3から高2の研究発表へとつなげる。こうした行事での経験や研究発表で掘り下げたテーマが、進路選択や、総合型選抜・学校推薦型選抜入試での小論文や面接での発信力につながっていると見えるだろう。

入試広報部長の古庄 誠先生は「本校は勉強・行事・部活に忙しい学校だと言われます。ですが多彩なベクトルの活動があるからこそ、生徒は挑戦を通じて失敗を恐れる心を克服し、成長していきます」と語る。例えば弁論大会や研究発表は、クラスでの予選を経て他学年と合同で開催。先輩・後輩の発表に刺激を受けて「負けてはいられない!」と奮奮する生徒が多いという。

また同校では、入学を希望する小中学生・保護者に向けた授業見学会を4月から12月の毎週土曜日に開催。

見学後に在校生による質疑応答の時間を設けており、これが生徒の成長に一役買っていると古庄先生はいう。「40名ほどの生徒が対応しますが、何を語るかは生徒に任せています。自分たちの活動を言語化し、小学生や保護者から評価されることが、生徒の自信や経験値を高めているようです」。行事に付随して生徒が主体的に活動できる取り組みを増やしていることも、近年の躍進につながっているようだ。

国立大学の総合型選抜・学校推薦型選抜入試に向けては、担任に加え、複数の教員が学年を超えて関わり、志望理由書の作成や小論文の指導、面接など、入試形式に対応できる教科の先生を割り当てて手厚いケアを実施。また情報をデータベース化して共有財産にすることで、教員のスキルや情報の偏りをなくす工夫も行っている。今年、出願者数が関西の私学で1番になった開明。地道な取り組みが、生徒や保護者の信頼を高めている。

## School Data

〒536-0006  
大阪府大阪市城東区野江1-9-9  
☎06-6932-4461  
<https://www.kaimei.ed.jp/>

- 創立 1914年
- 交通
  - JR・京阪「京橋」駅から徒歩約8分
  - JRおおさか東線「JR野江」駅、京阪本線「野江」駅から徒歩約12分
  - 大阪メトロ長堀鶴見緑地線・今里筋線「蒲生四丁目」駅、谷町線「野江内代」駅から徒歩約12分

## コアネットの目

生徒同士が互いに刺激し合い、自然と勉強に前向きになる環境 ▶ 在校生は開明の魅力を「自然と勉強に前向きになる環境。勉強へのモチベーションが高い仲間刺激を受けたり、学校行事でもお互いに高め合ったりできる」と語る。毎週実施される授業見学会では、飾らずありのままの学校生活を公開。生き生きと授業に臨み、笑顔で来校者を迎える開明生の姿を、ぜひ実際に足を運んで見ていただきたい。



from the School

松村健司校長

新校長としての思いや考えを伝えるため、校長ブログでの発信にも力を入れています。

# 関西大倉中学校・高等学校

## 英語で社会問題を学ぶ探究学習や海外での探究プログラムが発展



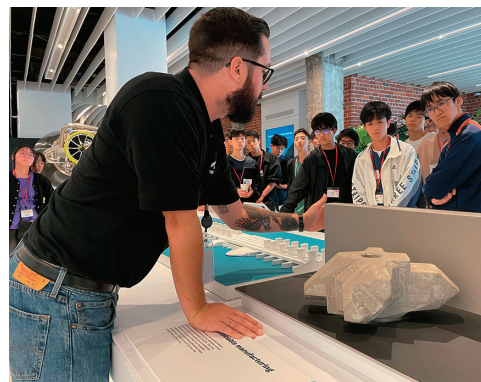
Homepage



左／野鳥や昆虫、さまざまな植物など、豊かな自然の中で季節の移ろいを感じられる約12万m<sup>2</sup>の校地。

下左／新校舎・中央共用棟には約4万8000冊の蔵書を誇る図書館などがある。

下右／京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院が主催する高大連携プロジェクト「野生動物学初歩実習」に参加。



上／アメリカ研修旅行のひとつ。



右／大阪大学で留學生と交流。



大らかで優しい  
関倉生が育つ環境

豊かな自然に抱かれた環境が魅力の関西大倉中学校・高等学校。広大な敷地には新校舎が輝き、多機能型図書館やサイエンスラウンジなど、ゆつたりと学べる環境が整っている。長年同校の入試広報部長を務めた2025年度に就任した松村健司校長は「ここは空気が違います。季節の移り変わりを身近に感じながら過ごす6年間が、子供たちにプラスに働いていると思います」と語る。事実、同校を選んだ理由に「大らかさを感じて」と答える保護者は多く、生徒の満足度も高い。26年度中学入試では、受験者数が昨年度より200名近く増加する人気を見た。

生徒の4割前後が国立大学に現役合格する進学校としてのベシツクな教育がある一方、さまざまな体験を通じて、学力と探究力のバランスがとれた生徒の育成を目指している同校では、中高共に日々の授業や行事を探究的な取り組みへとシフトしている。

24年度には高校で、さまざまな社会問題を英語で学ぶ探究学習「CLIL」(内容言語統合型学習)がスタート。1年次には設定されたテーマ、2年次には生徒一人ひとりの興味・関心に応じてゼミ形式で探究学習を進め、年度末には2学年全員での成果発表会を開催する。また希望制ではあるが、高1夏休みに開催される約2週間のニュージールランド研修に

向けた事前学習もCLILと連携。そのほかにも23年度より設置された国際・探究部署が、ベトナム探究研修、バリ島グリーン研修プログラムを開発。ベトナムではハノイの高校生とのSDGsなどをテーマにした議論や、同国トップランク大学の学生との交流を実施。バリ島ではごみ問題やリサイクル、フェアトレード、動物福祉、宗教と自然の関係などについて、現地フィールドワークをしながら探究する。

このような国際社会に触れた経験を生かして難関大学の推薦合格を勝ち取る生徒がいる一方で、海外大学への進学に興味を持つ生徒も増加している。昨年もマレーシアの大学に推薦枠で1名が進学。学校としても海外大学との提携を増やししながら、生徒のグローバル志向に応えられる環境づくりに力を入れている。「これからの社会ニーズにフィットする教育とは何か。生徒がたくましく生きる未来を実現できるよう、ベシツクなことをと真ん中に据えると同時に、新しい教育を模索していきます」

### School Data

〒567-0052  
大阪府茨木市室山2-14-1  
☎072-643-6321  
<https://www.kankura.jp/>

- 創立 1902年
- 交通 阪急宝塚線「石橋阪大前」駅、北大阪急行・大阪モノレール「千里中央」駅、阪急千里線「北千里」駅、JR京都線「茨木」駅、阪急京都線「茨木市」駅からスクールバス

**コアネットの目** 豊かな自然の中で学びと成長を育む関西大倉の学校生活 ▶ 2022年に竣工した新校舎は、大学のキャンパスを思わせる開放的な空間。放課後には自習に励む生徒とクラブ活動に打ち込む生徒が、雄大な自然の中でそれぞれの時間を過ごす光景が広がるのが「関西大倉らしさ」といえる。四季の変化を身近に感じられる環境と洗練された学習空間が、生徒の感性を育み、知的好奇心や探究意欲を高めている。

# 京都橘中学校・高等学校



from the School

安田文彦校長

「文武不岐」の人間教育を掲げる本校は、クラブ活動を究極の探究活動だと考えています。



Homepage

## 学習とクラブ活動での「探究」で未来をたくましく生きる力を育む



左／沖縄の研修旅行では、ビジネスプランを現地の事業者の前でプレゼンする。

下／研修旅行では、現地での販売会も経験する。



桃山御陵近くの閑静な環境にある同校。



上／京都で100年続く地場産業の現場を訪ね、事業者から直接話を聞く。

右／高い評価を受けている高校吹奏楽部は、海外公演も行っている。



新校舎が今夏竣工予定(写真は完成予想パース)。

### 事業者の課題に触れ 新商品の開発も

自立・共生を教育理念に創立125年目を迎える京都橘中学校・高等学校。中学の中高一貫Vクラスが、2025年度より1クラスを難関国公立大・医学部医学科を目指すVaクラスに変革。25・26年度入試で連続して入学者が増える結果となった。

新体制となったVクラスだが、中1・中2ではVaは生徒の興味関心に応じた探究的授業を行うものの、授業の進度はVクラスと同じ。また探究学習や行事はVaとVクラス混合で行われる。その狙いを安田文彦校長は「クラス混合による相乗効果で、生徒の自己効力感を高めたい。実際に25年度生は、Vaへの移行を希望するVクラス生が、我々の予想以上に多く出てきました」と語る。

同校は以前から探究学習に力を入れてきた。まず中1で「不易流行」をテーマに京都を中心に100年続く企業を訪問。その会社が大切にしていることを自分なりの視点で捉え、企業の方を招いて報告会を行う。中2では26年度よりフィリピン・セブ島での研修旅行を実施。すでに現地中学生とのオンライン事前交流もスタートしており、安全に配慮しながら、現地の貧困や環境問題などに触れる計画だ。中3ではチェンジメーカープロジェクトとして、京都市内の事業者などが抱える課題の解決策を探る。本場によいアイデアは実際に採用してもらえれば、事業者側

からも「新たな視点を得られる」と評価が高い取り組みとなっている。

高1では、中3の内容を発展させた研修旅行を実施。沖縄、ハワイから行き先を選び、現地の事業者を少人数グループで訪問。最終的にビジネスプランを提案し、なかには生徒発案のもずく商品が沖縄の水産会社から発売されるといふ実績も生み出した。再来年には、行き先として海外の選択肢が増える計画だ。

「クラブ活動は究極の探究活動」とする同校では、Vクラス生のほとんどがクラブに加入。そのうち6割超の生徒は運動部で活動し、放課後学習ゼミと両立しながら学校生活を楽しんでいる。「中学の吹奏楽部もコンクールで金賞を受賞したり、ロボットプログラミング部が全国へフィールドを広げたりと成果を上げています。高校には強豪クラブが多いのですが、中学生も一緒に全国大会の応援に行くのが本校の伝統です」

学習だけに偏らない「文武不岐」の環境が、学校愛や京都橘生としての誇りを育み、楽しく活気ある学校風土を生み出している。

#### School Data

〒612-8026  
京都府京都市伏見区桃山町伊賀50  
☎075-623-0066  
https://www.tachibana-hs.jp/

- 創立 1902年
- 交通 ● 京阪宇治線「桃山南口」駅から徒歩約5分
- JR奈良線「桃山」駅から徒歩約10分
- 近鉄京都線「桃山御陵前」駅から徒歩約15分

#### コアネットの目

部活も進学も学校全体で支える「チーム橘」の躍進に注目 ▶ 新たなコースがスタートし、進路の可能性がさらに広がったことで受験生を著実に増やしている同校。部活動では全国大会常連の部も多く、学校全体で活躍を支える校風も魅力だ。同時に放課後や土曜日の学習支援も非常に手厚く、中学入学後の学力の伸びは近隣の学校ではトップレベル。勉強も学校生活も、「チーム橘」で支える体制に注目したい。



# 近畿大学附属高等学校・中学校

## 中学からの病院・医学部体験で 医師に必要な生命倫理感を育む



Homepage

from the School

志船八郎中学教頭

体験学習は生徒に医師に必要な生命倫理感、職業観を育む大きな起爆剤となっています。



上／医学部の先生から、染色体の構造について教えてもらう。

左／人工芝グラウンドのある広いキャンパス。すぐ横に近畿大学がある。



看護師から病室の患者さんの状況について説明を受ける。



上／遠隔シミュレーターを体験。

右／近畿大学薬学部にある模擬調剤部で説明を聞く生徒たち。



医学部実習の際に、付属病院で働く「医薬コース」の卒業生の話を聞く。

関西

## メディカルキャンパスでの 病院・医学部体験も始動

近畿大学付属校の強みを生かした、多彩な中高連携プログラムを実施している近畿大学附属高等学校・中学校。近畿大学医学部・薬学部への推薦入試制度がある「医薬コース」、国公立大学受験を目指す「英数コースアドバンスト」、生徒の8割が附属特別推薦を利用して近畿大学に進学する「英数コースプログレス」の3コースがある。

「医薬コース」では近畿大学医学部・薬学部だけでなく、近畿大学病院での見学・実習の機会を中1から豊富に用意している。中1で行われる近畿大学奈良病院での見学会では、CTやMRIなどの画像検査に触れる機会のほか、医師から貴重な話を聞く時間が設けられる。昨年は2020年に新型コロナウイルス集団感染が発生した豪華客船に、災害派遣医療チームの一員として乗り込んだ医師の話が生徒の心を打った。

中2では近畿大学医学部の見学・体験に。中学生向けの特別授業を受講し、解剖室やシミュレーションラボなどを見学。ロボット相手の採血体験や救急救命の練習など、医学部1回生で経験するような内容にいち早く触れる。

中1・2年では近畿大学薬学部の見学・体験もある。模擬調剤や無菌室の体験、薬用植物園の見学に赴く。中3では近畿大学奈良病院での看護体験実習も行っている。

なお近畿大学医学部・病院は、25年11月に堺市泉ヶ丘駅前に移転し、「おおさかメディカルキャンパス」として新たなスタートを切った。26年4月には看護学部も新設され、同校の病院や医学部での見学・体験も、26年度からはこの新キャンパスでの開催となる。

志船八郎教頭は「本当にこの道に進みたいという気持ちをしっかりと持たせるため」と語る。そもそも同校の「医薬コース」の教育目標は、医療系大学への進学、そして近畿大学病院で活躍する優秀な人材を育てることにある。医学部・薬学部・付属病院の協力体制が手厚いのもそれゆえだ。

一方で入学後に別の適性に気付く生徒もいるため、高1までコース変更には柔軟に対応。こうした環境ゆえに「医薬コース」の医療系学部進学率は63・5%（うち医学部31・7%）と高い水準を誇る。中学から育まれた高い生命倫理感と職業観が、医療人への最短の道を開いている。

### School Data

〒578-0944

大阪府東大阪市若江西新町5-3-1

☎06-6722-1261

https://www.jsh.kindai.ac.jp/

●創立 1947年

●交通

●近鉄大阪線「長瀬」駅から徒歩約20分

●近鉄奈良線「八戸ノ里」駅から徒歩約20分

※近大シャトルバス約10分

通学バスの運行あり(詳細はホームページ)

### コアネットの目

大学付属校×進学校のハイブリッドを生かしてキャリアを開く▶16学部・50学科を備える近畿大学の付属校だからこそ、6年間で多様な「本物の経験」を重ねながら、生徒は「将来自分は何になりたいか、どんな生き方をしていきたいか」を主体的に考えていく。生徒一人ひとりの未来をしっかりと見据えた進路指導の下、「医薬コース」「英数コース アドバンスト」では近大以外の難関大学進学も実現させている。

# 滝川中学校・高等学校



from the School

下川清一校長

共学化3年目。来年度には全コースを共学化し、教室棟の新設も進めます。

## 新校舎が生徒の放課後活動の場に関東名門大学との交流もスタート



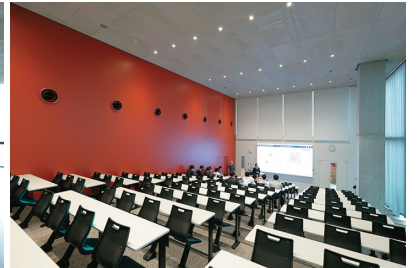
Homepage



右/中3の3学期を使って行われるニュージーランドへのターム留学。左/来年度、すべてのコースが共学となり、新しい流れに期待が寄せられている。



東京の順天堂大学国際教養学部で講義を受けるSG一貫コースの生徒たち。



昨年完成した新校舎・総合棟(左端)。ここにはレクチャーシアター(右端)、ステップコモンズ(中)をはじめ、柔道場、剣道場などが入っている。

### 完全共学化に向け各コースの特色が明確に

2022年度より中学校が3コース制になり、24年度には共学化を実施。「ミライ探究一貫」を除く「医進選抜」「Science Global一貫」(以下、SG一貫)コースで女子の受け入れを開始した滝川中学校・高等学校。共学化3年目を迎えて、下川清一校長は「各コースの特色が出てきた」と語る。

募集が好調ななかで今年度も人気が高かったのが、国際社会で活躍できる新時代のリーダーを目指すSG一貫で、募集人員80名に対し685名の出願があった。同コースでは高校進学前の留学が必須であり、3カ月のニュージーランド・ターム留学かオーストラリア1カ月留学かを選択するが、ニュージーランド留学のほうが人気だという。

また、同校は昨年、順天堂大学国際教養学部と高大連携協定を締結。同コース生は順天堂大学教員による出張授業のほか、国内Science研修として東京大学を訪問したのち、順天堂大学で英語の講義受講、英語でのプレゼンテーションに挑戦する。

「SG一貫では、卒業までに英検®準1級を取得し、サイエンス面では英語での論文に挑戦する目標を掲げています。また協定により、順天堂大学国際教養学部への推薦入学の道が開かれました。生徒には関西圏にこだわらず、進路への視野を広げてほしいと考えています」と下川校長。

最難関医系大学・学部への進学を目指す医進選抜の人気も高く、男女比のバランスのとれたコースとなっている。医系予備校とタイアップした放課後講習滝川メデイカルゼミを活用し、同コース生は1日10時間の勉強時間を確保。医療体験実習や市民救命士の資格取得に挑戦するなど、段階的に医療人の心を育む体験型のプログラムも用意されている。

ミライ探究一貫では、週3時間を探究に充てて課題解決力を養い、総合型選抜入試なども活用して国立・私立大学への進学を目指す。毎年「クエストカップ」に参加している同コース生は、全国大会に駒を進める実力を備えるようになった。なお来年からミライ探究一貫コースでも女子の受け入れを開始(認可申請中)。「これにより本校は完全共学に。今後は進路を含め、本当に新しい流れが生まれることを期待しています」

アカデミックな活気が高まる同校。25年8月に完成した新校舎・総合棟でも、自習室やフリースペースのステップコモンズに中学生が集い、にぎわいを見せている。

#### School Data

〒654-0007  
兵庫県神戸市  
須磨区宝田町2-1-1  
☎078-732-1625  
https://  
takigawa.ed.jp/

- 創立 1918年
- 交通 神戸市営地下鉄・山陽電鉄「板宿」駅から徒歩約5分

#### コアネットの目

新しい滝川らしさは学びに前向きに向き合う姿勢▶共学化後、学校の雰囲気は大きく変化し、新しい滝川らしさが定着してきた。放課後には校内のあちこちから自然と勉強を始める生徒の姿が見られ、学びに向かう空気が広がっている。完成した新校舎も存分に活用され、環境面が大きく進化。共学化後の高校入組もいよいよ高3となり、全学年が共学となる。次の入試は大きな節目だが、確かな成果が期待される。



from the School

入試広報室室長 井口 守先生

本校はキャンナビのメンバーをはじめ、学校が好きな生徒が多いのが特徴です。

# 滝川第二中学校・高等学校

“いいとこどり”で充実の学校生活を！  
新しい「滝二」に期待が高まる



Homepage



毎週水曜の午後に行う「スペシャル・ウェンズデイ」での活動の一コマ。



約1週間の海外研修旅行、もしくは約7週間の海外短期留学が選択可能。

年に数回、キャンナビフェスタを開催。時には近隣の商業施設に出張、滝二パンを販売して、学校をPRすることも。



キャンナビの高瀬朋香さんは、学校説明会の司会も務めた。「この学校は、生徒が丸となってひとつのことに取り組めるのがいいところです」と話してくれた。



キャンナビのラジオ班長を務める江口真之さんは、演劇部にも所属している。将来は舞台美術の道に進みたいと、芸術系の大学への進学を考えている。



## 従来のコースの “いいとこどり”新コース

新たにプログラミングAP、プログレッシブ、エキスパートの3コース制となり、今年の入学志願者数が大きく伸びた滝川第二中学校・高等学校。入試広報室室長の井口 守先生は、「新しいコースが受け入れられた」と分析する。

新コースは、従来のコースが時間をかけて培ってきた海外短期留学、サイエンスツアーなど多岐にわたる学習・体験を、すべてのコースで共有できるようにした「いいとこどり」が特徴。「上位クラスのプログラミングAPとプログレッシブの間に、カリキュラムの差はありません。プログレッシブの2コースは、授業の深度と放課後に外部講師による特別講習を行う以外、ほぼ同じです。この2コースは学年ごとにコース変更を行うので、生徒たちが上位を目指して切磋琢磨することを期待しています」と井口先生は説明する。

また、同校の人気には、「学校説明会などで活躍するキャンパスナビゲーター(以下、キャンナビ)の存在も大きいのでは」と分析。

キャンナビとは、同校の生徒による自主的な学校の広報組織で、現在中1から高3まで約80人の生徒が参加している。その1人、高校3年の高瀬朋香さんは、自身が同校の説明会に参加したときに、キャンナビが案内しているのを見て「かっこいいな」と思ったことが参加のきっかけ。

### School Data

〒651-2276 兵庫県神戸市西区春日台6-23

☎078-961-2381/2385

https://takigawa2.ed.jp/

●創立 1984年

●交通 ●JR「西明石」「明石」駅・山陽電車「山陽明石」駅から神姫バス「平野小学校前」下車、徒歩約8分。「環境西事業所前」下車、徒歩約10分  
●神戸市営地下鉄「西神中央」駅から神戸市営バスで「西体育館前」下車、徒歩約5分  
\*登校時直通バス JR「西明石」「明石」駅と山陽電車「山陽明石」駅から「滝川第二中・高前」まで約25分

「入試のときに道案内をしたり、資料を渡したり。そんな特別な活動が楽しいし、やりがいがあります。キャンナビのモットーは、自ら考えて行動する。6年間の活動で自主性が身に付きました」と笑顔で話す。高校3年の江口真之さんは、この学校のおさを知ってほしいとキャンナビに。学校の魅力を聞くと、「心の熱い先生が多く、授業が楽しいです。生徒たちには先輩後輩の絆があり、この学校が好きな生徒が多いと思います」と答えてくれた。

創立以来続いている「スペシャル・ウェンズデイ」も見逃せない。これは毎週水曜の午後にさまざまな学習・体験を行うもので、「老健施設を訪問する行事では、介護や福祉というくりだけでなく、生徒が電動車いすに興味を持ち、工学部に進学したケースもあった」と井口先生。同校には生徒の笑顔と充実した時間が満ちている。

**コアネットの目** **ハイレベルで多様な進路を実現する手厚い進路支援** ▶ 広大な校地と充実した教育環境の下、プロスポーツ選手から難関国立大学合格者まで幅広い人材を育てている同校。医学部への合格者も安定して輩出している。多様な進路を支えるのが、教員が二人三脚で寄り添う進路支援。学習面では中学から放課後講習が充実し、小論文指導でも、書くべきことを見つけるための多様な体験の振り返りから丁寧に支援している。

# 羽衣学園中学校・高等学校



from the School

山形 徹副校長

見通しの立たない世の中だからこそ、さまざまなフィールドで学び、興味関心を広げてほしい。

## オフキャンパスの多様な学びで未来を開く力を磨く



Homepage

右/入試広報チーム「VIVA羽衣」が作るタブロイド紙「VIVA羽衣」。オープンキャンパスに来た中学生たちに配布して好評だ。



左/入試広報チーム「VIVA羽衣」は、広報紙の制作だけでなく、オープンキャンパスの手伝いなどを自主的に行っている。



下/学園の講堂で行われた能登支援コンサートにも、生徒たちがボランティアで協力。



学校のある高石市と連携、生徒たちが地域のイベントを盛り上げている。



上/東京農業大学との高大連携プログラム「オホーツク学」で、日焼け止めクリーム作りの実習。  
左/高校教頭の的場由樹先生。



高石市市制60周年記念イベントの企画会議に参加する生徒たち。



## 地域とも連携し 学校外での活動を活性化

2023年に創立100年を迎えた羽衣学園中学校・高等学校。自由・自主・自律と個性を尊重する羽衣マインドを掲げながら、教育の核に据えるのは多様な学びによる生徒の自己実現だ。特に注力しているのが、教室の枠を超えたオフキャンパスでの学び。「地域貢献や探究学習など多様なプログラムを用意し、自ら参加して学んでいく仕掛けをつくっています」と山形 徹副校長は語る。

その象徴的な活動の一つが、昨夏に行われた能登支援コンサートだ。歌を被災地に届ける活動を行うNPOと協力し、学園の講堂を会場に開催。高等学校の的場由樹教頭によると「有志のボランティアとして集まった高校生たちが、司会や裏方運営を主体的に担っていた」と言う。

「最初はこちらから仕掛けているつもりでしたが、思った以上に生徒たちがよい反応を示してくれています。生徒同士が誘い合い、活動が活発化している」と的場教頭。高石市福祉協議会のボランティア募集をした際には、19名もの生徒が手を挙げた。さらに、昨年には高石市と同校が包括連携協定を締結。今秋の市政60周年記念イベントに向け、自治会・生徒会を中心とした有志メンバーが、高校生ならではの視点で地域活性化のアイデアを練り上げているという。

東京農業大学との高大連携プログラム「オホーツク学」では、北海道

網走市での3泊4日の現地学習を実施。他校の生徒たちや大学生と交流しながらフィールドワークに臨んだ。ユニークな活動として注目したいのが、生徒が行う入試広報活動だ。企画からデザインまで生徒主体で行うタブロイド紙「VIVA羽衣」を発行し、学食メニューや制服コーデなど、生徒たちの目線で学校の魅力を発信。「自校を宣伝することが、学校の活性化にもつながっている」（山形副校長と語る）。

ほかにも、クラブ活動では吹奏楽部やダンス部、書道部などが地域イベントに積極的に参加。防犯キャンペンや献血活動など、生徒たちの活動は一つの場所にとどまらない。共学化以来、進路実績が向上し、この3年間は大阪大・神戸大の合格者を毎年輩出。26年度入試では国立大・首都圏含む難関私立大の合格者数が過去最高を更新した。さらにこうしたオフキャンパスでの学びが、総合型選抜にも生かされ、進路実現の大きな武器になっていくだろう。地域に愛され、地域を支える経験を通じ、生徒たちは自らの未来を鮮やかに描き始めている。

### School Data

〒592-0003  
大阪府高石市東羽衣1-11-57  
☎072-265-7561  
https://hagoromogakuen.ed.jp/

- 創立 1923年
- 交通 南海本線「羽衣」駅、JR阪和線「東羽衣」駅から徒歩約4分

### コアネットの目

「英語の羽衣」創立103年の伝統に根付いたグローバル教育▶「英語の羽衣」として知られる羽衣学園は、世界で活躍できる人材育成を目指し、国際交流や海外研修、外国人講師による英語プログラムなど多彩な学びを展開している。異文化と触れ合う経験を重ねることで、生徒は英語力だけでなく積極性や挑戦する姿勢を育み、将来の可能性を広げていく。地域と共に歩む学校として、文武両道の教育も大切にしている。



from the School

田中智晴中学校教頭

学力向上や社会での活躍の礎となる、人としての成長に重点を置いた教育を実践していきます。

# 桃山学院中学校高等学校

## 自主性を尊重する環境の下 人生に生きる力の確立を目指す

Homepage



上/女子はネクタイかリボン、スカートはプリーツとボックスプリーツから選択でき、男女共にチノパンも用意されている。購入は自由で、生徒が自由にコーディネートして着用する。

右/クリスマスツリー点灯式では、折りと聖歌が捧げられる。



左/全面人工芝のグラウンドと、冷暖房完備の8階建ての校舎。聖マルコ館(中学校舎)と聖アンデレ館(高校舎)。

下/桃山学院発祥の地である川口基督教会で行われるクリスマス礼拝は、厳かな雰囲気。



学校生活の随所にある  
「自由と愛の精神」

キリスト教の「自由と愛の精神」に基づいた教育を実践する桃山学院中学校高等学校。創立140余年の歴史を有する同校の根底にあるのは、「主体的に考え行動する人になってほしい」との強い思い。だからこそ、生徒の声には必ず耳を傾けるのが、同校のポリシーとなっている。

象徴する動きの一つに、生徒心得の改定がある。例えば高校では、生徒からの要望がきっかけとなり1971年に制服が廃止された。2026年度には、前年度の試行や生徒・教員・保護者へのアンケートを経て、服装や身だしなみがより柔軟になった。いずれの決定も、桃校生としての自覚と責任が芽生えることへの期待が込められており、生徒への信頼の証しともいえるだろう。

制服がある中学においても同様で、生徒の声をきっかけに、ネクタイとリボンの着用について男女の区別がなくなった。また、男女ともチノパンが制服に加えられ、多様なバリエーションから生徒自身が選ぶことができるようになっていく。

こうした改定は生徒・教員・PTAが議論と検討を重ねたうえでなされていることから、全校で「自由と愛の精神」を共有し、今に受け継いでいることがうかがえる。生徒会の活動活発化を受け、中学では生徒会役員を4名から6名に増やすなど、その後押しも惜しみない。

コミュニケーション能力を  
育む多彩な行事

生徒が主体性を身に付ける場、発揮する場として、数多くの行事を用意していることも同校の大きな特徴だ。「提案があれば、可能な限りGOサインを出す」と言う田中智晴教頭。校外から講師を招いて金融講座を開催したり、探究活動として天王寺動物園での動物行動観察会を行ったりと、新たな行事を取り入れ、絶えずバージョンアップを図っている。

中学の行事で代表的なものが、中2が1年間かけて取り組む修学旅行のプランニング。各クラスの子選を勝ち抜いたグループが練り上げたプランをプレゼンテーションし、生徒たちが「行きたい!」と思うプランを選ぶ。25年度は沖縄へ。民泊、水族館、話題の新しいテーマパーク訪問のほか、アクティビティの選択肢の一つとして、ある教員が大好きなゴルフを盛り込んだプランだった。

「教員にも行きたいなと思わせてくれる発表で、実際に楽しい修学旅行になりました。その教員のゴルフ好きは、日常の何げない会話を通して生徒も知っていたのでしよう。自分もゴルフをやってみたい、先生と一緒にできるかもという生徒たちのワクワクを喚起したことが、票を集めるポイントの一つになったのではないかと思います」とほほ笑む田中教頭。生徒と教員の距離の近さや、教員が単に見守るだけではなく共に楽しんでいく様子も伝わってくる。



上 / 生徒たちは学校生活のあらゆる場面で、生きた英語と触れ合っている。



左・下 / 国際理解教育として、中3対象のニュージーランド短期海外研修、高校生を対象にしたイギリス海外研修などを行っている。写真はイギリス研修の様子。



上 / 中3の修学旅行の行き先を決める「修学旅行プレゼン大会」は、中学校開設当初からの恒例行事。情報収集・発信力、表現力、ICTスキルを身に付けるメディア教育の一環として行われる。生徒たちは1年かけてじっくりプランを練り上げて発表する。左 / 昨年の修学旅行は沖縄に決定。民泊先で三線(サンシン)に挑戦した。



中2は琵琶湖でネイティブ講師との英語サマーキャンプを行う。最終日は花火を楽しんだ。



「いろいろな体験をさせたい」という同校の姿勢は、26年度からの中学  
**自学自習の徹底で育つ  
 自ら道を選び、切り開く力**

一方、中学の弁論大会は、一人ひとりの個性が顕著に表れる場。中1は新聞記事を基に、中2は将来の夢について、中3は自由なテーマで約5分のスピーチを構成する。クラス予選で選ばれた2名の代表者が、3学年合同の決戦大会で登壇。田中教頭はこれまでの弁論大会を振り返り、「将来の夢が人魚だという生徒は、憧れる理由を熱く語り、自転車に乗る際のヘルメット着用的重要性を力説した生徒もいました。クマの出没問題をクマの目線から考え、自然との共生を訴えた生徒も。個性豊かなスピーチを聞くと、改めてこの取り組みを続けていきたいという気持ちにさせられます」と話す。

行事は社会での活躍につながるさまざまな非認知能力を磨く機会につながる。主体性だけにとどまらず、リーダーシップ、コミュニケーション能力、協働する力、社会課題への関心、論理的思考力、文章力、プレゼンテーション能力など、生徒たちが得られるものは計り知れない。

「運動が大好きで体育祭で力を発揮する生徒もいれば、人前に立つタイプではないけど、人を引きつける文章を書いて弁論大会で受賞する生徒もいます。いろいろな生徒が活躍できることこそが、多彩な行事があることの意義だと考えています」

「将来自習の徹底で育つ自ら道を選び、切り開く力」とい

**School Data**  
 〒545-0011  
 大阪府大阪市阿倍野区昭和町3-1-64  
**☎06-6621-1181**  
<https://www.momoyamaakuin-h.ed.jp/>

- 創立 1884年
- 交通 ● 大阪メトロ御堂筋線「昭和町」駅から徒歩約5分
- 大阪メトロ谷町線「文の里」駅から徒歩約8分
- JR阪和線「南田辺」駅から徒歩約10分

の募集枠拡大にも表れている。近年の同校志願者数の増加を受け、従来の120名・3クラス体制から、140名・4クラス体制へ。成績上位者対象クラスを新設するケースが多く見られるなか、同校はあえて「選抜コース」「進学コース」の2コース制を維持し、1クラスしかなかった「選抜コース」を2クラスにした。「1クラスだと、転コースをする生徒以外は6年間、同じメンバーで過ごす可能性もあります。いろいろな人と出会い、いろいろな経験をするものが、人間的な広がりにつながる。なによりも、よりよい環境づくりを優先しました」

26年度大学入試の結果からも、人間的成長が学力向上の原動力になることを強く実感したという。高校の東大・京大・医学部などを目指す最上位コース「S選抜コース」への転コース者数も増加傾向だ。進路実現はもちろん、人生にも活きる強みを見つけ、伸ばし、「自信」へとつなげる同校らしい教育の、さらなる進化が加速している。

**コアネットの目** 充実した学習環境と自由な校風で生徒が生き生きと学ぶ学校 ▶ キリスト教の理念の下、学力と人間力をバランスよく育ててきた。職員室内の質問対応スペースや、自習スペースなどの学習環境も充実し、生徒の能動的な学びを支えている。学校行事は生徒主体で企画・運営され、明るく自由な校風が学校生活の随所に表れている。担任による進路面談が充実しており、早いうちから目標を持って勉強に励めるのも同校の魅力だ。



from the School  
道北秀寿副校長

2040年の学校教育に向け、本校では教育をリデザイン。そのひとつが海外研修です。

# 雲雀丘学園中学校・高等学校

## 生徒に2つ先の未来を見せる 特色ある海外研修を開発・推進



Homepage



左/3カ月間オンラインで事前学習を行ってから台湾を訪問。その1カ月後に台湾の中学校生徒が来校し、お互いハイタッチで再会を喜んだ。

下右/昨年来校したメキシコの日本人学校の生徒たちは、一緒に万博見学にも行った。  
下左/昨年中学2、3年が参加したカナダ研修。



上/昨年行われたオーストラリア研修。



右/ドイツ研修は北部のオルデンブルクで10日間のホームステイを体験する。

### アフリカでの海外研修を 今年度よりスタート

雲雀丘学園中学校・高等学校は2019年にコース制を廃し、「一貫探究コース」に一本化。授業として「探究」だけでなく、教員の専門性を生かした「探究ゼミ」、大学や企業など学外と連携した課外活動「探究プロジェクト」を推進してきた。一方で、同様に力を入れているのが、豊富な海外研修をベースとした国際教育だ。

同校ではコロナ禍明けを機に教科横断で組織したグローバル探究部が中核となり、海外研修を刷新。従来のカナダ、ニュージーランド、オーストラリアに加え、「五大大陸での開催」を掲げ、アメリカ、メキシコ、アイルランド、ドイツ、インドネシア、台湾、韓国へと国際交流の輪を広げてきた。さらに今年からアフリカ・タンザニアでの研修プログラムがスタート。生徒・保護者から大きな関心を集めている。

タンザニア研修(9日間)の対象となるのは中3から高3生で、夏休みに渡航が予定されている。日本人が設立に関与した現地の全寮制女子中学校での同世代交流のほか、JICA訪問、世界遺産に登録されたストーン・タウンと奴隸市場や、サファリおよびキリン保護施設などを訪問。道北秀寿副校長と共に現地を視察し、プログラムを組んだ森川大伍先生(グローバル探究部部長)は、「人口の増加が続くアフリカには巨大な市場潜

在力があり、今の子供たちが大人になる頃には、アフリカの人との関わりは避けられません。そのためにも10代の先入観がありません。この時期に、現地に足を運んでほしいというのが、このプログラムをつくった発端です」と意図を語る。

治安・衛生面で安定したタンザニアだが、「母語ではなく英語で授業が行われる教育環境なども生徒の刺激になる」と道北副校長。

「生徒には、非日常に触れての脱常識、そして二つ先の未来、大学入試のその先を考える機会を与えたい。また現地の人々やJICAの方との交流は、生徒の心に変容を起こすはずだ」

海外研修は希望者に向けた課外活動になるが、同校では年間9本ほど開催しており、毎年約150名が参加している。校内でも国際交流は行われており、協定を結ぶドイツ、台湾、韓国、メキシコと、英語圏以外の国から定期的に生徒が来校し、共に授業を受けたりと交流が盛んだ。雲雀丘学園の国際教育の勢いは止まらない。

**School Data**  
 〒665-0805  
 兵庫県宝塚市雲雀丘4-2-1  
**☎072-759-1300**  
<https://hibari.jp/>  
 ●創立 1949年  
 ●交通 ●阪急宝塚線「雲雀丘花屋敷」駅から徒歩約3分  
 ●JR宝塚線「川西池田」駅から徒歩約12分

**コアネットの目** 全世界へ広がる体験は生徒をさらなる高みへ誘う▶多種多様な体験の機会と、ハイレベルな進路実績が両立している新しい形の進学校として、立ち位置を確立した同校。両立の秘密は、体験による知的好奇心の刺激。さまざまな体験で知的好奇心に火が付いた生徒は、高校2年生以降、自分の目指す進路へめがけて急激に成績を上げていく。全世界へ広がる体験機会は、ますますハイレベルな進路へ生徒を導くはずだ。

プレジデントファミリー 特別企画  
プレジデントムック「中学受験大百科」特別付録

## 注目の私立中高一貫校 この学校のここがスゴイ! 2026年

編集：プレジデント社メディア事業本部 赤池淳一

制作：編集室りっか

デザイン：太田デザイン事務所

取材・文：首都圏学校／北井裕子、腰本文子、高橋盛男、中田ひとみ  
関西学校／大洞静枝、小河砂綾、蔵 麻子、町田佳子  
インタビュー／腰本文子  
サイエンス対談／中田ひとみ  
探究対談／高橋盛男

撮影：首都圏学校／柏原真己、原田圭介、大森大祐  
関西学校／合田慎二  
インタビュー、探究対談／柏原真己  
サイエンス対談／大森大祐

表紙イラスト：山元かえ

校正：吉井寛人

協力：コアネット教育総合研究所、日能研関西

©プレジデント社

2026 Printed in Japan

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所：株式会社プレジデント社

〒102-8641

東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー

印刷・製本：大日本印刷株式会社



注目の私立  
中高一貫校  
2026年

